

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 十文字学園

(2) 大学名

十文字学園女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒352-8510
埼玉県新座市菅沢2-1-28

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ジュウモンジ カズオ) 十文字 一夫 (昭和62年5月)		
学長	(シムラ フミオ) 志村 二三夫 (平成29年4月)		
副学長 兼 学長補佐	(ワタイ マサヤス) 綿井 雅康 (平成29年4月)		
副学長	(アダチ カズヒサ) 安達 一寿 (平成31年4月)		
	(オノ ユウジロウ) 小野 裕次郎 (平成31年4月)		
	(ヨシダ トオル) 吉田 亨 (令和2年4月)		
学部長 兼 学科長	【人間生活学部】 <人間福祉学科> (ヨシダ トオル) 吉田 亨 (令和2年4月)		

学部長 兼 学科長	【教育人文学部】 <幼児教育学科> (ヤマダ ヨウコ) 山田 陽子 (令和2年4月)		
	【社会情報デザイン学部】 <社会情報デザイン学部> (ナカヤマ シゲオ) 中山 成夫 (令和2年4月)		
学科長	<健康栄養学科> (キムラ ヤスコ) 木村 靖子 (令和2年4月)		
学科長	<食物栄養学科> (イワモト タマミ) 岩本 珠美 (令和2年4月)		
学科長	<食品開発学科> (コバヤシ ミチコ) 小林 三智子 (令和2年4月)		
学科長	<児童教育学科> (トミヤマ テツヤ) 富山 哲也 (令和2年4月)		
学科長	<心理学科> (フセ ハルミ) 布施 晴美 (令和2年4月)		
学科長	<文芸文化学科> (コバヤシ ミノル) 小林 実 (令和2年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間生活学部 健康栄養学科 学士(栄養学)	家政関係	4年	120人	3年次 5人	490人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	120人 () [若干名]	—人	人	人	人	人	人	人	人	人	1.03 倍	— 倍	
志願者数	179 () [0]	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
受験者数	173 () [0]	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
合格者数	158 () [0]	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
B 入学者数	124 () [0]	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
入学定員超過率 B/A	1.03												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	124 [0] (-)	— [—] (-)									
2年次	/										
3年次											
4年次	/		/								
計					124 [0] (-)						

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	124 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
合 計		0 人		人	人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{124} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人間生活学部 健康栄養学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担									
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手										
共通科目	ゼミナール	入門ゼミナール コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール 課題解決ゼミナール 総合ゼミナール	1前 1前・後 1・2・3・4後 2・3前・後 3・4前・後	2 1 2 2 2			3 2 1 1							6 17 2 2 2	ゼミナール	入門ゼミナール コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール 課題解決ゼミナール 総合ゼミナール	1前 1後 1・2・3・4後 2・3前・後 3・4前・後	2 1 2 2 2				6 5 3 1					2 9 2 2 2					
	総合	地域で学ぶ 地域と人間生活 人間関係とコミュニケーション 人間理解ワークショップ 総合科目 自主社会活動	1・2・3・4前・後 2・3・4前・後 1・2・3・4後 2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	2 2 2 2 2 1			1							3 5 2 2 1 2	総合	地域で学ぶ 地域と人間生活 人間関係とコミュニケーション 人間理解ワークショップ 総合科目 自主社会活動	1・2・3・4前・後 2・3・4前・後 1・2・3・4後 2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	2 2 2 2 2 1		1						2 5 2 2 7 2						
	女性を生きる	キャリアデザインとライフプラン リーガルリテラシー ジェンダーリテラシー 子育てと環境 女性と健康 女性の心と身体 食の科学 歴史のなかの女性 芸術を読みとる	1前・後 1前・後 1前・後 1前・後 1前・後 1・2・3前・後 2・3前・後 2・3前・後 2・3前・後	2 2 2 2 2 2 2 2 2				1						2 1 1 4 1 1 1 1 1	女性を生きる	キャリアデザインとライフプラン リーガルリテラシー ジェンダーリテラシー 子育てと環境 女性と健康 女性の心と身体 食の科学 歴史のなかの女性 芸術を読みとる	1前・後 1前・後 1前・後 1前・後 1前・後 1・2・3前・後 2・3前・後 2・3前・後 2・3前・後	2 2 2 2 2 2 2 2 2			1						2 1 1 4 1 1 1 1 1					
	社会に生きる	グローバル社会 ネットワーク社会 共生社会入門 多様性と倫理 持続可能な社会 くらしのなかの日本国憲法 ボランティア論 災害と社会 21世紀型の教育	1前・後 1前・後 1前・後 1前・後 1前・後 1・2・3前・後 1・2・3前・後 2・3前・後 2・3前・後	2 2 2 2 2 2 2 2 2										1 1 1 1 1 3 1 1 1	社会に生きる	グローバル社会 ネットワーク社会 共生社会入門 多様性と倫理 持続可能な社会 くらしのなかの日本国憲法 ボランティア論 災害と社会 21世紀型の教育	1前・後 1前・後 1前・後 1前・後 1前・後 1・2・3前・後 1・2・3前・後 2・3前・後 2・3前・後	2 2 2 2 2 2 2 2 2									2 1 1 1 1 1 1 1 1					
	体育保健	身体運動Ⅰ 身体運動Ⅱ	1・2・3・4前 1・2・3・4後	1 1			1 1		2 2					2 9	体育保健	身体運動Ⅰ 身体運動Ⅱ	1・2・3・4前 1・2・3・4後	1 1			1 1		2 2				1 12					
	処情報	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	1前 1・2・3・4後	1 1										2 2	処情報	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	1前 1・2・3・4後	1 1								2 2						
	外国語(基礎科目)	英語Ⅰa 英語Ⅰb 英語Ⅱa 英語Ⅱb 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 朝鮮語Ⅰa 朝鮮語Ⅰb フランス語Ⅰa フランス語Ⅰb 海外語学研修	1前 1後 2・3・4前 2・3・4後 1前 1後 2・3・4前 2・3・4後 1前 1後 1前 1後 1・2・3・4前	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1											2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 1 1	外国語(基礎科目)	英語Ⅰa 英語Ⅰb 英語Ⅱa 英語Ⅱb 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 朝鮮語Ⅰa 朝鮮語Ⅰb フランス語Ⅰa フランス語Ⅰb 海外語学研修(未開講)	1前 1後 2・3・4前 2・3・4後 1前 1後 2・3・4前 2・3・4後 1前 1後 1前 1後 1・2・3・4前	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1													4 2 1 1 2 2 2 2 2 2 1 1 1

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
外国語目的別科目	英語コミュニケーション基礎a	2・3・4前		1							1	
	英語コミュニケーション基礎b	2・3・4後		1							1	
	英語コミュニケーション発展a	3・4前		1							1	
	英語コミュニケーション発展b	3・4後		1							1	
	英語コミュニケーション応用	1・2・3・4前・後		2							1	
	アドバンスト・リスニング	1・2・3・4後		2							2	
	アドバンスト・リーディング	1・2・3・4後		2							2	
	アドバンスト・ライティング	1・2・3・4後		2							1	
	ビジネス英語	2・3・4後		2							1	
	映画・ドラマ英語	2・3・4後		2							1	
	インターネット英語	2・3・4後		2							1	
	メディア英語	2・3・4前		2							1	
TOEIC対策講座	1・2・3・4後		2							1		
中国語試験対策講座	1・2・3・4前		2							1		
日本語検定対策講座	1・2・3・4前・後		2							1		
共通科目	総合日本語 I a	1前		1							1	
	総合日本語 I b	1後		1							1	
	総合日本語 II a	2前		1							1	
	総合日本語 II b	2後		1							1	
	総合日本語 III a	3・4前		1							1	
	総合日本語 III b	3・4後		1							1	
	日本語表現技術 I	1・2・3・4前		1							1	
	日本語表現技術 II	1・2・3・4後		1							1	
	日本語表現技術 III	1・2・3・4前		1							1	
	日本語表現技術 IV	1・2・3・4後		1							1	
	日本語研究 A (時事 I)	1・2・3・4前		1							1	
	日本語研究 B (時事 II)	1・2・3・4後		1							1	
日本語研究 C (ビジネス I)	1・2・3・4前		1							1		
日本語研究 D (ビジネス II)	1・2・3・4後		1							1		
日本語研究 E (医療・福祉専門)	1・2・3・4前		1							1		
日本語研究 F (人文科学)	1・2・3・4後		1							1		
日本語能力試験対策講座 I	1・2・3・4前		1							1		
日本語能力試験対策講座 II	1・2・3・4後		1							1		
日本語集中講座 (編入)	1・2・3・4前		1							2		
キャリア教育	キャリアデザイン入門	2前	2			1						
	キャリアロールモデル研究	2後	2								1	
	企業に学ぶキャリアデザイン	2前	2								2	
	プロアクティブ人材育成	2後	2								2	
	キャリアサポート演習	3通	2								2	
	キャリア基礎力 I	2・3前	2								1	
	キャリア基礎力 II	2・3後	2								1	
	インターンシップ短期	1・2・3前・後	1								1	
	インターンシップ長期	1・2・3前・後	2								1	
	小計 (89科目)	-	8	127	0	3	2	2	1		74	
	外国語目的別科目	英語コミュニケーション基礎a	2・3・4前		1							1
		英語コミュニケーション基礎b	2・3・4後		1							1
英語コミュニケーション発展a		3・4前		1							1	
英語コミュニケーション発展b		3・4後		1							1	
英語コミュニケーション応用 (木曜限)		1・2・3・4前・後		2							1	
アドバンスト・リスニング		1・2・3・4後		2							2	
アドバンスト・リーディング		1・2・3・4後		2							2	
アドバンスト・ライティング		1・2・3・4後		2							2	
ビジネス英語		2・3・4後		2							1	
映画・ドラマ英語		2・3・4後		2							1	
インターネット英語		2・3・4後		2							1	
メディア英語		2・3・4前		2							1	
TOEIC対策講座	1・2・3・4後		2							3		
中国語試験対策講座	1・2・3・4前		2							1		
日本語検定対策講座	1・2・3・4前		2							1		
共通科目	総合日本語 I a	1前		1							1	
	総合日本語 I b	1後		1							2	
	総合日本語 II a	2前		1							1	
	総合日本語 II b	2後		1							1	
	総合日本語 III a	3・4前		1							1	
	総合日本語 III b	3・4後		1							1	
	日本語表現技術 I	1・2・3・4前		1							1	
	日本語表現技術 II	1・2・3・4後		1							1	
	日本語表現技術 III	1・2・3・4前		1							1	
	日本語表現技術 IV	1・2・3・4後		1							1	
	日本語研究 A (時事 I)	1・2・3・4前		1							2	
	日本語研究 B (時事 II)	1・2・3・4後		1							1	
日本語研究 C (ビジネス I)	1・2・3・4前		1							1		
日本語研究 D (ビジネス II)	1・2・3・4後		1							1		
日本語研究 E (医療・福祉専門)	1・2・3・4前		1							1		
日本語研究 F (人文科学)	1・2・3・4後		1							1		
日本語能力試験対策講座 I	1・2・3・4前		1							1		
日本語能力試験対策講座 II	1・2・3・4後		1							1		
日本語集中講座 (編入)	2・3・4前		1							2		
キャリア教育	キャリアデザイン入門	2前	2				1					
	キャリアロールモデル研究	2後	2								1	
	企業に学ぶキャリアデザイン	2前	2								2	
	プロアクティブ人材育成	2後	2								2	
	キャリアサポート演習	3通	2								2	
	キャリア基礎力 I	2・3前	2								1	
	キャリア基礎力 II	2・3後	2								1	
	インターンシップ短期	1・2・3前・後	1								1	
	インターンシップ長期	1・2・3前・後	2								1	
	小計 (89科目)	-	8	127	0	7	5	3	1		82	

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配年 当次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
専門領域科目	栄養士入門	1前	2			1	4		1	
	公衆衛生学 (衛生学を含む)	3前	2			1				
	統計学演習	1前	2							1
	社会福祉概論	3前	2							1
	解剖生理学(解剖学を含む)	1前	2			1				
	解剖生理学実験	1後	1			2	1			1
	生化学	2前	2			1				
	生化学実験	2後	1			1				1
	運動生理学 (生理学を含む)	2前	2			1				
	分子栄養学	4前	2			1				
	病態生理学	2後	2			1				
	食品学I	1前	2				1			
	食品学II	1後	2				1			
	食品学実験	2前	1				1			1
	食品機能論	4後	2				1			
	食品衛生学	1後	2				1			
	食品衛生学実験	2前	1				1			1
	基礎栄養学I	1前	2				1			
	基礎栄養学II	1後	2				1			
	基礎栄養学実験	1後	1				1			1
	応用栄養学	2前	2				1			
	応用栄養学実習	2後	1				1			1
	臨床栄養学	3前	2							1
	臨床栄養学実習	3後	1							1
	食事療法演習	3後	2							1
	栄養指導論I	2前	2				1			
	栄養指導論II	2後	2				1			
	栄養指導論実習I	2後	1				2			1
栄養指導論実習II	3前	1				2			1	
公衆栄養学概論	3後	2				1				
公衆栄養学実習	4前	1				1			1	
栄養教諭実践論	3前	2				1			1	
調理学	1前	2				1				
基礎調理学実習I	1前	1				1			1	
基礎調理学実習II	1後	1				1		1	1	
応用調理学実習	2後	1				1			1	
給食計画・実務論	3前	2				1				
給食運営実習	3後	1				1			1	
給食運営校外実習	4通	1				1	3			
給食運営演習	4通	2				1	3			
食事計画論演習	2前	2				2		1		
ウエルネス概論 (演習を含む)	1前	2				1				
健康管理概論	2前	2					1			
健康食育論	4前	2				1				
運動栄養学演習	3前	2							1	
スポーツ栄養学 (演習を含む)	3前	2				2				
サプリメント概論	4後	2				1				
科目区分	授業科目の名称	配年 当次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
専門領域科目	栄養士入門	1前	2			1	4		0	
	公衆衛生学 (衛生学を含む)	3前	2			1				
	統計学演習	1前	2							1
	社会福祉概論	3前	2							1
	解剖生理学(解剖学を含む)	1前	2			1				
	解剖生理学実験	1後	1			2	1			1
	生化学	2前	2			1				
	生化学実験	2後	1			1				1
	運動生理学 (生理学を含む)	2前	2			1				
	分子栄養学	4前	2			1				
	病態生理学	2後	2			1				
	食品学I	1前	2				1			
	食品学II	1後	2				1			
	食品学実験	2前	1				1			1
	食品機能論	4後	2				1			
	食品衛生学	1後	2				1			
	食品衛生学実験	2前	1				1			1
	基礎栄養学I	1前	2				1			
	基礎栄養学II	1後	2				1			
	基礎栄養学実験	1後	1				1			1
	応用栄養学	2前	2				1			
	応用栄養学実習	2後	1				1			1
	臨床栄養学	3前	2							1
	臨床栄養学実習	3後	1							1
	食事療法演習	3後	2							1
	栄養指導論I	2前	2				1			
	栄養指導論II	2後	2				1			
	栄養指導論実習I	2後	1				2			1
栄養指導論実習II	3前	1				2			1	
公衆栄養学概論	3後	2				1				
公衆栄養学実習	4前	1				1			1	
栄養教諭実践論	3前	2				1			1	
調理学	1前	2				1				
基礎調理学実習I	1前	1				1		1	1	
基礎調理学実習II	1後	1				1		1	1	
応用調理学実習	2後	1				1		1	1	
給食計画・実務論	3前	2				1				
給食運営実習	3後	1				1			1	
給食運営校外実習	4通	1				1	3			
給食運営演習	4通	2				1	3			
食事計画論演習	2前	2				2		2	1	
ウエルネス概論 (演習を含む)	1前	2				1	2	2	1	
健康管理概論	2前	2						1		
健康食育論	4前	2				1				
運動栄養学演習	3前	2							1	
スポーツ栄養学 (演習を含む)	3前	2				2				
サプリメント概論	4後	2				1				

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	科目区分	授業科目の名称	配当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
運動の科学	運動生理学実験	2後		1		2					1		運動生理学実験	2後		1		2					1			
	バイオメカニクス	3前		2		1					1		バイオメカニクス	3前		2		1					1			
	トレーニング論演習	3後		2									トレーニング論演習	3後		2								1		
	運動プログラム演習	2前		2		2							運動プログラム演習	2前		2		2						1		
	体力測定・評価演習	3後		2									体力測定・評価演習	3後		2								1		
	スポーツ医学	3後		2		1							スポーツ医学	3後		2		1							1	
	運動の障害と予防	2前		2									運動の障害と予防	2前		2									1	
	トレーナー学演習	2前		2									トレーナー学演習	2前		2									1	
	コーチング論(演習を含む)	4前		2									コーチング論(演習を含む)	4前		2									1	
	女性のコンディショニング管理論	4後		2			1						女性のコンディショニング管理論	1後		2			1						1	
身体運動	体育原理	2前		2				1					体育原理	2前		2			1						1	
	運動学(運動方法学)	2後		2		1			1	1			運動学(運動方法学)	2後		2		1		1	1				1	
	健康・スポーツ心理学	2後		2									健康・スポーツ心理学	2後		2									1	
	スポーツ社会学(スポーツ経営管理学を含む)	2後		2									スポーツ社会学(スポーツ経営管理学を含む)	2後		2									1	
	健康づくりの運動A(体づくりの運動・体操)	1前		1		1							健康づくりの運動A(体づくりの運動・体操)	1前		1		1							1	
	健康づくりの運動B(ダンス)	2後		1		1							健康づくりの運動B(ダンス)	2後		1		1							1	
	健康づくりの運動C(水泳・陸上競技)	1前		1				2	1				健康づくりの運動C(水泳・陸上競技)	1前		1			2	1					1	
	健康づくりの運動D(器械運動)	2前		1									健康づくりの運動D(器械運動)	2前		1									1	
食文化と健康支援	健康づくりの運動E(武道)	2後		1									健康づくりの運動E(武道)	2後		1									1	
	健康づくりの運動F(球技I)	1後		1					1				健康づくりの運動F(球技I)	1後		1								1		
	健康づくりの運動G(球技II)	3前		1				2					健康づくりの運動G(球技II)	3前		1			2						1	
	健康づくりの運動H(球技III)	3後		1					1				健康づくりの運動H(球技III)	3後		1									1	
	健康保育概論	3前		2									健康保育概論	3前		2									1	
	学校保健概論	3前		2				1					学校保健概論	3前		2			1						2	
	健康介護概論	3前		2									健康介護概論	3前		2									1	
	ケア論	3後		2									ケア論	3後		2									1	
	障害者福祉論	4後		2									障害者福祉論	4後		2									1	
	食とアレルギー	3後		2			1						食とアレルギー	3後		2			1						1	
食の文化	野外リクリエーション演習	2前		1		1		2	1				野外リクリエーション演習	2前		1		1		2	1				1	
	救急・応急処置演習	2後		2							2		救急・応急処置演習	2後		2									2	
	高齢者運動指導演習	2・3・4通		2		1		2					高齢者運動指導演習	2・3・4通		2		1		2					1	
	健康産業施設実習	3後		1		1		2					健康産業施設実習	3後		1		1		2					1	
	健康運動指導演習	3後		2		2		1					健康運動指導演習	3後		2		2		1					1	
	健康スポーツビジネス論	4前		2		1							健康スポーツビジネス論	4前		2		1							1	
	食文化概論	1前		2		1	2	1					食文化概論	1前		2		1	2	1					1	
	食文化と健康	1後		2		1							食文化と健康	1後		2		1							1	
	食の比較文化論	1前		2									食の比較文化論	1前		2									1	
	日本と世界の食文化	2前		2									日本と世界の食文化	2前		2									1	
現代の食文化	郷土と行事の食	3前		2									郷土と行事の食	3前		2									1	
	嗜好品の文化(演習を含む)	4前		2				1			1		嗜好品の文化(演習を含む)	4前		2			1					1		
	食文化フィールドワーク	2後		1		1		1					食文化フィールドワーク	2後		1		1		1					1	
	食農体験	3前・後		1			1	1			1		食農体験	3前・後		1			1	1					1	
	食事学概論	1後		2									食事学概論	1後		2									1	
	料理学	2前		2									料理学	2前		2									1	
	比較料理学	3後		2		1							比較料理学	3後		2		1							1	
	家庭料理論	4前		2									家庭料理論	4前		2									1	
	食の分析評価論(演習を含む)	4後		2		1					1	1	食の分析評価論(演習を含む)	4後		2		1						1	1	
	和食文化演習(身体的調理演習)I	2後		2							1	1	和食文化演習(身体的調理演習)I	2後		2								1	1	
和食文化演習(身体的調理演習)II	3前		2							1	1	和食文化演習(身体的調理演習)II	3前		2								1	1		
西洋料理文化演習	3後		2				1			1	1	西洋料理文化演習	3後		2					1			1	1		
中国料理文化演習	3前		2				1			1	1	中国料理文化演習	3前		2					1			1	1		
薬膳料理文化演習	4前		2							1	1	薬膳料理文化演習	4前		2								1	1		
菓子・パンの文化演習	2後		2			1				1	1	菓子・パンの文化演習	2後		2			1					1	1		
食品の調理加工学(演習を含む)	4前		2			1				1		食品の調理加工学(演習を含む)	4前		2			1					1	1		
現代の食文化事情	4後		2			1				1		現代の食文化事情	4後		2			1					1	1		

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門領域	食の美学	美味学	2前	2		1	1					
		おいしさの科学 (演習を含む)	3前	2		1			1			
		食とことば	3前	2				1				
		食卓美学 (演習を含む)	3後	2						1	1	
		献立と美味論	4前	2		1						
	食行動の心理学	3後	2							1		
	食のビジネス	食のマーケティング	3後	2							1	
		フードサービス論	4前	2							1	
		フードコーディネート論	4前	2							1	
		フードマネジメント論	4後	2							1	
		食の企画と演出(演習を含む)	4後	2						1	1	
		おもてなし・ホスピタリティ論(演習を含む)	3後	2						1	1	
		カラーコーディネート論(演習を含む)	4前	2						1	1	
	食のマナー(演習含む)	4後	2					1		1		
演習	健康栄養学演習	3通	4		7	5	3	2				
卒業研究	卒業研究	4通	4		7	5	3	2				
小計 (118科目)			-	12	200	0	7	5	3	2	40	
合計 (207科目)			-	20	327	0	7	5	3	2	111	

科目区分	授業科目の名称	配当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門領域	食の美学	美味学	2前	2		1	1				
		おいしさの科学 (演習を含む)	3前	2		1			1		
		食とことば	3前	2				1			
		食卓美学 (演習を含む)	3後	2						1	1
		献立と美味論	4前	2		1					
	食行動の心理学	3後	2							1	
	食のビジネス	食のマーケティング	3後	2							1
		フードサービス論	4前	2							1
		フードコーディネート論	4前	2							1
		フードマネジメント論	4後	2							1
		食の企画と演出(演習を含む)	4後	2						1	1
		おもてなし・ホスピタリティ論(演習を含む)	3後	2						1	1
		カラーコーディネート論(演習を含む)	4前	2						1	1
	食のマナー(演習含む)	4後	2					1		1	
演習	健康栄養学演習	3通	4		7	5	3	2			
卒業研究	卒業研究	4通	4		7	5	3	2			
小計 (118科目)			-	12	200	0	7	5	3	2	40
合計 (207科目)			-	20	327	0	7	5	3	2	122

卒業要件及び履修方法

卒業要件及び履修方法

共通科目から必修科目5科目8単位を含めた22単位以上を修得すること。ただし、「女性を生きる」区分より「キャリアデザインとライフプラン」「リーガルリテラシー」「ジェンダーリテラシー」「子育てと環境」「女性と健康」から1科目2単位以上、「社会に生きる」区分より「グローバル社会」「ネットワーク社会」「共生社会入門」「多様性と倫理」「持続可能な社会」から1科目2単位以上、「保健体育」区分から1科目1単位以上、「外国語(基礎科目)」区分より「海外語学研修」を除いた12科目から1科目1単位以上を修得すること。
 専門科目から、必修科目6科目12単位を含めた90単位以上を修得すること。
 その他、自由選択科目として、共通科目・自学科専門科目・他学科専門科目から12単位以上を修得すること。
 合計で124単位以上を修得すること。なお、年間の履修上限は原則48単位である。

共通科目から必修科目5科目8単位を含めた22単位以上を修得すること。ただし、「女性を生きる」区分より「キャリアデザインとライフプラン」「リーガルリテラシー」「ジェンダーリテラシー」「子育てと環境」「女性と健康」から1科目2単位以上、「社会に生きる」区分より「グローバル社会」「ネットワーク社会」「共生社会入門」「多様性と倫理」「持続可能な社会」から1科目2単位以上、「保健体育」区分から1科目1単位以上、「外国語(基礎科目)」区分より「海外語学研修」を除いた12科目から1科目1単位以上を修得すること。
 専門科目から、必修科目6科目12単位を含めた90単位以上を修得すること。
 その他、自由選択科目として、共通科目・自学科専門科目・他学科専門科目から12単位以上を修得すること。
 合計で124単位以上を修得すること。なお、年間の履修上限は原則48単位である。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・ 担当教員変更により、「入門ゼミナール」の教員配置を、「教授3」「准教授3」「講師1」「助教1」から「教授6」「准教授5」「講師3」「助教1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「コミュニケーション演習」の教員配置を、「兼任・兼任6」から「兼任・兼任2」に変更。
教育効果を考慮し、「コミュニケーション演習」の配当年次を、「1前・後」から「1後」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「読書入門ゼミナール」の教員配置を、「兼任・兼任17」から「講師1」「兼任・兼任9」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「地域で学ぶ」の教員配置を、「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 開講コマ数に伴う調整により、「総合科目」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「教授1」「兼任・兼任7」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「女性と健康」の教員配置を、「准教授1」から「准教授1」「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「グローバル社会」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「くらしのなかの日本国憲法」の教員配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「身体運動Ⅰ」の教員配置を「教授1」「講師2」から「教授1」「講師」「助教1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「身体運動Ⅱ」の教員配置を、「教授1」「講師2」から「教授1」「講師2」「兼任・兼任12」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「英語Ⅰa」の教員配置を、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「朝鮮語Ⅰa」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「朝鮮語Ⅰb」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「アドバンスト・ライティング」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「TOEIC対策講座」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語検定対策講座」の配当年次を、「1・2・3・4前・後」から「1・2・3・4前」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「総合日本語Ⅰb」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語研究A（時事Ⅰ）」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語集中講座（編入）」の配当年次を、「1・2・3・4前」から「2・3・4前」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「栄養士入門」の教員配置を、「教授1」「准教授4」「助教1」から「教授1」「准教授4」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「食品学実験」の配当年次を、「2前」から「1後」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「基礎調理学実習Ⅰ」の教員配置を、「教授1」「助手1」から「教授1」「講師1」「助手1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「ウェルネス概論（演習を含む）」の教員配置を、「教授1」から「教授1」「准教授2」「講師1」「助教1」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
11 科目	196 科目	科目	207 科目	11 科目 [0]	196 科目 [0]	科目 []	207 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	海外語学研修	1	1・2・3・4前	一般科目	選択	コロナ禍に伴う海外渡航制限のため。代替措置無し
2	英語コミュニケーション応用	2	1・2・3・4前・後	一般科目	選択	対面を前提とした授業のため、社会情報学部以外はR3年度開講に変更
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

海外語学研修は各国の日本人に対する海外渡航制限の影響もありやむを得ずR2年度は非開講とし、学内メールにて学生には周知を行った。また、英語コミュニケーション演習も対面を前提とした授業であったため、選択必修の学科は次年度開講へと予定を変更し、学生にはシステム時間割上の変更にて通知を行った。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{207} = \boxed{0.96}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	24,118 m ²	— m ²	— m ²	24,118 m ²				
	運動場用地	39,202 m ²	— m ²	— m ²	39,202 m ²				
	小 計	63,320 m ²	— m ²	— m ²	63,320 m ²				
	そ の 他	21,905 m ²	— m ²	— m ²	21,905 m ²				
	合 計	85,225 m ²	— m ²	— m ²	85,225 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
		30,715 m ² (30,715 m ²)	— m ² (— m ²)	— m ² (— m ²)	30,715 m ² (30,715 m ²)				
(3) 教 室 等		講 義 室 55 室 53 室	演 習 室 48 室	実験実習室 29 室 19 室	情報処理学習施設 8 室 7 室 (補助職員 一人)	語学学習施設 7 室 9 室 (補助職員 一人)	大学全体 学生の修学環境の見直しを行い、学修施設を増やした。ただし、語学学習施設は、学内組織の変更により2室減となった。(2)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		人間生活学部 健康栄養学科			1 6 1 7 室		【健康栄養】 自己都合退職者1名分減(2)		
		人間生活学部 食物栄養学科			1 5 1 7 室		【食物栄養】 申請時の17は誤植で18。学年進行中の就任者2名、自己都合退職1名計3名分減(2)		
		人間生活学部 食品開発学科			7 室				
		人間生活学部 人間福祉学科			1 4 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数 閲覧席増加のため、資料移設、図書資料の除籍をおこなったことにより蔵書冊数は減少した。(2)	
	大学全体	189,906 [20,970] (179,390 [20,333]) (181,906 [20,570])	706 [207] (703 [206]) (706 [207])	18 [4] (20 [4]) (18 [4])	4,896 (4,442) (4,416)	15,487 (12,630)	90 (72)		
	計	189,906 [20,970] (179,390 [20,333]) (181,906 [20,570])	706 [207] (703 [206]) (706 [207])	18 [4] (20 [4]) (18 [4])	4,896 (4,442) (4,416)	15,487 (12,630)	90 (72)		
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			大学全体	
		1,930 m ²	391 345		150,722 146,639				
(7) 体 育 館		面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					大学全体	
		3,253 m ²	該 当 な し 該 当 な し						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体
		教員1人当り研究費等	170千円	170千円	図書購入費	5,000千円	5,000千円	5,000千円	
		共同研究費等	17,000千円	17,000千円	設備購入費	100,000千円	100,000千円	50,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	健康栄養学科 食物栄養学科 食品開発学科 人間福祉学科	
		1,430千円	1,340千円	1,340千円	1,340千円	— 千円	— 千円		
	1,330千円	1,240千円	1,240千円	1,240千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	十文字学園女子大学										備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人間生活学部	4	350	3年次 15人	350	-	1.04	1.04	令和2	令和2		
健康栄養学科	4	120	3年次 5人	120	学士 (栄養学)	1.03	1.03	令和2	令和2		
食物栄養学科	4	120	3年次 10人	120	学士 (栄養学)	1.05	1.05	令和2	令和2		
食品開発学科	4	40	-	160	学士 (食品学)	0.77	0.77	令和2	令和2		
人間福祉学科	4	70	-	70	学士 (社会福祉学)	1.18	1.18	令和2	令和2		
社会福祉・介護福祉コース	4	20	-	-	学士 (社会福祉学)	1.50	1.50	令和2	令和2		
社会福祉・保育コース	4	50	-	-	学士 (社会福祉学)	1.06	1.06	令和2	令和2		
教育人文学部	4	440	3年次 5人	440	-	1.17	1.17	令和2	令和2		
幼児教育学科	4	170	-	170	学士 (教育学)	1.02	1.02	令和2	令和2		
児童教育学科	4	80	-	80	学士 (教育学)	1.08	1.08	令和2	令和2		
心理学科	4	120	-	120	学士 (心理学)	1.27	1.27	令和2	令和2		
文芸文化学科	4	70	3年次 5人	70	学士 (文学)	1.44	1.44	令和2	令和2		
社会情報デザイン学部	4	130	3年次 5人	130	-	1.33	1.33	令和2	令和2		
社会情報デザイン学科	4	130	3年次 5人	130	学士 (社会学)	1.33	1.33	令和2	令和2	埼玉県新座市菅沢2丁目1番28号	
(旧) 人間生活学部	4	-	-	-	-	-	-	-	平成23		(旧) 人間生活学部 令和2年度より学生募集停止
幼児教育学科	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	-	平成23		
児童教育学科	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	-	平成23		
人間発達心理学科	4	-	-	-	学士 (心理学)	-	-	-	平成23		
人間福祉学科	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	-	-	平成27		
社会福祉・介護福祉コース	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	-	-	平成27		
社会福祉・保育コース	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	-	-	平成27		
健康栄養学科	4	-	-	-	学士 (栄養学)	-	-	-	平成27		
食物栄養学科	4	-	-	-	学士 (栄養学)	-	-	-	平成23		
文芸文化学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	-	-	平成27		
生活情報学科	4	-	-	-	学士 (社会情報学)	-	-	-	平成23		
メディアコミュニケーション学科	4	-	-	-	学士 (コミュニケーション学)	-	-	-	平成23		
大学全体	-	920	25	920	-	-	-	-	-		

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地
人間生活学研究科								-	-	埼玉県新座市菅 沢2丁目1番28号
食物栄養学専攻 (博士後期課程)	3	2	-	6	博士 (栄養学)	1.16	1.00	-	平成28	
食物栄養学専攻 (修士課程)	2	5	-	10	修士 (栄養学)	0.80	0.60	-	平成22	
研究科全体	-	7	-	16	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<人間生活学部 健康栄養学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【令和2年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	専任・兼任・兼任の別	職名
	氏名 (年齢) <就任(卒業)年月 保有学位等>		氏名 (年齢) <就任(卒業)年月 保有学位等>
	担当授業科目名		担当授業科目名
専	教授 伊藤 紗 飯田 路佳 <令和2年4月> 入門ゼミナール 女性の心と身体 身体運動Ⅰ 身体運動Ⅱ ウエルネス概論(演習を含む) 健康づくりの運動A(体づくりの運動・体操)※ 健康づくりの運動B(ダンス)※ ※ 野外リクリエーション演習 高齢者運動指導演習 健康運動指導演習※ 健康栄養学演習 卒業研究	専	教授 伊藤 紗 飯田 路佳 <令和2年4月> 入門ゼミナール 女性の心と身体 身体運動Ⅰ 身体運動Ⅱ ウエルネス概論(演習を含む) 健康づくりの運動A(体づくりの運動・体操)※ 健康づくりの運動B(ダンス)※ ※ 野外リクリエーション演習 高齢者運動指導演習 健康運動指導演習※ 健康栄養学演習 卒業研究
専	教授 伊藤 沙樹 池川 繁樹 <令和2年4月> 入門ゼミナール 地域と人間生活 キャリアデザイン入門 解剖生理学実験 運動生理学(生理学を含む) 運動生理学実験※ バイオメカニクス 運動プログラム演習 運動学(運動方法学) 健康産業施設実習 健康運動指導演習※ 健康栄養学演習 卒業研究	専	教授 伊藤 沙樹 池川 繁樹 <令和2年4月> 入門ゼミナール 地域と人間生活 キャリアデザイン入門 解剖生理学実験 運動生理学(生理学を含む) 運動生理学実験※ バイオメカニクス 運動プログラム演習 運動学(運動方法学) 健康産業施設実習 健康運動指導演習※ 健康栄養学演習 卒業研究
専	教授 伊藤 紗樹 石山 隆之 <令和2年4月> 入門ゼミナール 健康スポーツビジネス論 健康栄養学演習 卒業研究	専	教授 伊藤 紗樹 石山 隆之 <令和2年4月> 入門ゼミナール 健康スポーツビジネス論 健康栄養学演習 卒業研究 兼教科目 身体運動Ⅱ
専	教授 木村 靖子 <令和2年4月> 入門ゼミナール 栄養士入門※ 調理学 基礎調理学実習Ⅰ 基礎調理学実習Ⅱ 給食計画・業務論 給食運営実習 給食運営校外実習 給食運営演習※ 健康栄養学演習 卒業研究	専	教授 木村 靖子 <令和2年4月> 入門ゼミナール 栄養士入門※ 調理学 基礎調理学実習Ⅰ 基礎調理学実習Ⅱ 給食計画・業務論 給食運営実習 給食運営校外実習 給食運営演習※ 健康栄養学演習 卒業研究
専	教授 高橋 正人 <令和2年4月> 入門ゼミナール 公衆衛生学(衛生学を含む) 解剖生理学(解剖学を含む) 解剖生理学実験 病態生理学 運動生理学実験※ 運動プログラム演習 スポーツ医学 健康栄養学演習 卒業研究	専	教授 高橋 正人 <令和2年4月> 入門ゼミナール 公衆衛生学(衛生学を含む) 解剖生理学(解剖学を含む) 解剖生理学実験 病態生理学 運動生理学実験※ 運動プログラム演習 スポーツ医学 健康栄養学演習 卒業研究
専	教授 長尾 昭彦 <令和2年4月> 入門ゼミナール 生化学 生化学実験 分子栄養学 食品機能論 食品衛生学 食品衛生学実験 健康栄養学演習 卒業研究	専	教授 長尾 昭彦 <令和2年4月> 入門ゼミナール 生化学 生化学実験 分子栄養学 食品機能論 食品衛生学 食品衛生学実験 健康栄養学演習 卒業研究
専	教授 名倉 秀子 <令和2年4月> 入門ゼミナール 食文化概論※ 食文化と健康 食文化フィールドワーク 比較料理学 食の分析評価論(演習を含む) 現代の食文化事情 美味学 献立と美味論 健康栄養学演習 卒業研究	専	教授 名倉 秀子 <令和2年4月> 入門ゼミナール 食文化概論※ 食文化と健康 食文化フィールドワーク 比較料理学 食の分析評価論(演習を含む) 現代の食文化事情 美味学 献立と美味論 健康栄養学演習 卒業研究
専	准教授 小長井ちづる <令和2年4月> 入門ゼミナール 食品学Ⅰ 食品学Ⅱ 食品学実験 食文化概論※ 食品の調理加工学(演習を含む) おいしさの科学(演習を含む) 健康栄養学演習 卒業研究	専	准教授 小長井ちづる <令和2年4月> 入門ゼミナール 食品学Ⅰ 食品学Ⅱ 食品学実験 食文化概論※ 食品の調理加工学(演習を含む) おいしさの科学(演習を含む) 健康栄養学演習 卒業研究

専	准教授	<p>特任(914) 扶 佐々木(佐藤) 葉穂 ＜令和2年4月＞</p> <p>入門ゼミナール 栄養士入門※ 解剖生理学実験 基礎栄養学Ⅰ 基礎栄養学Ⅱ 基礎栄養学実験 応用栄養学実習 給食運営校外実習 給食運営演習※ 食事計画演習 サプリメント概論 健康栄養学演習 卒業研究</p>	専	准教授	<p>特任(914) 扶 佐々木(佐藤) 葉穂 ＜令和2年4月＞</p> <p>入門ゼミナール 栄養士入門※ 解剖生理学実験 基礎栄養学Ⅰ 基礎栄養学Ⅱ 基礎栄養学実験 応用栄養学実習 給食運営校外実習 給食運営演習※ 食事計画演習 サプリメント概論 健康栄養学演習 卒業研究</p>
専	准教授	<p>19/ 303 徳野 裕子 ＜令和2年4月＞</p> <p>入門ゼミナール 女性と健康 栄養士入門※ 公衆栄養学概論 公衆栄養学実習 栄養教諭実践論 健康食育論 スポーツ栄養学(演習を含む) ※ 健康栄養学演習 卒業研究</p>	専	准教授	<p>19/ 303 徳野 裕子 ＜令和2年4月＞</p> <p>入門ゼミナール 女性と健康 栄養士入門※ 公衆栄養学概論 公衆栄養学実習 栄養教諭実践論 健康食育論 スポーツ栄養学(演習を含む) ※ 健康栄養学演習 卒業研究 ウェルネス概論(演習を含む)</p>
専	准教授	<p>19/ 310 林 典子 ＜令和2年4月＞</p> <p>入門ゼミナール 栄養士入門※ 栄養指導論Ⅰ 栄養指導論実習Ⅰ 栄養指導論実習Ⅱ 給食運営校外実習 給食運営演習※ 食事計画演習 食とアレルギー 食文化概論※ 食農体験 東洋・パンの文化演習 健康栄養学演習 卒業研究</p>	専	准教授	<p>19/ 310 林 典子 ＜令和2年4月＞</p> <p>入門ゼミナール 栄養士入門※ 栄養指導論Ⅰ 栄養指導論実習Ⅰ 栄養指導論実習Ⅱ 給食運営校外実習 給食運営演習※ 食事計画演習 食とアレルギー 食文化概論※ 食農体験 東洋・パンの文化演習 健康栄養学演習 卒業研究</p>
専	准教授	<p>19/ 310 村田 浩子 ＜令和2年4月＞</p> <p>入門ゼミナール 栄養士入門※ 応用栄養学 栄養指導論Ⅰ 栄養指導論実習Ⅰ 栄養指導論実習Ⅱ 給食運営校外実習 給食運営演習※ スポーツ栄養学(演習を含む) ※ 女性のコンディショニング管理論※ 学校保健概論※ 健康栄養学演習 卒業研究</p>	専	准教授	<p>19/ 310 村田 浩子 ＜令和2年4月＞</p> <p>入門ゼミナール 栄養士入門※ 応用栄養学 栄養指導論Ⅰ 栄養指導論実習Ⅰ 栄養指導論実習Ⅱ 給食運営校外実習 給食運営演習※ スポーツ栄養学(演習を含む) ※ 女性のコンディショニング管理論※ 学校保健概論※ 健康栄養学演習 卒業研究 ウェルネス概論(演習を含む)</p>
専	講師	<p>19/ 314 伊藤 美穂 ＜令和2年4月＞</p> <p>入門ゼミナール 基礎調理学実習Ⅱ 応用調理学実習 食文化概論※ 嗜好品の文化(演習を含む) 食文化フィールドワーク 食農体験 西洋料理文化演習 中国料理文化演習 現代の食文化事情 美味学 食とことば 食のワナ(演習含む) 健康栄養学演習 卒業研究</p>	専	講師	<p>19/ 314 伊藤 美穂 ＜令和2年4月＞</p> <p>入門ゼミナール 基礎調理学実習Ⅱ 応用調理学実習 食文化概論※ 嗜好品の文化(演習を含む) 食文化フィールドワーク 食農体験 西洋料理文化演習 中国料理文化演習 現代の食文化事情 美味学 食とことば 食のワナ(演習含む) 健康栄養学演習 卒業研究 基礎調理学実習Ⅰ</p>
専	講師	<p>19/ 314 神田 俊平 ＜令和2年4月＞</p> <p>入門ゼミナール 身体運動Ⅰ 身体運動Ⅱ 体育管理 運動学(運動方法学) 健康づくりの運動C(水泳・陸上競技)※ 健康づくりの運動G(球技Ⅱ) 野外リクリエーション演習 高齢者運動指導演習 健康産業施設実習 健康栄養学演習 卒業研究</p>	専	講師	<p>19/ 314 神田 俊平 ＜令和2年4月＞</p> <p>入門ゼミナール 身体運動Ⅰ 身体運動Ⅱ 体育管理 運動学(運動方法学) 健康づくりの運動C(水泳・陸上競技)※ 健康づくりの運動G(球技Ⅱ) 野外リクリエーション演習 高齢者運動指導演習 健康産業施設実習 健康栄養学演習 卒業研究 健康入門ゼミナール ウェルネス概論(演習を含む)</p>
専	講師	<p>19/ 314 若菜 京良 ＜令和2年4月＞</p> <p>入門ゼミナール 身体運動Ⅰ 身体運動Ⅱ 健康管理概論 健康づくりの運動A(体づくりの運動・体操)※ 健康づくりの運動C(水泳・陸上競技)※ 健康づくりの運動G(球技Ⅱ) 野外リクリエーション演習 高齢者運動指導演習 健康産業施設実習 健康運動指導演習※ 健康栄養学演習 卒業研究</p>	専	講師	<p>19/ 314 若菜 京良 ＜令和2年4月＞</p> <p>入門ゼミナール 身体運動Ⅰ 身体運動Ⅱ 健康管理概論 健康づくりの運動A(体づくりの運動・体操)※ 健康づくりの運動C(水泳・陸上競技)※ 健康づくりの運動G(球技Ⅱ) 野外リクリエーション演習 高齢者運動指導演習 健康産業施設実習 健康運動指導演習※ 健康栄養学演習 卒業研究 ウェルネス概論(演習を含む)</p>
専	助教	<p>19/ 314 有田 安那 ＜令和2年4月＞</p> <p>入門ゼミナール 栄養士入門※ 食事計画演習 健康栄養学演習 卒業研究</p>			

専 助教	2022 相馬 満利 <令和2年4月> 入門ゼミナール バイオメカニクス 女性のコンディショニング管理 論※ 運動学(運動方法学) 健康づくりの運動C(水泳・陸 上競技)※ 健康づくりの運動F(球技Ⅰ) 健康づくりの運動H(球技Ⅲ) 野外クリエーション演習 健康栄養学演習 卒業研究	専 助教	2022 相馬 満利 <令和2年4月> 入門ゼミナール バイオメカニクス 女性のコンディショニング管理 論※ 運動学(運動方法学) 健康づくりの運動C(水泳・陸 上競技)※ 健康づくりの運動F(球技Ⅰ) 健康づくりの運動H(球技Ⅲ) 野外クリエーション演習 健康栄養学演習 卒業研究 身体運動Ⅰ ウエルネス概論(演習を含む)
	兼担 教授		兼担 教授
兼担 教授	2022 安達 一寿 <令和2年4月> コミュニケーション演習 総合ゼミナール キャリアサポート演習	兼担 教授	2022 安達 一寿 <令和2年4月> コミュニケーション演習 総合ゼミナール キャリアサポート演習
兼担 教授	2022 池間 里代子 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 海外語学研修 中国語試験対策講座	兼担 教授	2022 池間 里代子 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 海外語学研修 中国語試験対策講座
兼担 教授	2022 石野 栄一 <令和2年4月> 地域で学ぶ 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成	兼担 教授	2022 石野 栄一 <令和2年4月> 地域で学ぶ 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成
兼担 教授	2022 大友 由紀子 <令和2年4月> キャリアデザインとライフプラン	兼担 教授	2022 大友 由紀子 <令和2年4月> キャリアデザインとライフプラン
兼担 教授	2022 大山 博幸 <令和4年4月> ケア論		
		兼担 教授	2022 風間 文明 <令和2年4月> 自主社会活動
兼担 教授	2022 片原木 英人 <令和2年4月> ジェンダーリテラシー くらしのなかの日本国憲法	兼担 教授	2022 片原木 英人 <令和2年4月> ジェンダーリテラシー くらしのなかの日本国憲法
兼担 教授	2022 狩野 浩二 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 地域で学ぶ 21世紀型の教育	兼担 教授	2022 狩野 浩二 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 地域で学ぶ 21世紀型の教育 総合科目
		兼担 教授	2022 北原 俊一 <令和2年4月> 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼担 教授	2022 向後(田中)朋美 <令和2年4月> コミュニケーション演習 英語コミュニケーション応用 アドバンスト・リスニング	兼担 教授	2022 向後(田中)朋美 <令和2年4月> コミュニケーション演習 英語コミュニケーション応用 アドバンスト・リスニング
兼担 教授	2022 齋藤 忍 <令和3年4月> 人間理解ワークショップ		
兼担 教授	2022 佐藤 陽 <令和2年4月> ポランティア論	兼担 教授	2022 佐藤 陽 <令和2年4月> ポランティア論
兼担 教授	2022 設楽(松尾)優子 <令和2年4月> コミュニケーション演習 英語Ⅰa 英語Ⅰb アドバンスト・リスニング 映画・ドラマ英語 TOEIC対策講座	兼担 教授	2022 設楽(松尾)優子 <令和2年4月> コミュニケーション演習 英語Ⅰa 英語Ⅰb アドバンスト・リスニング 映画・ドラマ英語 TOEIC対策講座 アドバンスト・リーディング
兼担 教授	2022 sheila Cliffe <令和2年4月> コミュニケーション演習 英語コミュニケーション基礎a 英語コミュニケーション基礎b 英語コミュニケーション発展a 英語コミュニケーション発展b ビジネス英語	兼担 教授	2022 sheila Cliffe <令和2年4月> コミュニケーション演習 英語コミュニケーション基礎a 英語コミュニケーション基礎b 英語コミュニケーション発展a 英語コミュニケーション発展b ビジネス英語 英語Ⅰa アドバンスト・ライティング

兼担	教授	2471 372 杉元 葉子 <令和3年4月> 課題解決ゼミナール	兼担	教授	2471 372 杉元 葉子 <令和2年4月> 総合科目
兼担	教授	2271 4710 鈴木 康弘 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ	兼担	教授	2271 4710 鈴木 康弘 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ
兼担	教授	2271 4710 高谷 和成 <令和3年4月> 地域と人間生活			
兼担	教授	2271 4710 田倉 昭 <令和3年4月> キャリア基礎力Ⅰ			
兼担	教授	2271 4710 棚谷 祐一 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール キャリア基礎力Ⅱ	兼担	教授	2271 4710 棚谷 祐一 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール キャリア基礎力Ⅱ
兼担	教授	2271 4710 田島 恵子 <令和2年4月> 持続可能な社会	兼担	教授	2271 4710 田島 恵子 <令和2年4月> 持続可能な社会
兼担	教授	2271 4710 角田 真二 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	兼担	教授	2271 4710 角田 真二 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼担	教授	2271 4710 長田(鈴木) 瑞恵 <令和2年4月> 子育てと環境	兼担	教授	2271 4710 長田(鈴木) 瑞恵 <令和2年4月> 子育てと環境
兼担	教授	2271 4710 樋口 一貴 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 芸術を読みとる	兼担	教授	2271 4710 樋口 一貴 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 芸術を読みとる
兼担	教授	2271 4710 平田 智秋 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ	兼担	教授	2271 4710 平田 智秋 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ
			兼担	教授	2271 4710 福田 仁 <令和2年4月> 英語Ⅰa 英語Ⅰb
兼担	教授	2271 4710 布能 晴美 <令和2年4月> 人間理解ワークショップ 女性の心と身体 学校保健概論	兼担	教授	2271 4710 布能 晴美 <令和2年4月> 人間理解ワークショップ 女性の心と身体 学校保健概論
兼担	教授	2271 4710 星野 敬子 <令和2年4月> 地域で学ぶ	兼担	教授	2271 4710 星野 敬子 <令和2年4月> 地域で学ぶ 総合科目
兼担	教授	2271 4710 松岡 敬明 <令和2年4月> コミュニケーション演習	兼担	教授	2271 4710 松岡 敬明 <令和2年4月> コミュニケーション演習
兼担	教授	2271 4710 松永 修一 <令和2年4月> 人間理解ワークショップ 自主社会活動 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成	兼担	教授	2271 4710 松永 修一 <令和2年4月> 人間理解ワークショップ 自主社会活動 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成
兼担	教授	2271 4710 松本 晃子 <令和2年4月> キャリアデザインとライフプラン	兼担	教授	2271 4710 松本 晃子 <令和2年4月> キャリアデザインとライフプラン 総合科目
兼担	教授	2271 4710 山田 陽子 <令和2年4月> 人間関係とコミュニケーション 人間理解ワークショップ 子育てと環境	兼担	教授	2271 4710 山田 陽子 <令和2年4月> 人間関係とコミュニケーション 人間理解ワークショップ 子育てと環境
兼担	教授	2271 4710 山本 悟 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ	兼担	教授	2271 4710 山本 悟 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ
兼担	教授	2271 4710 吉田 亨 <令和2年4月> 地域と人間生活 共生社会入門 社会福祉概論	兼担	教授	2271 4710 吉田 亨 <令和2年4月> 地域と人間生活 共生社会入門 社会福祉概論

兼担	教授	ヨシキ 好本 恵 好本 恵 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール	兼担	教授	ヨシキ 好本 恵 好本 恵 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール
兼担	教授	ツバキ 綿井 雅康 綿井 雅康 ＜令和2年4月＞ 人間関係とコミュニケーション 総合科目 自主社会活動 インターンシップ短期 インターンシップ長期	兼担	教授	ツバキ 綿井 雅康 綿井 雅康 ＜令和2年4月＞ 人間関係とコミュニケーション 総合科目 自主社会活動 インターンシップ短期 インターンシップ長期
			兼担	特任 教授	タケノコ 竹之内 修 竹之内 修 ＜令和2年4月＞ コミュニケーション演習
兼担	准教授	アサキ 阿部 史 阿部 (神崎) 史 ＜令和2年4月＞ リーガルリテラシー			
兼担	准教授	ツバキ 綿井 桜子 綿井 桜子 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	ツバキ 綿井 桜子 綿井 桜子 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール
			兼担	准教授	イシノ 石川 敬史 石川 敬史 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール
兼担	准教授	イシノ 石川 敬史 石川 敬史 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	イシノ 石川 敬史 石川 敬史 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール
			兼担	准教授	イシノ 石田 (今村) 有暉 石田 (今村) 有暉 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール
兼担	准教授	ツバキ 落合 真裕 落合 真裕 ＜令和2年4月＞ コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール グローバル社会	兼担	准教授	ツバキ 落合 真裕 落合 真裕 ＜令和2年4月＞ コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール グローバル社会
兼担	准教授	ツバキ 梶野 涼子 梶野 涼子 ＜令和3年4月＞ 食の科学			
兼担	准教授	ツバキ 加藤 映子 加藤 映子 ＜令和3年4月＞ 課題解決ゼミナール			
兼担	准教授	ツバキ 加藤 亮介 加藤 亮介 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	ツバキ 加藤 亮介 加藤 亮介 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール
兼担	准教授	ツバキ 川口 英後 川口 英後 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール くらしのなかの日本国憲法	兼担	准教授	ツバキ 川口 英後 川口 英後 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール くらしのなかの日本国憲法
兼担	准教授	ツバキ 久保田 葉子 久保田 葉子 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	ツバキ 久保田 葉子 久保田 葉子 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール
兼担	准教授	ツバキ 古明地 夕佳 古明地 夕佳 ＜令和3年4月＞ 地域と人間生活			
			兼担	准教授	ツバキ 曾野 麻紀 曾野 麻紀 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール
兼担	准教授	ツバキ 鈴木 晴子 鈴木 晴子 ＜令和2年4月＞ 子育てと環境	兼担	准教授	ツバキ 鈴木 晴子 鈴木 晴子 ＜令和2年4月＞ 子育てと環境
兼担	准教授	ツバキ 永作 穂 永作 穂 ＜令和2年4月＞ 学校保健概論※	兼担	准教授	ツバキ 永作 穂 永作 穂 ＜令和2年4月＞ 学校保健概論※
兼担	准教授	ツバキ 二瓶 さやか 二瓶 さやか ＜令和4年4月＞ 健康介護概論			
兼担	准教授	ツバキ 人見 優子 人見 優子 ＜令和5年4月＞ 障害者福祉論			

兼担	准教授	星野 祐子 <令和2年4月> 日本語検定対策講座	兼担	准教授	星野 祐子 <令和2年4月> 日本語検定対策講座 総合科目
兼担	准教授	三藤 あさみ <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	三藤 あさみ <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
兼担	講師	福田 朋晃 <令和2年4月> 総合日本語Ⅰa 総合日本語Ⅰa 総合日本語Ⅲa 日本語表現技術Ⅱ 日本語表現技術Ⅳ 日本語研究E (医療・福祉専門) 日本語能力試験対策講座Ⅰ 日本語能力試験対策講座Ⅱ 日本語集中講座 (編入) ※	兼担	講師	福田 朋晃 <令和2年4月> 総合日本語Ⅰa 総合日本語Ⅰa 総合日本語Ⅲa 日本語表現技術Ⅱ 日本語表現技術Ⅳ 日本語研究E (医療・福祉専門) 日本語能力試験対策講座Ⅰ 日本語能力試験対策講座Ⅱ 日本語集中講座 (編入) ※ 総合日本語Ⅰb 日本語表現技術Ⅲ 日本語研究A (時事Ⅰ)
兼担	講師	帆 曉雲 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb	兼担	講師	帆 曉雲 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 総合科目
兼任	講師	芝崎 本実 <令和3年4月> 菓子・パンの文化演習			
兼担	講師	馬越 信香 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 総合ゼミナール キャリア基礎力Ⅰ	兼担	講師	馬越 信香 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 総合ゼミナール キャリア基礎力Ⅰ
兼担	講師	新嶋 良恵 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	兼担	講師	新嶋 良恵 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール グローバル社会
兼担	講師	野田 日出子 <令和4年4月> 健康保健概論	兼担	講師	野田 日出子 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
兼担	講師	見吾 英彦 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	兼担	講師	見吾 英彦 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
兼担	講師	山下 悠貴乃 <令和2年4月> 総合日本語Ⅰb 総合日本語Ⅱb 総合日本語Ⅲb 日本語表現技術Ⅰ 日本語表現技術Ⅲ 日本語集中講座 (編入) ※	兼担	講師	山下 悠貴乃 <令和2年4月> 総合日本語Ⅰb 総合日本語Ⅱb 総合日本語Ⅲb 日本語表現技術Ⅰ 日本語表現技術Ⅲ 日本語集中講座 (編入) ※ 日本語表現技術Ⅱ 日本語研究A (時事Ⅰ)
兼担	講師	渡辺 章夫 <令和3年4月> 地域と人間生活	兼担	講師	渡辺 章夫 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
兼担	講師	渡邊 孝枝 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ	兼担	講師	渡邊 孝枝 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ
兼担	助教	近藤 有紀子 <令和2年4月> 子育てと環境	兼担	助教	近藤 有紀子 <令和2年4月> 子育てと環境
兼担	助教	倉若 美映樹 <令和3年4月> 地域と人間生活			
兼任	講師	赤堀 博美 <令和5年4月> フードコーディネーター論 食の企画と演出 (演習を含む)			
			兼任	講師	秋山 まき子 <令和2年4月> TOEIC対策講座
兼任	講師	安達 宏之 <令和2年4月> 多様性と倫理 くらしのなかの日本国憲法	兼任	講師	安達 宏之 <令和2年4月> 多様性と倫理 くらしのなかの日本国憲法
兼任	講師	阿部 常樹 <令和4年4月> 郷土と行事の食			

兼任	講師	上向 のり子 ＜令和3年4月＞ 健康づくりの運動D（器械運動）			
兼任	講師	藤原 淳 ＜令和2年4月＞ 身体運動II	兼任	講師	藤原 淳 ＜令和2年4月＞ 身体運動II
兼任	講師	大仁田あずさ ＜令和5年4月＞ 東膳料理文化演習			
			兼任	講師	小笠原 典子 ＜令和2年4月＞ 日本語能力試験対策講座Ⅰ 日本語能力試験対策講座Ⅱ
兼任	講師	笠原 政志 ＜令和3年4月＞ トレーナー学演習			
兼任	講師	加藤 暹 ＜令和2年4月＞ 日本語研究A（時事Ⅰ） 日本語研究B（時事Ⅱ）	兼任	講師	加藤 暹 ＜令和2年4月＞ 日本語研究A（時事Ⅰ） 日本語研究B（時事Ⅱ）
兼任	講師	加藤 昌子 ＜令和5年4月＞ カラーコーディネート論（演習を含む）			
			兼任	講師	川口 かすみ ＜令和2年4月＞ リーガルリテラシー
兼任	講師	久保田 裕美 ＜令和5年4月＞ フードサービス論			
兼任	講師	古関 美保子 ＜令和2年4月＞ 健康づくりの運動A（体づくりの運動・体操）※	兼任	講師	古関 美保子 ＜令和2年4月＞ 健康づくりの運動A（体づくりの運動・体操）※
兼任	講師	坂上 貴之 ＜令和4年4月＞ 食行動の心理学			
兼任	講師	榎原 理枝子 ＜令和2年4月＞ 英語Ⅰa 英語Ⅰb 英語Ⅱa 英語Ⅱb	兼任	講師	榎原 理枝子 ＜令和2年4月＞ 英語Ⅰa 英語Ⅰb 英語Ⅱa 英語Ⅱb
兼任	講師	佐藤 英子 ＜令和3年4月＞ 健康づくりの運動E（武道）			
兼任	講師	佐藤 典子 ＜令和2年4月＞ 身体運動II	兼任	講師	佐藤 典子 ＜令和2年4月＞ 身体運動II
			兼任	講師	齋藤 麗子 ＜令和2年4月＞ 女性と健康
兼任	講師	澤野 次郎 ＜令和3年4月＞ 災害と社会			
兼任	講師	清水 智弘 ＜令和3年4月＞ 健康・スポーツ心理学			
兼任	講師	清水 文子 ＜令和2年4月＞ 身体運動II 健康づくりの運動F（球技Ⅰ）	兼任	講師	清水 文子 ＜令和2年4月＞ 身体運動II 健康づくりの運動F（球技Ⅰ）
兼任	講師	菅谷 恵子 ＜令和4年4月＞ 食のマーケティング			
兼任	講師	高瀬 健一 ＜令和4年4月＞ 中国料理文化演習			

兼任	講師	わかろ ひろし 高橋 宏幸 <令和3年4月> 運動の障害と予防 救急・応急処置演習			
兼任	講師	わかろ ひろし 田中 秀治 <令和3年4月> 救急・応急処置演習			
兼任	講師	かに ひろ 谷 洋子 <令和2年4月> アドバンスト・リーディング	兼任	講師	かに ひろ 谷 洋子 <令和2年4月> アドバンスト・リーディング 英語 I a TOEIC対策講座
兼任	講師	つし かつ 千足 耕一 <令和2年4月> 身体運動 II	兼任	講師	つし かつ 千足 耕一 <令和2年4月> 身体運動 II
兼任	講師	つと 善 善 <令和2年4月> 朝鮮語 I a 朝鮮語 I b	兼任	講師	つと 善 善 <令和2年4月> 朝鮮語 I a 朝鮮語 I b
兼任	講師	どい ひろ 土井 光 <令和4年4月> 西洋料理文化演習			
兼任	講師	どい 善晴 土井 善晴 <令和2年4月> 食文化概論※ 食事学概論 料理学 比較料理学 家庭料理論 食の分析評価論 (演習を含む) 和食文化演習 (身体的調理演習) I 和食文化演習 (身体的調理演習) II 食卓美学 (演習を含む)	兼任	講師	どい 善晴 土井 善晴 <令和2年4月> 食文化概論※ 食事学概論 料理学 比較料理学 家庭料理論 食の分析評価論 (演習を含む) 和食文化演習 (身体的調理演習) I 和食文化演習 (身体的調理演習) II 食卓美学 (演習を含む) 総合科目
			兼任	講師	しんげ 美子 時松 美子 <令和2年4月> 中国語 I a 中国語 I b
			兼任	講師	しんげ 美子 藤原 美代 <令和2年4月> 身体運動 II
兼任	講師	かづま 紀子 中島 紀子 <令和2年4月> 日本語研究 F (人文科学)	兼任	講師	かづま 紀子 中島 紀子 <令和2年4月> 日本語研究 F (人文科学)
兼任	講師	たけし 容一 中村 容一 <令和4年4月> 健康運動指導演習※			
			兼任	講師	たけし 容一 美藤 剛一 <令和2年4月> 朝鮮語 I a 朝鮮語 I b
兼任	講師	たけし 厚 名見那 厚 <令和2年4月> 情報処理演習 I 情報処理演習 II	兼任	講師	たけし 厚 名見那 厚 <令和2年4月> 情報処理演習 I 情報処理演習 II
兼任	講師	にしん ます 西中川 まき <令和4年4月> 臨床栄養学 食事療法演習			
			兼任	講師	にしん ます 仁科 幸 <令和2年4月> 身体運動 II
兼任	講師	にしん 雅也 二宮 雅也 <令和3年4月> スポーツ社会学 (スポーツ経営 管理学を含む)			
兼任	講師	しまづ 美都子 沼澤 美都子 <令和4年4月> 栄養教諭実証論			
兼任	講師	しの 隆司 野澤 隆司 <令和4年4月> トレーニング演習 体力測定・評価演習			
兼任	講師	ひろし 亮子 濱谷 亮子 <令和3年4月> 応用栄養学実習			

兼任	講師	ハヤシ エミ 林 進 ＜令和4年4月＞ 臨床栄養学実習			
兼任	講師	ヒラノ 早苗 平田 早苗 ＜令和5年4月＞ フードマネージメント論			
兼任	講師	フシノ エミ 深澤 進 ＜令和2年4月＞ ネットワーク社会	兼任	講師	フシノ エミ 深澤 進 ＜令和2年4月＞ ネットワーク社会
兼任	講師	フジウ イイサチ 藤生 栄一郎 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ	兼任	講師	フジウ イイサチ 藤生 栄一郎 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ
兼任	講師	フジキ 健夫 船見 健夫 ＜令和2年4月＞ 食の比較文化論 日本と世界の食文化	兼任	講師	フジキ 健夫 船見 健夫 ＜令和2年4月＞ 食の比較文化論 日本と世界の食文化
			兼任	講師	フランス語Ⅰa フランス語Ⅰb ＜令和2年4月＞
兼任	講師	マブソネ ローラン Mabesoone Laurent ＜令和2年4月＞ フランス語Ⅰa フランス語Ⅰb			
兼任	講師	ミヤギ 順子 宮崎 順子 ＜令和3年4月＞ インターネット英語	兼任	講師	ミヤギ 順子 宮崎 順子 ＜令和2年4月＞ 英語Ⅰa 英語Ⅰb
兼任	講師	ミヤ本 正治 宮本 正治 ＜令和2年4月＞ アドバンス・リーディング アドバンス・ライティング メディア英語	兼任	講師	ミヤ本 正治 宮本 正治 ＜令和2年4月＞ アドバンス・リーディング アドバンス・ライティング メディア英語
兼任	講師	ムラタ 典子 宗村 典子 ＜令和3年4月＞ 健康づくりの運動B（ダンス） ※			
兼任	講師	ムラタ 晴香 村上 晴香 ＜令和4年4月＞ 運動栄養学実習			
兼任	講師	モリ 彩乃 森 彩乃 ＜令和2年4月＞ 統計学実習	兼任	講師	モリ 彩乃 森 彩乃 ＜令和2年4月＞ 統計学実習
兼任	講師	ヤシロ 美佐紀 矢澤 美佐紀 ＜令和3年4月＞ 歴史のなかの女性			
兼任	講師	ヤシロ 佳代子 安恒 佳代子 ＜令和2年4月＞ 日本語研究C（ビジネスⅠ） 日本語研究D（ビジネスⅡ）	兼任	講師	ヤシロ 佳代子 安恒 佳代子 ＜令和2年4月＞ 日本語研究C（ビジネスⅠ） 日本語研究D（ビジネスⅡ）
兼任	講師	ヤマノ 賢二 山本 賢二 ＜令和2年4月＞ 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb			
兼任	講師	ヨコ ユツラント Yoko Zetterlund ＜令和5年4月＞ コーチング論（演習を含む）			
兼任	講師	カサハタ 博延 若月 博延 ＜令和4年4月＞ おもてなし・ホスピタリティ論 （演習を含む）			

（注）

- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実（実））、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

【採用・退職・新規担当】

- ・有田 安那助教の退職に伴い、入門ゼミナールの担当として、 栄養士入門は、別教員が担当。
- ・齋藤 忍教授の退職に伴い、人間理解ワークショップ (R3年度開講) の担当として後任選定中。
- ・阿部 史准教授の退職に伴い、リーガルリテラシーの担当として、川口 かしみ講師を採用。
- ・加藤 暁子准教授の退職に伴い、課題解決ゼミナール (R3年度開講) の担当として後任選定中。
- ・Mabesone Laurent講師の退職に伴いフランス語1a、フランス語1bの担当として、増茂 和男講師を採用。
- ・山本 賢二講師の辞任に伴い、中国語1a、中国語1bの担当として、時松 史子講師を採用。
- ・教育効果充実を図る為、英語1a、英語1bの新規担当追加として、福田 仁教授採用。
- ・風間 文明教授は、綿井 雅康教授のコマ数調整のため新規担当として採用。自主社会活動
- ・コミュニケーション演習の担当として、竹之内 修特任教授を採用。
- ・教育効果充実を図る為、読書入門ゼミナールの担当として、飯村 九林准教授、石田 (今村) 有理准教授、曾野 麻紀准教授、野田 日出子講師、渡辺 章夫講師を採用。
- ・日本語能力試験対策講座Ⅰ、日本語能力試験対策講座Ⅱの担当として、小笠原 典子講師を採用。福田 朋晃講師を削除。
- ・教育効果充実を図る為、TOEIC対策講座の担当として、秋山 まき子講師が採用。
- ・教育効果充実を図る為、女性と健康の新規担当追加として、齋藤 麗子講師を採用。
- ・コマ数追加による身体運動Ⅱの新規担当追加として、蓬郷 尚代講師、仁科 幸講師を採用。
- ・朝鮮語1a、朝鮮語1bの担当として、長渡 陽一講師を採用。チョ ヒ講師は削除。
- ・情報処理演習Ⅰ、情報処理演習Ⅱの担当として、北原 俊一教授を採用。名児耶 厚講師は削除。

【複数担当による持ち回り授業による担当変更】

- ・石山 隆之教授は、入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・安達 一寿教授 コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- ・池間 里代子教授 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・風間 文明教授は、綿井 雅康教授のコマ数調整のため新規担当として採用。自主社会活動
- ・片居木 英人教授 ぐらしのなかの日本国憲法 今年度本学科では、担当なし。
- ・設楽 (松尾) 優子教授 コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- ・sheila Cliffe教授 コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- ・棚谷 祐一教授 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・角田 真二教授 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・樋口 一貴教授 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・松岡 敬明教授 コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- ・好本 恵教授 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・綾井 椋子准教授 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・石川 敬史准教授 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・落合 真裕准教授 コミュニケーション演習、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・加藤 亮介准教授 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・川口 英俊准教授 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・久保田 葉子准教授 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・三藤 あさみ准教授 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・見吉 英彦講師 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・安達 宏之講師 ぐらしのなかの日本国憲法 今年度本学科では担当なし。

【科目配当上の都合による変更】

- ・石山 隆之教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目、新規担当 身体運動Ⅱ
- ・徳野 裕子准教授 新規担当 ウェルネス概論 (演習を含む)
- ・村田 浩子准教授 新規担当 ウェルネス概論 (演習を含む)
- ・伊藤 美穂講師 新規担当 基礎調理学実習Ⅰ
- ・神田 俊平講師 新規担当 読書入門ゼミナール、ウェルネス概論 (演習を含む)
- ・若葉 京良講師 新規担当 ウェルネス概論 (演習を含む)
- ・相馬 満助助教 新規担当 身体運動Ⅰ、ウェルネス概論 (演習を含む)
- ・池間 里代子教授 海外語学研修は、新型コロナウイルス感染症の影響のため未開講。
- ・石野 栄一教授 地域で学ぶは、別教員が担当。
- ・狩野 浩二教授 コマ数追加による担当追加 総合科目
- ・情報処理演習Ⅱの担当として、北原 俊一教授を採用。名児耶 厚講師を削除。
- ・向後 (田中) 朋美教授 「英語コミュニケーション応用」配当調整により、今年度未開講。
- ・設楽 (松尾) 優子教授 新規担当 英語1a、英語1b
- ・宮本 正治講師から設楽 (松尾) 優子教授へ担当変更 アドバンストリーディング
- ・sheila Cliffe教授 新規担当 英語1a、アドバンストライティング
- ・杉元 葉子教授 コマ数追加による担当追加 総合科目
- ・星野 敦子教授 コマ数追加による担当追加 総合科目
- ・松本 晃子教授 コマ数追加による担当追加 総合科目
- ・綿井 雅康教授 総合科目は、コマ数調整のため、今年度担当なし。
- ・星野 祐子准教授 コマ数追加による担当追加 総合科目
- ・福田 朋晃講師から山下 悠貴乃講師へ担当変更。日本語表現技術Ⅱ
- ・福田 朋晃講師 新規担当 総合日本語1b
- ・山下 悠貴乃講師から福田 朋晃講師へ担当変更。日本語表現技術Ⅲ
- ・加藤 薫講師から、福田 朋晃講師、山下 悠貴乃講師へ担当者変更。日本語研究A (時事Ⅰ)
- ・仇 咲芸講師 コマ数追加による担当追加 総合科目
- ・新嶋 良恵講師 新規担当 グローバル社会
- ・柳原 理枝子講師 英語1a、英語1bは、別教員が担当。
- ・谷 洋子講師 新規担当 英語1a、TOEIC対策講座
- ・土井 善晴講師 コマ数追加による担当追加 総合科目
- ・宮崎 順子講師 新規担当 英語1a、英語1b

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査 (AC教員審査) を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書 (AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度 (平成30年度開設であれば平成29年度) の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
7	5	3	2	17	3	7	5	3	1	16	3
(7)	(5)	(3)	(1)	(16)	(3)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
7	5	3	1	16	3	7	5	3	2	17	3
[0]	[0]	[0]	[△1]	[△1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	1	3
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{16}{17} = \boxed{94.11} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{16} = \boxed{6.25} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{3}{3} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	助教	有田 安那	2020/3/31	必修	入門ゼミナール	①	R2.3.31退職のため就任辞退			
				選択	栄養士入門	①				
				選択	食事計画論演習	①				
				選択	健康栄養学演習	①				
				選択	卒業研究	①				
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況（該当なし）

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{17} = \boxed{5.88} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況（該当なし）

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職の申出に対しては他の専任教員の配当若しくは兼任講師の採用により、教育課程の進行に支障が無いよう配慮している。学生に対しては大学HP上に時間割・担当変更一覧を掲載し、周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
届 出 時 (平成31年)	<p>完成年度前に、定年規定に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 (人間生活学部食品開発学科)</p>	<p>遵守事項</p> <p>本学の就業規則では、「学園業務の遂行上特に必要と認められた職員については、定年を延長することができ」とされている。学年進行中に定年を迎える専任教員については、教育の継続性及び質の担保の観点からも本規則により定年を延長し、定年延長にあたっては必要な手続きを経ている。完成年度以降については、教員配置計画表に基づいて採用等を行い、定年延長者を含む退職者の後任については、学科の教育研究の継続性を図る観点からも、職位や年齢に配慮する。</p>	<p>履行中</p> <p>今後も教員配置計画表に基づいて採用等を行い、定年延長者を含む退職者の後任については、学科の教育研究の継続性を図る観点からも、職位や年齢に配慮する。</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人間生活学部 健康栄養学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
各科目の運営	令和2年度当初の授業期間については、新型コロナウイルス感染症に対する対応として、学修時間を確保するとともに授業期間について弾力的に取り扱っている。また、遠隔授業、授業内に課すものに相当する課題研究等を活用して実施している。(2)

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

十文字学園女子大学全学委員会通則規程(添付資料1)に定められた全学委員会として、全学FD委員会を設置している。

全学FD委員会の構成は、委員長は学長または学長が指名する教職員とし、(1)学長、(2)専任教員2名、(3)大学院のFD委員会において選出された者1名、(4)その他委員長が必要と認めた者で構成しているが、活動の活性化及び各教員の理解を深めるため、②及び③の選出については各学科から1名を選出している。

令和元年度は研究担当副学長が委員長を務め、事務局の担当者を含め計16名(教員11名、職員5名)で運営された。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

令和元年度は全4回開催した。

第1回	令和元年5月30日(木)	教員出席者	10人
第2回	令和元年6月26日(木)	教員出席者	8人
第3回	令和元年9月26日(木)	教員出席者	9人
第4回	令和元年11月14日(木)	教員出席者	8人

c 委員会の審議事項等

十文字学園女子大学全学委員会通則規程により、全学FD委員会は次の事項を審議し、必要な事項を処理している。

- (1) FDに係る研修会等の実施に関する事項
- (2) 大学、大学院が行うFDに係る活動の連絡・調整に関する事項
- (3) 授業評価等FDに係る調査、研究に関する事項
- (4) その他本学のFDに関する事項

② 実施状況

a 実施内容

全学FD委員会が令和元年度に実施したFD活動は以下の通り。

- (1) 授業アンケート
- (2) 授業に関する学生・教員交流会
- (3) 授業公開
- (4) 研修会
- (5) FD報告書の作成

を実施した。

b 実施方法

(1) 授業アンケート

原則、前期後期ともに第13回目の授業を目途に、学生による授業アンケートを実施した。また、アンケートの自由記述に対して教員がコメントを付し、学内ネットワークに公開している。

(2) 授業に関する学生・教員交流会

令和2年1月9日（木）に、9学科（全学科）より学生を選出し、FD委員を中心とする教員との交流会を開催した。

(3) 授業公開

令和2年11月11日（月）～22日（金）にかけて、原則、後期に開講した全ての授業について、授業公開を行った。

(4) 研修会

令和元年11月21日（木）に、「教学マネジメントの推進に向けて～カリキュラムと個々の授業の関連を考える～」についての教職員対象のFD（SD）研修会を実施した。

(5) FD報告書の作成

令和2年に「令和元年度FD報告書」の刊行する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

(1) 授業アンケート

- ・令和元年度は、前期は7月10日（月）～8月12日（月）、後期は12月11日（水）～2月4日（火）にアンケート実施期間を設定した（両学期とも集中講義科目及び非常勤講師を含む。）。
- ・実施対象者は前期231名、後期220名、実施率は前期95.7%、後期92.3%であった。
- ・アンケートの自由記述に対して教員がコメントを付し、学内ネットワークで公開することで学生へのフィードバックを行っているが、コメント提出率は、前期81.4%、後期79.3%であった。前期分のコメントは、令和元年9月30日に公開済みである。（後期分は現在、保留中）

(2) 授業に関する学生・教員交流会

- ・9学科（全学科）から選出した代表学生及び留学生25名と、FD委員を含む教員10名が参加した。
- ・参加者を5グループに分け、授業アンケート及び事前に意見を求めたトークテーマについてミーティングとグループ発表を行った。

(3) 授業公開

- ・授業公開の期間を各学科1週間、見学期間を2週間とした。公開時期を1週間とすることで公開側の負担を軽減し、見学期間の選択肢はこれまで通り確保（同学科でも他学科でも見学可能と）した。
- ・見学者は、57名（教員48名、職員9名）であった。また、見学者には見学記録の提出を義務付けた。

(4) 研修会

- ・外部講師1名を招き、2名の学内教員のコーディネイトにより、「教学マネジメントの推進に向けて～カリキュラムと個々の授業の関連を考える～」をテーマに、教学マネジメントの基本、本質的な問いの追究、カリキュラムの意図を反映させる工夫、カリキュラムの編成・実施・評価・改善のポイントについての研修会を行った。参加者は118名（教員86名、職員32名）であった。

(5) FD報告書の作成

令和2年9月以降に「令和元年度FD報告書」の刊行を予定している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

本学では、授業の質的改善・向上を目的として、継続的に「学生による授業アンケート」を実施しており、その結果は、学内ネットワーク上で公開し学生にフィードバックしている。アンケート結果に対するコメントや自由記述に対して回答することにより、各教員が今後の改善点を明らかにしている。

また、研修会「教学マネジメントの推進に向けて～カリキュラムと個々の授業の関連を考える～」のように、FD委員会が研修会を企画し、授業改善への働きかけを行っている。

平成23年度より、全学委員会通則規程に基づき設置された教員評価委員会のもと、教員評価規程（別添資料2）に則って、教育、研究、社会活動、学務の4領域を対象として教員評価を実施している。各教員の個人努力を喚起し、授業改善はもとより、教員の資質の維持向上を図るよう取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前述の通り

前述の通り

b 教員や学生への公開状況、方法等

前述の通り

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学は、継続的に教育体制改革を行っており、今回の改組は第三次教育体制改革として、第一次及び第二次の成果を踏まえつつ、①学部体制の改編、②新たな教育課程を修了し卒業した学生が、社会のなかで生涯にわたり活躍していくことを想定した教育内容の構築、③既存学科の強化及び本学の伝統を活かしつつ学生募集において可能性のある新たな領域（学科）の立ち上げ、④適切な定員設定、について検討を重ねてきた。学部体制については、本学が培ってきた教育研究上の領域をより明確にし、かつ、地域社会における諸課題の探求と解決に向けて、人々との連携や多職種での協働を基盤としつつ、それぞれが培ってきた専門性を発揮しうる人材を養成するために、より有効な体制と判断し、3学部へ再編成することを決定した。そして、令和2年度に①1学部体制を3学部体制（人間生活学部、教育人文学部、社会情報デザイン学部）へ再編成する、②入学定員を適正に設定変更する、③食の領域での発展拡大のために食品開発学科を新設する、④生活情報学科とメディアコミュニケーション学科を発展的に解消して、社会学を基盤とした社会情報デザイン学科を設置することとして、平成31年4月に届出を行い、令和2年4月にスタートを切った。

改組初年度である令和2年度入試において、新たな学部学科体制のPRと定員設定の見直しに成果が出て、旧体制下において定員割れが続いていた学科についても充足する運びとなった。ただ、文芸文化学科及び社会情報デザイン学科については歩留まりの読み違いから入学定員超過率が1.3を超えてしまった。両学科については、令和3年度入試に向け、超過は正を念頭におきつつ、本年度の傾向なども鑑み入試選抜に取り組む予定である。一方で、新設学科である食品開発学科について、定員40名に対し入学者31名と唯一、定員割れとなってしまったが、募集・広報戦略の見直しとともに、定員確保に努めていきたい。

② 自己点検・評価報告書

・自己点検・評価委員会の編纂による報告書を毎年作成。

- a 公表（予定）時期
 - ・令和2年11月までに公表予定。
- b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公開予定

- ③ 認証評価を受ける計画
- ・令和3年に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審予定。

（注） ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
 なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

- a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合 》

- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]
- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 a で公表「無」の場合 》

- d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
 設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 十文字学園

(2) 大学名

十文字学園女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒352-8510
埼玉県新座市菅沢2-1-28

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ジュウモンジ カズオ) 十文字 一夫 (昭和62年5月)		
学長	(シムラ フミオ) 志村 二三夫 (平成29年4月)		
副学長 兼 学長補佐	(ワタイ マサヤス) 綿井 雅康 (平成29年4月)		
副学長	(アダチ カズヒサ) 安達 一寿 (平成31年4月)		
	(オノ ユウジロウ) 小野 裕次郎 (平成31年4月)		
	(ヨシダ トオル) 吉田 亨 (令和2年4月)		
学部長 兼 学科長	【人間生活学部】 <人間福祉学科> (ヨシダ トオル) 吉田 亨 (令和2年4月)		

学部長 兼 学科長	【教育人文学部】 <幼児教育学科> (ヤマダ ヨウコ) 山田 陽子 (令和2年4月)		
	【社会情報デザイン学部】 <社会情報デザイン学部> (ナカヤマ シゲオ) 中山 成夫 (令和2年4月)		
学科長	<健康栄養学科> (キムラ ヤスコ) 木村 靖子 (令和2年4月)		
学科長	<食物栄養学科> (イワモト タマミ) 岩本 珠美 (令和2年4月)		
学科長	<食品開発学科> (コバヤシ ミチコ) 小林 三智子 (令和2年4月)		
学科長	<児童教育学科> (トミヤマ テツヤ) 富山 哲也 (令和2年4月)		
学科長	<心理学科> (フセ ハルミ) 布施 晴美 (令和2年4月)		
学科長	<文芸文化学科> (コバヤシ ミノル) 小林 実 (令和2年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間生活学部 食物栄養学科 学士（栄養学）	家政関係	4年	120人	3年次 10人	500人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	120人 () [若干名]	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	1.05 倍	— 倍	
志願者数	424 () [0]	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []			
受験者数	376 () [0]	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []			
合格者数	228 () [0]	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []			
B 入学者数	126 () [0]	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []			
入学定員超過率 B/A	1.05												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率と同様」にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	126 [0] (-)	— [—] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	126 [0] (-)		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	

・ 令和2年5月1日 公表

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	126人	0人	令和2年度	0人	0人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	0人	0人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
合計		0人		人	人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{126} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人間生活学部 食物栄養学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担							
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手								
共通科目	ゼミナール	入門ゼミナール	1前	2		3	3	2	1				6	ゼミナール	入門ゼミナール	1前	2		7	6	1	0					2			
		コミュニケーション演習	1前・後	1												1前・後	1											9		
		読書入門ゼミナール	1・2・3・4後	2												1・2・3・4後	2			1								2		
		課題解決ゼミナール	2・3前・後	2												2・3前・後	2												2	
		総合ゼミナール	3・4前・後	2												3・4前・後	2													2
	総合	地域で学ぶ	1・2・3・4前・後	2										3	総合	地域で学ぶ	1・2・3・4前・後	2											2	
		地域と人間生活	2・3・4前・後	2			1							5		2・3・4前・後	2			1									5	
		人間関係とコミュニケーション	1・2・3・4後	2										2		人間関係とコミュニケーション	1・2・3・4後	2											2	
		人間理解ワークショップ	2・3・4前・後	2			1							5		人間理解ワークショップ	2・3・4前・後	2			1									5
		総合科目	1・2・3・4前・後	2										1		総合科目	1・2・3・4前・後	2											9	
	女性を生きる	キャリアデザインとライフプラン	1前・後	2										2	女性を生きる	キャリアデザインとライフプラン	1前・後	2											2	
		リーガルリテラシー	1前・後	2										1		リーガルリテラシー	1前・後	2											1	
		ジェンダーリテラシー	1前・後	2										1		ジェンダーリテラシー	1前・後	2											1	
		子育てと環境	1前・後	2										4		子育てと環境	1前・後	2											4	
		女性と健康	1前・後	2										2		女性と健康	1前・後	2											2	
		女性の心と身体	1・2・3前・後	2										2		女性の心と身体	1・2・3前	2											1	
		食の科学	2・3前・後	2										1		食の科学	2・3前・後	2											1	
		歴史のなかの女性	2・3前・後	2										1		歴史のなかの女性	2・3前・後	2											1	
		芸術を読みとる	2・3前・後	2										1		芸術を読みとる	2・3前・後	2												1
		社会に生きる	グローバル社会	1前・後	2											1	社会に生きる	グローバル社会	1前・後	2										
	ネットワーク社会		1前・後	2										1	ネットワーク社会	1前・後		2											1	
	共生社会入門		1前・後	2										1	共生社会入門	1前・後		2											1	
	多様性と倫理		1前・後	2										1	多様性と倫理	1前・後		2												1
	持続可能な社会		1前・後	2										1	持続可能な社会	1前・後		2												1
	くらしのなかの日本国憲法		1・2・3前・後	2										3	くらしのなかの日本国憲法	1・2・3後		2											1	
	ボランティア論		1・2・3前・後	2										1	ボランティア論	1・2・3前・後		2											1	
	災害と社会		2・3前・後	2										1	災害と社会	2・3前・後		2												1
21世紀型の教育	2・3前・後		2										1	21世紀型の教育	2・3前・後	2													1	
体育健	身体運動Ⅰ	1・2・3・4前	1										3	体育健	身体運動Ⅰ	1・2・3・4前	1										1			
	身体運動Ⅱ	1・2・3・4後	1										12		身体運動Ⅱ	1・2・3・4後	1										14			
処情報	情報処理演習Ⅰ	1前	1										2	処情報	情報処理演習Ⅰ	1前	1										2			
	情報処理演習Ⅱ	1・2・3・4後	1										2		情報処理演習Ⅱ	1・2・3・4後	1											2		
外国語(基礎科目)	英語Ⅰa	1前	1										2	外国語(基礎科目)	英語Ⅰa	1前	1											4		
	英語Ⅰb	1後	1										1		英語Ⅰb	1後	1											1		
	英語Ⅱa	2・3・4前	1										1		英語Ⅱa	2・3・4前	1											1		
	英語Ⅱb	2・3・4後	1										1		英語Ⅱb	2・3・4後	1												1	
	中国語Ⅰa	1前	1										2		中国語Ⅰa	1前	1												2	
	中国語Ⅰb	1後	1										2		中国語Ⅰb	1後	1												2	
	中国語Ⅱa	2・3・4前	1										2		中国語Ⅱa	2・3・4前	1												2	
	中国語Ⅱb	2・3・4後	1										2		中国語Ⅱb	2・3・4後	1												2	
	朝鮮語Ⅰa	1前	1										1		朝鮮語Ⅰa	1前	1												2	
	朝鮮語Ⅰb	1後	1										1		朝鮮語Ⅰb	1後	1												2	
	フランス語Ⅰa	1前	1										1		フランス語Ⅰa	1前	1												1	
	フランス語Ⅰb	1後	1										1		フランス語Ⅰb	1後	1												1	
海外語学研修	1・2・3・4前	1										1	海外語学研修 (未開講)	1・2・3・4前	1												1			

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語目的別科目	英語コミュニケーション基礎a	2・3・4前	1								1
	英語コミュニケーション基礎b	2・3・4後	1								1
	英語コミュニケーション発展a	3・4前	1								1
	英語コミュニケーション発展b	3・4後	1								1
	英語コミュニケーション応用	1・2・3・4前・後	2								1
	アドバンスト・リスニング	1・2・3・4後	2								2
	アドバンスト・リーディング	1・2・3・4後	2								2
	アドバンスト・ライティング	1・2・3・4後	2								1
	ビジネス英語	2・3・4後	2								1
	映画・ドラマ英語	2・3・4後	2								1
	インターネット英語	2・3・4後	2								1
	メディア英語	2・3・4前	2								1
	TOEIC対策講座	1・2・3・4後	2								1
	中国語試験対策講座	1・2・3・4前	2								1
日本語検定対策講座	1・2・3・4前・後	2								1	
共通科目	総合日本語 I a	1前	1								1
	総合日本語 I b	1後	1								2
	総合日本語 II a	2前	1								1
	総合日本語 II b	2後	1								1
	総合日本語 III a	3・4前	1								1
	総合日本語 III b	3・4後	1								1
	日本語表現技術 I	1・2・3・4前	1								1
	日本語表現技術 II	1・2・3・4後	1								1
	日本語表現技術 III	1・2・3・4前	1								1
	日本語表現技術 IV	1・2・3・4後	1								1
	日本語研究 A (時事 I)	1・2・3・4前	1								2
	日本語研究 B (時事 II)	1・2・3・4後	1								1
	日本語研究 C (ビジネス I)	1・2・3・4前	1								1
	日本語研究 D (ビジネス II)	1・2・3・4後	1								1
日本語研究 E (医療・福祉専門)	1・2・3・4前	1								1	
日本語研究 F (人文科学)	1・2・3・4後	1								1	
日本語能力試験対策講座 I	1・2・3・4前	1								1	
日本語能力試験対策講座 II	1・2・3・4後	1								1	
日本語集中講座 (編入)	1・2・3・4前	1								2	
キャリア教育	キャリアデザイン入門	2前	2			1					
	キャリアロールモデル研究	2後	2								1
	企業に学ぶキャリアデザイン	2前	2								2
	プロアクティブ人材育成	2後	2								2
	キャリアサポート演習	3通	2								1
	キャリア基礎力 I	2・3前	2								2
	キャリア基礎力 II	2・3後	2								1
	インターンシップ短期	1・2・3前・後	1								1
	インターンシップ長期	1・2・3前・後	2								1
	小計 (89科目)	-	8	127	0	3	3	2	1		78
共通科目	英語コミュニケーション基礎a	2・3・4前	1								1
	英語コミュニケーション基礎b	2・3・4後	1								1
	英語コミュニケーション発展a	3・4前	1								1
	英語コミュニケーション発展b	3・4後	1								1
	英語コミュニケーション応用 (木曜限)	1・2・3・4前・後	2								1
	アドバンスト・リスニング	1・2・3・4後	2								2
	アドバンスト・リーディング	1・2・3・4後	2								2
	アドバンスト・ライティング	1・2・3・4後	2								2
	ビジネス英語	2・3・4後	2								1
	映画・ドラマ英語	2・3・4後	2								1
	インターネット英語	2・3・4後	2								1
	メディア英語	2・3・4前	2								1
	TOEIC対策講座	1・2・3・4後	2								3
	中国語試験対策講座	1・2・3・4前	2								1
日本語検定対策講座	1・2・3・4前	2								1	
共通科目	総合日本語 I a	1前	1								1
	総合日本語 I b	1後	1								2
	総合日本語 II a	2前	1								1
	総合日本語 II b	2後	1								1
	総合日本語 III a	3・4前	1								1
	総合日本語 III b	3・4後	1								1
	日本語表現技術 I	1・2・3・4前	1								1
	日本語表現技術 II	1・2・3・4後	1								1
	日本語表現技術 III	1・2・3・4前	1								1
	日本語表現技術 IV	1・2・3・4後	1								1
	日本語研究 A (時事 I)	1・2・3・4前	1								2
	日本語研究 B (時事 II)	1・2・3・4後	1								1
	日本語研究 C (ビジネス I)	1・2・3・4前	1								1
	日本語研究 D (ビジネス II)	1・2・3・4後	1								1
日本語研究 E (医療・福祉専門)	1・2・3・4前	1								1	
日本語研究 F (人文科学)	1・2・3・4後	1								1	
日本語能力試験対策講座 I	1・2・3・4前	1								1	
日本語能力試験対策講座 II	1・2・3・4後	1								1	
日本語集中講座 (編入)	1・2・3・4前	1								2	
キャリア教育	キャリアデザイン入門	2前	2			1					
	キャリアロールモデル研究	2後	2								1
	企業に学ぶキャリアデザイン	2前	2								2
	プロアクティブ人材育成	2後	2								2
	キャリアサポート演習	3通	2								1
	キャリア基礎力 I	2・3前	2								2
	キャリア基礎力 II	2・3後	2								1
	インターンシップ短期	1・2・3前・後	1								1
	インターンシップ長期	1・2・3前・後	2								1
	小計 (89科目)	-	8	127	0	7	6	1	0		94

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎領域	社会・環境と健康	健康管理概論	2前	2		1						
	公衆衛生学	1前	2			1						
	公衆衛生学実験	1後	1			1			1			
	健康情報処理実習	2前	1			1			1			
	社会福祉概論	1後	2								1	
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	解剖生理学	1後	2			1					
	解剖生理学実験	2前	1			1			1			
	運動生理学	3前	2								1	
	人間生物化学	1後	2				1					
	人間生物化学実験	2後	1			1			1			
	人間生活生理学	2後	2								1	
	医学概論	2前	2			1						
	病態生理学	2後	2			1						
	系統別疾病学	3前	2			1						
	病原物質・微生物学	3前	2			1						
	微生物学実験	3後	1			1			1		1	
	専門基礎領域	食べ物と健康	食物栄養学概論	1後	2			1	1			
		食品学 I	1前	2			1					
		食品学 II	1後	2			1					
		食品化学	3後	2			1					
食品化学実験		1後	1			1			1			
食品加工学		2前	1			1						
食品加工学実習		2前	1			1			1			
栄養化学		3前	2			1						
調理学		1前	2				1					
調理学実習 I		1前	1				1		1			
調理学実習 II		1後	1				1		1			
調理学実習 III (実験を含む)		2後	1				1		1			
調理学実習 IV		3後	1				1		1			
食品衛生学		1後	2			1						
食品衛生学実験	2前	1			1			1				
応用領域	基礎栄養学	基礎栄養学	1前	2			1					
	栄養学	1後	2			1						
	基礎栄養学実験	1前	1			1			1			
	応用栄養学 I	2前	2				1					
	応用栄養学 II	2後	2				1					
応用領域	応用栄養学 III	4前	2							1		
	応用栄養学実習	3前	1				1		1			
	栄養教育論	栄養教育論 I	2前	2		1						
展開領域	臨床栄養学	臨床栄養学 II	2後	2		1						
	臨床栄養学 III	2後	1		1			1				
	臨床栄養学 IV	3前	1		1			1				
	臨床栄養学実習 I	3前	1		1			1	1			
	臨床栄養学実習 II	3後	1		1			1	1			
専門基礎領域	社会・環境と健康	健康管理概論	2前	2		1						
	公衆衛生学	1前	2			1						
	公衆衛生学実験	1後	1			1			0			
	健康情報処理実習	2前	1			1			1			
	社会福祉概論	1後	2							1		
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	解剖生理学	1後	2			1					
	解剖生理学実験	2前	1			1			1			
	運動生理学	3前	2							1		
	人間生物化学	1後	2				0			1		
	人間生物化学実験	2後	1			1			1			
	人間生活生理学	2後	2							1		
	医学概論	2前	2			1						
	病態生理学	2後	2			1						
	系統別疾病学	3前	2			1						
	病原物質・微生物学	3前	2			1						
	微生物学実験	3後	1			1			1	1		
	専門基礎領域	食べ物と健康	食物栄養学概論	1後	2			0	1			
		食品学 I	1前	2			1					
		食品学 II	1後	2			1					
		食品化学	3後	2			1					
食品化学実験		1後	1			1			1			
食品加工学		2前	1			1						
食品加工学実習		2前	1			1			1			
栄養化学		3前	2			1						
調理学		1前	2				0			1		
調理学実習 I		1前	1				0		0	1		
調理学実習 II		1後	1				1	0	0	1		
調理学実習 III (実験を含む)		2後	1				1		1			
調理学実習 IV		3後	1				1		1			
食品衛生学		1後	2			1	0					
食品衛生学実験	2前	1			1			1				
応用領域	基礎栄養学	基礎栄養学	1前	2			1					
	栄養学	1後	2			1						
	基礎栄養学実験	1前	1			1			0			
	応用栄養学 I	2前	2						1			
	応用栄養学 II	2後	2						1			
応用領域	応用栄養学 III	4前	2							1		
	応用栄養学実習	3前	1				1		1			
	栄養教育論	栄養教育論 I	2前	2		1						
展開領域	臨床栄養学	臨床栄養学 II	2後	2		1						
	臨床栄養学 III	2後	1		1			1				
	臨床栄養学 IV	3前	1		1			1				
	臨床栄養学実習 I	3前	1		1			1	1			
	臨床栄養学実習 II	3後	1		1			1	1			

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
展開領域	公衆栄養学Ⅰ	3前	2			1				
	公衆栄養学Ⅱ	3後		2		1				
	公衆栄養学実習	3後		1		1			1	
展開領域	給食経営管理論Ⅰ	2前	2			1				
	給食経営管理論Ⅱ	2後		2		1				
	給食経営管理論実習	3前		1		1		1	2	
実践領域	総合演習Ⅰ	3～4通	1			1	2	3	1	1
	総合演習Ⅱ	4通		2		6	6	4	1	1
実践領域	臨床栄養学Ⅰ	4通		1		1			1	
	臨床栄養学Ⅱ	4通		1		1	1	1		
	公衆栄養学実習	4通		1		1		1		
	給食経営管理実習	4通		1		2		1		
	給食運営実習	3通		1				2	1	
食料栄養関連科目	人間栄養学概論	1前		2						1
	食事計画Ⅰ(演習を含む)	1後		2			1			
	食事計画Ⅱ(演習を含む)	2前		2			1			
	食薬理学	4前		2						1
	食品機能論	3後		2						1
	生物有機化学	1前		2		1				
	分子栄養学	3後		2		1				
	食生活論	4前		2						1
	食文化論	2後		2						1
	食育論	4前		2						1
	栄養疫学(演習を含む)	3前		2		1				
	スポーツ栄養学	3後		2						1
	管理栄養士のための経営学	4前		2		1				
栄養学専門外国語	4前		2		1				1	
食物栄養学演習	3通		2		6	6	4	1		
卒業研究	4通		4			6	6	4	1	
小計(78科目)	-		38	93	0	6	6	4	1	10
合計(167科目)	-		46	220	0	6	6	4	1	87

卒業要件及び履修方法

共通科目から必修科目5科目8単位を含めた22単位以上を修得すること。ただし、「女性を生きる」区分より「キャリアデザインとライフプラン」「リーガルリテラシー」「ジェンダーリテラシー」「子育てと環境」「女性と健康」から1科目2単位以上、「社会に生きる」区分より「グローバル社会」「ネットワーク社会」「共生社会入門」「多様性と倫理」「持続可能な社会」から1科目2単位以上、「保健体育」区分から1科目1単位以上、「外国語(基礎科目)」区分より「海外語学研修」を除いた12科目から1科目1単位以上を修得すること。
 専門科目から、必修科目20科目38単位を含めた90単位以上を修得すること。
 その他、自由選択科目として、共通科目・自学科専門科目・他学科専門科目から12単位以上を修得すること。
 合計で124単位以上を修得すること。なお、年間の履修上限は原則48単位である。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
展開領域	公衆栄養学Ⅰ	3前	2			1				
	公衆栄養学Ⅱ	3後		2		1				
	公衆栄養学実習	3後		1		1			1	
展開領域	給食経営管理論Ⅰ	2前	2			1				
	給食経営管理論Ⅱ	2後		2		1				
	給食経営管理論実習	3前		1		1		1	2	
実践領域	総合演習Ⅰ	3～4通	1			1	2	3	1	1
	総合演習Ⅱ	4通		2		6	6	4	1	1
実践領域	臨床栄養学Ⅰ	4通		1		1			1	
	臨床栄養学Ⅱ	4通		1		1	1	1		
	公衆栄養学実習	4通		1		1		1		
	給食経営管理実習	4通		1		2		1		
	給食運営実習	3通		1				2	1	
食料栄養関連科目	人間栄養学概論	1前		2						1
	食事計画Ⅰ(演習を含む)	1後		2				1	0	1
	食事計画Ⅱ(演習を含む)	2前		2				1		
	食薬理学	4前		2						1
	食品機能論	3後		2						1
	生物有機化学	1前		2		1				
	分子栄養学	3後		2		1				
	食生活論	4前		2						1
	食文化論	2後		2						1
	食育論	4前		2						1
	栄養疫学(演習を含む)	3前		2		1				
	スポーツ栄養学	3後		2						1
	管理栄養士のための経営学	4前		2		1				
栄養学専門外国語	4前		2		1				1	
食物栄養学演習	3通		2		6	6	4	1		
卒業研究	4通		4			6	6	4	1	
小計(78科目)	-		38	93	0	7	6	4	1	10
合計(167科目)	-		46	220	0	7	6	4	1	104

卒業要件及び履修方法

共通科目から必修科目5科目8単位を含めた22単位以上を修得すること。ただし、「女性を生きる」区分より「キャリアデザインとライフプラン」「リーガルリテラシー」「ジェンダーリテラシー」「子育てと環境」「女性と健康」から1科目2単位以上、「社会に生きる」区分より「グローバル社会」「ネットワーク社会」「共生社会入門」「多様性と倫理」「持続可能な社会」から1科目2単位以上、「保健体育」区分から1科目1単位以上、「外国語(基礎科目)」区分より「海外語学研修」を除いた12科目から1科目1単位以上を修得すること。
 専門科目から、必修科目20科目38単位を含めた90単位以上を修得すること。
 その他、自由選択科目として、共通科目・自学科専門科目・他学科専門科目から12単位以上を修得すること。
 合計で124単位以上を修得すること。なお、年間の履修上限は原則48単位である。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・ 担当教員変更により、「入門ゼミナール」の教員配置を、「教授3」「准教授3」「講師2」「助教1」から「教授7」「准教授6」「講師1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「コミュニケーション演習」の教員配置を、「兼任・兼担6」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「読書入門ゼミナール」の教員配置を、「兼任・兼担17」から「講師1」「兼任・兼担9」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「地域で学ぶ」の教員配置を、「兼任・兼担3」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 開講コマ数に伴う調整により、「総合科目」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担9」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「女性と健康」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「女性の心と身体」の教員配置を、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「女性の心と身体」の配当年次を、「1・2・3 前・後」から「1・2・3 前」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「グローバル社会」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「くらしのなかの日本国憲法」の教員配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「くらしのなかの日本国憲法」の配当年次を、「1・2・3 前・後」から「1・2・3 前」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「身体運動Ⅰ」の教員配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「身体運動Ⅱ」の教員配置を、「兼任・兼担12」から「兼任・兼担14」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「英語Ⅰa」の教員配置を、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担4」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「朝鮮語1a」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「朝鮮語1b」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「アドバンスト・ライティング」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「TOEIC対策講座」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語検定対策講座」の配当年次を、「1・2・3・4前・後」から「1・2・3・4前」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「総合日本語Ⅰb」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語研究A(時事Ⅰ)」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語集中講座(編入)」の配当年次を、「1・2・3・4前」から「2・3・4前」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「公衆衛生学実験」の教員配置を、「准教授1」「助手1」から「准教授1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「人間生物化学」の教員配置を、「准教授1」「助手1」から「教授1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「食物栄養学概論」の教員配置を、「准教授1」「講師1」から「講師1」に変更。
- ・ 担当者の職位変更前により、「調理学」の教員配置を「講師1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「調理学実習Ⅰ」の教員配置を、「講師1」「助手1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「調理学実習Ⅱ」の教員配置を、「講師1」「助手1」から「准教授1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「食品衛生学」の教員配置を、「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「基礎栄養学実験」の教員配置を、「准教授1」「助手1」から「准教授1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「食事計画論Ⅰ(演習を含む)」の教員配置を、「講師1」から「准教授1」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
25	142		167	25	142		167	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
				[0]	[0]	[]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	海外語学研修	1	1・2・3・4前	一般科目	選択	コロナ禍に伴う海外渡航制限のため。代替措置無し
2	英語コミュニケーション応用	2	1・2・3・4前・後	一般科目	選択	対面を前提とした授業のため、社会情報学部以外はR3年度開講に変更
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

海外語学研修は各国の日本人に対する海外渡航制限の影響もありやむを得ずR2年度は非開講とし、学内メールにて学生には周知を行った。また、英語コミュニケーション演習も対面を前提とした授業であったため、選択必修の学科は次年度開講へと予定を変更し、学生にはシステム時間割上の変更にて通知を行った。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{167} = \boxed{1.19}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校 舎 敷 地	24,118 m ²	— m ²	— m ²	24,118 m ²				
	運 動 場 用 地	39,202 m ²	— m ²	— m ²	39,202 m ²				
	小 計	63,320 m ²	— m ²	— m ²	63,320 m ²				
	そ の 他	21,905 m ²	— m ²	— m ²	21,905 m ²				
	合 計	85,225 m ²	— m ²	— m ²	85,225 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
		30,715 m ² (30,715 m ²)	— m ² (— m ²)	— m ² (— m ²)	30,715 m ² (30,715 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実 験 実 習 室	情 報 処 理 学 習 施 設	語 学 学 習 施 設	大学全体 学生の修学環境の見直しを行い、学修施設を増やした。ただし、語学学習施設は、学内組織の変更により2室減となった。(2)			
	55 室 53 室	48 室	29 室 19 室	8 室 7 室 (補助職員 一人)	7 室 9 室 (補助職員 一人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		【健康栄養】 自己都合退職者1名分減(2) 【食物栄養】 申請時の17は誤植で18。学年進行中の就任者2名、自己都合退職1名計3名分減(2)			
	人間生活学部 健康栄養学科			1 6 1 7 室					
	人間生活学部 食物栄養学科			1 5 1 7 室					
	人間生活学部 食品開発学科			7 室					
人間生活学部 人間福祉学科			1 4 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数 閲覧席増加のため、資料移設、図書資料の除籍をおこなったことにより蔵書冊数は減少した。(2)	
	大学全体	189,906 [20,970] (179,390 [20,333]) (181,906 [20,570])	706 [207] (703 [206]) (706 [207])	18 [4] (20 [4]) (18 [4])	4,896 (4,442) (4,416)	15,487 (12,630)	90 (72)		
	計	189,906 [20,970] (179,390 [20,333]) (181,906 [20,570])	706 [207] (703 [206]) (706 [207])	18 [4] (20 [4]) (18 [4])	4,896 (4,442) (4,416)	15,487 (12,630)	90 (72)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	1,930 m ²		391 345		150,722 146,639				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					大学全体	
	3,253 m ²		該 当 な し 該 当 な し						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体
		教員1人当り研究費等	170千円	170千円	図書購入費	5,000千円	5,000千円	5,000千円	
	共 同 研 究 費 等	17,000千円	17,000千円	設備購入費	100,000千円	100,000千円	50,000千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	健康栄養学科 食物栄養学科 食品開発学科 人間福祉学科	
		1,430千円	1,340千円	1,340千円	1,340千円	— 千円	— 千円		
	1,330千円	1,240千円	1,240千円	1,240千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	十文字学園女子大学										備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人間生活学部	4	350	3年次 15人	350	-	1.04	1.04	令和2	令和2		
健康栄養学科	4	120	3年次 5人	120	学士 (栄養学)	1.03	1.03	令和2	令和2		
食物栄養学科	4	120	3年次 10人	120	学士 (栄養学)	1.05	1.05	令和2	令和2		
食品開発学科	4	40	-	160	学士 (食品学)	0.77	0.77	令和2	令和2		
人間福祉学科	4	70	-	70	学士 (社会福祉学)	1.18	1.18	令和2	令和2		
社会福祉・介護福祉コース	4	20	-	-	学士 (社会福祉学)	1.50	1.50	令和2	令和2		
社会福祉・保育コース	4	50	-	-	学士 (社会福祉学)	1.06	1.06	令和2	令和2		
教育人文学部	4	440	3年次 5人	440	-	1.17	1.17	令和2	令和2		
幼児教育学科	4	170	-	170	学士 (教育学)	1.02	1.02	令和2	令和2		
児童教育学科	4	80	-	80	学士 (教育学)	1.08	1.08	令和2	令和2		
心理学科	4	120	-	120	学士 (心理学)	1.27	1.27	令和2	令和2		
文芸文化学科	4	70	3年次 5人	70	学士 (文学)	1.44	1.44	令和2	令和2		
社会情報デザイン学部	4	130	3年次 5人	130	-	1.33	1.33	令和2	令和2		
社会情報デザイン学科	4	130	3年次 5人	130	学士 (社会学)	1.33	1.33	令和2	令和2	埼玉県新座市菅沢2丁目1番28号	
(旧) 人間生活学部	4	-	-	-	-	-	-	-	平成23		(旧) 人間生活学部 令和2年度より学生募集停止
幼児教育学科	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	-	平成23		
児童教育学科	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	-	平成23		
人間発達心理学科	4	-	-	-	学士 (心理学)	-	-	-	平成23		
人間福祉学科	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	-	-	平成27		
社会福祉・介護福祉コース	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	-	-	平成27		
社会福祉・保育コース	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	-	-	平成27		
健康栄養学科	4	-	-	-	学士 (栄養学)	-	-	-	平成27		
食物栄養学科	4	-	-	-	学士 (栄養学)	-	-	-	平成23		
文芸文化学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	-	-	平成27		
生活情報学科	4	-	-	-	学士 (社会情報学)	-	-	-	平成23		
メディアコミュニケーション学科	4	-	-	-	学士 (コミュニケーション学)	-	-	-	平成23		
大学全体	-	920	25	920	-	-	-	-	-		

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地
人間生活学研究科								-	-	埼玉県新座市菅 沢2丁目1番28号
食物栄養学専攻 (博士後期課程)	3	2	-	6	博士 (栄養学)	1.16	1.00	-	平成28	
食物栄養学専攻 (修士課程)	2	5	-	10	修士 (栄養学)	0.80	0.60	-	平成22	
研究科全体	-	7	-	16	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<人間生活学部 食物栄養学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【令和2年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	専任・兼任・兼任の別	職名
	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名		担当授業科目名
専	井手 隆 <令和2年4月> 人間生物化学 食品衛生学	専	井手 隆 <令和2年4月> 人間生物化学 食品衛生学 入門ゼミナール
専	井上 久美子 <令和2年4月> 入門ゼミナール 栄養教育論Ⅰ 栄養教育論実習Ⅰ 総合演習Ⅱ※ 食物栄養学演習 卒業研究	専	井上 久美子 <令和2年4月> 入門ゼミナール 栄養教育論Ⅰ 栄養教育論実習Ⅰ 総合演習Ⅱ※ 食物栄養学演習 卒業研究
専	岩本 珠美 <令和2年4月> 入門ゼミナール キャリアデザイン入門 臨床栄養学Ⅲ 臨床栄養学Ⅳ 臨床栄養学実習Ⅱ 総合演習Ⅰ※ 総合演習Ⅱ※ 臨床栄養学実習Ⅰ 食物栄養学演習 卒業研究	専	岩本 珠美 <令和2年4月> 入門ゼミナール キャリアデザイン入門 臨床栄養学Ⅲ 臨床栄養学Ⅳ 臨床栄養学実習Ⅱ 総合演習Ⅰ※ 総合演習Ⅱ※ 臨床栄養学実習Ⅰ 食物栄養学演習 卒業研究
専	大倉 哲也 <令和2年4月> 入門ゼミナール 食品化学Ⅰ 食品化学実験 食品加工学 食品加工学実習 総合演習Ⅱ※ 食物栄養学演習 卒業研究	専	大倉 哲也 <令和2年4月> 入門ゼミナール 食品化学Ⅰ 食品化学実験 食品加工学 食品加工学実習 総合演習Ⅱ※ 食物栄養学演習 卒業研究
専	園井 大輔 <令和2年4月> 入門ゼミナール 栄養教育論Ⅱ 栄養教育論実習Ⅱ カウンセリング論(演習を含む) 総合演習Ⅱ※ 栄養疫学(演習を含む) 管理栄養士のための経営学 栄養専門外国語※ 食物栄養学演習 卒業研究	専	園井 大輔 <令和2年4月> 入門ゼミナール 栄養教育論Ⅱ 栄養教育論実習Ⅱ カウンセリング論(演習を含む) 総合演習Ⅱ※ 栄養疫学(演習を含む) 管理栄養士のための経営学 栄養専門外国語※ 食物栄養学演習 卒業研究
専	竹嶋 伸之輔 <令和2年4月> 入門ゼミナール 解剖生理学 解剖生化学実験 病原物質・微生物学 微生物学実験 総合演習Ⅱ※ 食物栄養学演習 卒業研究	専	竹嶋 伸之輔 <令和2年4月> 入門ゼミナール 解剖生理学 解剖生化学実験 病原物質・微生物学 微生物学実験 総合演習Ⅱ※ 食物栄養学演習 卒業研究
専	松本 晃裕 <令和2年4月> 入門ゼミナール 医学概論 病態生理学 系統別疾病学 総合演習Ⅱ※ 食物栄養学演習 卒業研究	専	松本 晃裕 <令和2年4月> 入門ゼミナール 医学概論 病態生理学 系統別疾病学 総合演習Ⅱ※ 食物栄養学演習 卒業研究
専	飯村 九林 <令和2年4月> 入門ゼミナール 食品化学 食品衛生学 食品衛生学実験 総合演習Ⅱ※ 食物栄養学演習 卒業研究	専	飯村 九林 <令和2年4月> 入門ゼミナール 食品化学 食品衛生学 食品衛生学実験 総合演習Ⅱ※ 食物栄養学演習 卒業研究 職業入門ゼミナール
専	岡本 節子 <令和2年4月> 入門ゼミナール 調理学実習Ⅰ 給食経営管理論Ⅰ 給食経営管理論Ⅱ 給食経営管理論実習 総合演習Ⅰ※ 総合演習Ⅱ※ 給食経営管理論実習 食物栄養学演習 卒業研究	専	岡本 節子 <令和2年4月> 入門ゼミナール 調理学実習Ⅰ 給食経営管理論Ⅰ 給食経営管理論Ⅱ 給食経営管理論実習 総合演習Ⅰ※ 総合演習Ⅱ※ 給食経営管理論実習 食物栄養学演習 卒業研究 食事計画論Ⅰ(演習を含む)

専	准教授	於17 722 神山 真澄 <令和2年4月>	専	准教授	於17 722 神山 真澄 <令和2年4月>
		入門ゼミナール 人間生物化学 栄養化学 総合演習Ⅱ※ 生物有機化学 食物栄養学演習 卒業研究			入門ゼミナール 人間生物化学 栄養化学 総合演習Ⅱ※ 生物有機化学 食物栄養学演習 卒業研究
専	准教授	コ47 724 古明地 夕佳 <令和2年4月>	専	准教授	コ47 724 古明地 夕佳 <令和2年4月>
		入門ゼミナール 地域と人間生活 食物栄養学概論 公衆栄養学Ⅰ 公衆栄養学Ⅱ 公衆栄養学実習 総合演習Ⅰ※ 総合演習Ⅱ※ 臨床栄養学実習Ⅱ 公衆栄養学実習Ⅱ 給食経営管理実習Ⅱ 食物栄養学演習 卒業研究			入門ゼミナール 地域と人間生活 食物栄養学概論 公衆栄養学Ⅰ 公衆栄養学Ⅱ 公衆栄養学実習 総合演習Ⅰ※ 総合演習Ⅱ※ 臨床栄養学実習Ⅱ 公衆栄養学実習Ⅱ 給食経営管理実習Ⅱ 食物栄養学演習 卒業研究
専	准教授	キ79 723 山崎 優子 <令和2年4月>	専	准教授	キ79 723 山崎 優子 <令和2年4月>
		入門ゼミナール 基礎栄養学 栄養学 基礎栄養学実習 総合演習Ⅱ※ 分子栄養学 食物栄養学演習 卒業研究			入門ゼミナール 基礎栄養学 栄養学 基礎栄養学実習 総合演習Ⅱ※ 分子栄養学 食物栄養学演習 卒業研究
専	准教授	シ79 724 吉澤 剛士 <令和2年4月>	専	准教授	シ79 724 吉澤 剛士 <令和2年4月>
		入門ゼミナール 健康管理概論 公衆衛生学 公衆衛生学実習 健康情報処理実習 総合演習Ⅱ※ 食物栄養学演習 卒業研究			入門ゼミナール 健康管理概論 公衆衛生学 公衆衛生学実習 健康情報処理実習 総合演習Ⅱ※ 食物栄養学演習 卒業研究
専	講師	ナ72 721 中岡 加奈絵 <令和2年4月>	専	講師	ナ72 721 中岡 加奈絵 <令和2年4月>
		入門ゼミナール 食物栄養学概論 応用栄養学Ⅰ 応用栄養学Ⅱ 応用栄養学実習 総合演習Ⅱ※ 食物栄養学演習 卒業研究			入門ゼミナール 食物栄養学概論 応用栄養学Ⅰ 応用栄養学Ⅱ 応用栄養学実習 総合演習Ⅱ※ 食物栄養学演習 卒業研究
専	講師	ワ7 (ワ7) 723 和田(小澤) 安代 <令和2年4月>	専	講師	ワ7 (ワ7) 723 和田(小澤) 安代 <令和2年4月>
		入門ゼミナール 臨床栄養学Ⅰ 臨床栄養学Ⅱ 臨床栄養学実習Ⅰ 総合演習Ⅰ※ 総合演習Ⅱ※ 臨床栄養学実習Ⅱ 食物栄養学演習 卒業研究			入門ゼミナール 臨床栄養学Ⅰ 臨床栄養学Ⅱ 臨床栄養学実習Ⅰ 総合演習Ⅰ※ 総合演習Ⅱ※ 臨床栄養学実習Ⅱ 食物栄養学演習 卒業研究
専	助教	ホ1 724 堀井 貴子 <令和2年4月>	兼任 講師	ホ1 724 堀井 貴子 <令和2年4月>	
		入門ゼミナール 調理学実習Ⅱ 給食経営管理論実習 総合演習Ⅰ※ 総合演習Ⅱ※ 臨床栄養学実習Ⅰ 臨床栄養学実習Ⅱ 公衆栄養学実習Ⅱ 給食経営管理実習Ⅱ 給食運営実習Ⅱ 食物栄養学演習 卒業研究		入門ゼミナール 調理学実習Ⅱ 給食経営管理論実習 総合演習Ⅰ※ 総合演習Ⅱ※ 臨床栄養学実習Ⅰ 臨床栄養学実習Ⅱ 公衆栄養学実習Ⅱ 給食経営管理実習Ⅱ 給食運営実習Ⅱ 食物栄養学演習 卒業研究	
兼任	教授	ワ7 727 安達 一寿 <令和2年4月>	兼任	教授	ワ7 727 安達 一寿 <令和2年4月>
		コミュニケーション演習 総合ゼミナール キャリアサポート演習			コミュニケーション演習 総合ゼミナール キャリアサポート演習
兼任	教授	イ7 724 飯田 路佳 <令和2年4月>	兼任	教授	イ7 724 飯田 路佳 <令和2年4月>
		女性の心と身体 身体運動Ⅱ			女性の心と身体 身体運動Ⅱ
兼任	教授	ワ7 724 池川 繁樹 <令和3年4月>			
		地域と人間生活 人間生活生理学 応用栄養学Ⅲ			
兼任	教授	ワ7 723 池間 里代子 <令和2年4月>	兼任	教授	ワ7 723 池間 里代子 <令和2年4月>
		読書入門ゼミナール 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 海外語学研修 中国語試験対策講座			読書入門ゼミナール 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 海外語学研修 中国語試験対策講座
			兼任	教授	シ79 724 石山 隆之 <令和2年4月>
					総合科目 身体運動Ⅱ

兼担	教授	石野 崇一 ＜令和2年4月＞ 地域で学ぶ 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成	兼担	教授	石野 崇一 ＜令和2年4月＞ 地域で学ぶ 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成
兼担	教授	大友 由紀子 ＜令和2年4月＞ キャリアデザインとライフプラン	兼担	教授	大友 由紀子 ＜令和2年4月＞ キャリアデザインとライフプラン
			兼担	教授	新 風間 文明 ＜令和2年4月＞ 自主社会活動
兼担	教授	片居木 英人 ＜令和2年4月＞ ジェンダーリテラシー くらしのなかの日本国憲法	兼担	教授	片居木 英人 ＜令和2年4月＞ ジェンダーリテラシー くらしのなかの日本国憲法
兼担	教授	狩野 浩二 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール 地域で学ぶ 21世紀型の教育	兼担	教授	狩野 浩二 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール 地域で学ぶ 21世紀型の教育 総合科目
兼担	教授	北原 俊一 ＜令和2年4月＞ 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	兼担	教授	北原 俊一 ＜令和2年4月＞ 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼担	教授	向後 (田中) 朋美 ＜令和2年4月＞ コミュニケーション演習 英語コミュニケーション応用 アドバンス・リスニング	兼担	教授	向後 (田中) 朋美 ＜令和2年4月＞ コミュニケーション演習 英語コミュニケーション応用 アドバンス・リスニング 英語Ⅰa
兼担	教授	齋藤 忍 ＜令和3年4月＞ 人間理解ワークショップ			
兼担	教授	佐藤 陽 ＜令和2年4月＞ ポランディア論	兼担	教授	佐藤 陽 ＜令和2年4月＞ ポランディア論
兼担	教授	談茶 (松尾) 優子 ＜令和2年4月＞ コミュニケーション演習 英語Ⅰa アドバンス・リスニング 映画・ドラマ英語 TOEIC対策講座	兼担	教授	談茶 (松尾) 優子 ＜令和2年4月＞ コミュニケーション演習 英語Ⅰa アドバンス・リスニング 映画・ドラマ英語 TOEIC対策講座 アドバンス・リーディング
兼担	教授	sheila Cliffe ＜令和2年4月＞ コミュニケーション演習 英語コミュニケーション基礎a 英語コミュニケーション基礎b 英語コミュニケーション発展a 英語コミュニケーション発展b ビジネス英語	兼担	教授	sheila Cliffe ＜令和2年4月＞ コミュニケーション演習 英語コミュニケーション基礎a 英語コミュニケーション基礎b 英語コミュニケーション発展a 英語コミュニケーション発展b ビジネス英語 アドバンス・ライティング
兼担	教授	杉元 葉子 ＜令和3年4月＞ 課題解決ゼミナール	兼担	教授	杉元 葉子 ＜令和2年4月＞ 総合科目
兼担	教授	鈴木 康弘 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ	兼担	教授	鈴木 康弘 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ
兼担	教授	高谷 和成 ＜令和3年4月＞ 地域と人間生活			
兼担	教授	田倉 昭 ＜令和3年4月＞ キャリア基礎力Ⅰ			
兼担	教授	棚谷 祐一 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール キャリア基礎力Ⅱ	兼担	教授	棚谷 祐一 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール キャリア基礎力Ⅱ
兼担	教授	田総 恵子 ＜令和2年4月＞ 持続可能な社会	兼担	教授	田総 恵子 ＜令和2年4月＞ 持続可能な社会
兼担	教授	角田 真二 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	兼担	教授	角田 真二 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ

兼担	教授	中村 禎子 <令和2年4月> 食品機能論	兼担	教授	中村 禎子 <令和2年4月> 食品機能論
兼担	教授	長田 (鈴木) 瑞恵 <令和2年4月> 子育てと環境	兼担	教授	長田 (鈴木) 瑞恵 <令和2年4月> 子育てと環境
兼担	教授	樋口 一貴 <令和2年4月> 読書入門セミナー 芸術を眺めとる	兼担	教授	樋口 一貴 <令和2年4月> 読書入門セミナー 芸術を眺めとる
兼担	教授	平田 智秋 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ	兼担	教授	平田 智秋 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ
兼担	教授	布施 晴美 <令和2年4月> 人間理解ワークショップ 女性の心と身体	兼担	教授	布施 晴美 <令和2年4月> 人間理解ワークショップ 女性の心と身体
兼担	教授	星野 敬子 <令和2年4月> 地域で学ぶ	兼担	教授	星野 敬子 <令和2年4月> 地域で学ぶ 総合科目
兼担	教授	松岡 敬明 <令和2年4月> コミュニケーション演習	兼担	教授	松岡 敬明 <令和2年4月> コミュニケーション演習
兼担	教授	松永 修一 <令和2年4月> 人間理解ワークショップ 自立社会活動 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成	兼担	教授	松永 修一 <令和2年4月> 人間理解ワークショップ 自立社会活動 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成
兼担	教授	松本 崇子 <令和2年4月> キャリアデザインとライフプラン	兼担	教授	松本 崇子 <令和2年4月> キャリアデザインとライフプラン 総合科目
兼担	教授	山田 陽子 <令和2年4月> 人間関係とコミュニケーション 人間理解ワークショップ 子育てと環境	兼担	教授	山田 陽子 <令和2年4月> 人間関係とコミュニケーション 人間理解ワークショップ 子育てと環境
兼担	教授	山本 悟 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ	兼担	教授	山本 悟 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ
兼担	教授	山本 茂 <令和2年4月> 人間栄養学概論 食文化論 栄養学専門外国語※	兼担	教授	山本 茂 <令和2年4月> 人間栄養学概論 食文化論 栄養学専門外国語※
兼担	教授	吉田 亨 <令和2年4月> 地域と人間生活 共生社会入門	兼担	教授	吉田 亨 <令和2年4月> 地域と人間生活 共生社会入門
兼担	教授	好本 恵 <令和2年4月> 読書入門セミナー	兼担	教授	好本 恵 <令和2年4月> 読書入門セミナー
兼担	教授	綿井 雅康 <令和2年4月> 人間関係とコミュニケーション 総合科目 自立社会活動 インターンシップ短期 インターンシップ長期	兼担	教授	綿井 雅康 <令和2年4月> 人間関係とコミュニケーション 総合科目 自立社会活動 インターンシップ短期 インターンシップ長期
			兼担	特任 教授	竹之内 修 <令和2年4月> コミュニケーション演習
兼担	准教授	阿部 (特嶋) 史 <令和2年4月> リーガリテラシー			
兼担	准教授	綿井 桜子 <令和2年4月> 読書入門セミナー	兼担	准教授	綿井 桜子 <令和2年4月> 読書入門セミナー
兼担	准教授	石川 敬史 <令和2年4月> 読書入門セミナー	兼担	准教授	石川 敬史 <令和2年4月> 読書入門セミナー

兼担	准教授	伊藤 陽一 <令和2年4月> 社会福祉概論	伊藤 陽一 <令和2年4月> 社会福祉概論	伊藤 陽一 <令和2年4月> 社会福祉概論	伊藤 陽一 <令和2年4月> 社会福祉概論
兼担	准教授	落合 真裕 <令和2年4月> コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール グローバル社会	落合 真裕 <令和2年4月> コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール グローバル社会	落合 真裕 <令和2年4月> コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール グローバル社会	落合 真裕 <令和2年4月> コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール グローバル社会
兼担	准教授	梶野 涼子 <令和3年4月> 食の科学			
兼担	准教授	加藤 暁子 <令和3年4月> 課題解決ゼミナール			
兼担	准教授	加藤 亮介 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	加藤 亮介 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	加藤 亮介 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	加藤 亮介 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
兼担	准教授	川口 英俊 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール くらしのなかの日本国憲法	川口 英俊 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール くらしのなかの日本国憲法	川口 英俊 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール くらしのなかの日本国憲法	川口 英俊 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール くらしのなかの日本国憲法
兼担	准教授	久保田 葉子 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	久保田 葉子 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	久保田 葉子 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	久保田 葉子 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
兼担	准教授	鈴木 晴子 <令和2年4月> 子育てと環境	鈴木 晴子 <令和2年4月> 子育てと環境	鈴木 晴子 <令和2年4月> 子育てと環境	鈴木 晴子 <令和2年4月> 子育てと環境
兼担	准教授	徳野 裕子 <令和2年4月> 女性と健康	徳野 裕子 <令和2年4月> 女性と健康	徳野 裕子 <令和2年4月> 女性と健康	徳野 裕子 <令和2年4月> 女性と健康
兼担	准教授	星野 祐子 <令和2年4月> 日本語検定対策講座	星野 祐子 <令和2年4月> 日本語検定対策講座 総合科目	星野 祐子 <令和2年4月> 日本語検定対策講座 総合科目	星野 祐子 <令和2年4月> 日本語検定対策講座 総合科目
兼担	准教授	三藤 あさみ <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	三藤 あさみ <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	三藤 あさみ <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	三藤 あさみ <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
兼担	講師	福田 朋晃 <令和2年4月> 総合日本語Ⅰa 総合日本語Ⅱa 総合日本語Ⅲa 日本語表現技術Ⅱ 日本語表現技術Ⅳ 日本語研究E(医療・福祉専門) 日本語能力試験対策講座Ⅰ 日本語能力試験対策講座Ⅱ 日本語集中講座(編入)※	福田 朋晃 <令和2年4月> 総合日本語Ⅰa 総合日本語Ⅱa 総合日本語Ⅲa 日本語表現技術Ⅱ 日本語表現技術Ⅳ 日本語研究E(医療・福祉専門) 日本語能力試験対策講座Ⅰ 日本語能力試験対策講座Ⅱ 日本語集中講座(編入)※ 日本語検定対策講座 日本語検定対策講座 日本語集中講座(編入)※ 日本語表現技術Ⅲ 日本語研究A(時事Ⅰ)	福田 朋晃 <令和2年4月> 総合日本語Ⅰa 総合日本語Ⅱa 総合日本語Ⅲa 日本語表現技術Ⅱ 日本語表現技術Ⅳ 日本語研究E(医療・福祉専門) 日本語能力試験対策講座Ⅰ 日本語能力試験対策講座Ⅱ 日本語集中講座(編入)※ 日本語検定対策講座 日本語検定対策講座 日本語集中講座(編入)※ 日本語表現技術Ⅲ 日本語研究A(時事Ⅰ)	福田 朋晃 <令和2年4月> 総合日本語Ⅰa 総合日本語Ⅱa 総合日本語Ⅲa 日本語表現技術Ⅱ 日本語表現技術Ⅳ 日本語研究E(医療・福祉専門) 日本語能力試験対策講座Ⅰ 日本語能力試験対策講座Ⅱ 日本語集中講座(編入)※ 日本語検定対策講座 日本語検定対策講座 日本語集中講座(編入)※ 日本語表現技術Ⅲ 日本語研究A(時事Ⅰ)
兼担	講師	神田 俊平 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ	神田 俊平 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ 読書入門ゼミナール	神田 俊平 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ 読書入門ゼミナール	神田 俊平 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ 読書入門ゼミナール
兼担	講師	帆 映葉 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb	帆 映葉 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 総合科目	帆 映葉 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 総合科目	帆 映葉 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 総合科目
兼担	講師	鳥越 信香 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 総合ゼミナール キャリア基礎力Ⅰ	鳥越 信香 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 総合ゼミナール キャリア基礎力Ⅰ	鳥越 信香 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 総合ゼミナール キャリア基礎力Ⅰ	鳥越 信香 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 総合ゼミナール キャリア基礎力Ⅰ
兼担	講師	新嶋 良恵 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	新嶋 良恵 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール グローバル社会	新嶋 良恵 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール グローバル社会	新嶋 良恵 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール グローバル社会
兼担	講師	野田 日出子 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	野田 日出子 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	野田 日出子 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	野田 日出子 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール

兼任	講師	ミジノ ヒロコ 見吉 英彦 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール	兼任	講師	ミジノ ヒロコ 見吉 英彦 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール
兼任	講師	ヤマノ シキ 山下 悠貴乃 ＜令和2年4月＞ 総合日本語Ⅰb 総合日本語Ⅱb 総合日本語Ⅲb 日本語表現技術Ⅰ 日本語表現技術Ⅱ 日本語集中講座（編入）※	兼任	講師	ヤマノ シキ 山下 悠貴乃 ＜令和2年4月＞ 総合日本語Ⅰb 総合日本語Ⅱb 総合日本語Ⅲb 日本語表現技術Ⅰ 日本語表現技術Ⅱ 日本語集中講座（編入）※ 日本語表現技術Ⅲ 日本語研究A（時事Ⅰ）
兼任	講師	ワケノ キヨヲキ 若葉 京良 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ	兼任	講師	ワケノ キヨヲキ 若葉 京良 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ
兼任	講師	ワケノ マサユキ 渡辺 章夫 ＜令和3年4月＞ 地域と人間生活	兼任	講師	ワケノ マサユキ 渡辺 章夫 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール
兼任	講師	ワケノ ナツキ 渡邊 孝枝 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ	兼任	講師	ワケノ ナツキ 渡邊 孝枝 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ
兼任	助教	ウツノ ミチ 倉若 美咲樹 ＜令和3年4月＞ 地域と人間生活			
兼任	助教	コトノ 有紀子 近藤 有紀子 ＜令和2年4月＞ 子育てと環境	兼任	助教	コトノ 有紀子 近藤 有紀子 ＜令和2年4月＞ 子育てと環境
兼任	講師	アノ 陽子 阿 陽子 ＜令和4年4月＞ 微生物学実験			
			兼任	講師	アノ マキ子 秋山 まき子 ＜令和2年4月＞ TOEIC対策講座
兼任	講師	アノ 宏之 安達 宏之 ＜令和2年4月＞ 多様性と倫理 くらしのなかの日本国憲法	兼任	講師	アノ 宏之 安達 宏之 ＜令和2年4月＞ 多様性と倫理 くらしのなかの日本国憲法
兼任	講師	イシノ 和美 石井 和美 ＜令和2年4月＞ 調理学 調理学実習Ⅰ	兼任	講師	イシノ 和美 石井 和美 ＜令和2年4月＞ 調理学 調理学実習Ⅰ
兼任	講師	ウラハノ 淳 藤原 淳 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅰ 身体運動Ⅱ	兼任	講師	ウラハノ 淳 藤原 淳 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅰ 身体運動Ⅱ
兼任	講師	オノ 恵子 岡田 恵子 ＜令和5年4月＞ 食生活論			
			兼任	講師	オノ 美子 小笠原 美子 ＜令和2年4月＞ 日本語能力試験対策講座Ⅰ 日本語能力試験対策講座Ⅱ
兼任	講師	カノ 薫 加藤 薫 ＜令和2年4月＞ 日本語研究A（時事Ⅰ） 日本語研究B（時事Ⅱ）	兼任	講師	カノ 薫 加藤 薫 ＜令和2年4月＞ 日本語研究A（時事Ⅰ） 日本語研究B（時事Ⅱ）
			兼任	講師	カノ 薫 加藤 薫 ＜令和2年4月＞ 女性の心と身体
			兼任	講師	カノ カシミ 川口 かしみ ＜令和2年4月＞ リーガルリテラシー
兼任	講師	コノ 彩子 小島 彩子 ＜令和5年4月＞ 食薬理学			
兼任	講師	ナガノ 理枝子 橋原 理枝子 ＜令和2年4月＞ 英語Ⅰa 英語Ⅰb 英語Ⅱa 英語Ⅱb	兼任	講師	ナガノ 理枝子 橋原 理枝子 ＜令和2年4月＞ 英語Ⅰa 英語Ⅰb 英語Ⅱa 英語Ⅱb
兼任	講師	サノ 典子 佐藤 典子 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ	兼任	講師	サノ 典子 佐藤 典子 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ

兼任	講師	シノヰキ ヒロ 芝崎 本実 ＜令和2年4月＞ 食事計画論Ⅰ（演習を含む） 食事計画論Ⅱ（演習を含む）	兼任	講師	シノヰキ ヒロ 芝崎 本実 ＜令和2年4月＞ 食事計画論Ⅰ（演習を含む） 食事計画論Ⅱ（演習を含む）
兼任	講師	サノノ 次郎 澤野 次郎 ＜令和3年4月＞ 災害と社会			
兼任	講師	シノヰキ ヒロ 清水 文子 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ	兼任	講師	シノヰキ ヒロ 清水 文子 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ
兼任	講師	サカイ エリ 高井 恵理 ＜令和4年4月＞ スポーツ栄養学			
兼任	講師	サニ ヒロコ 谷 洋子 ＜令和2年4月＞ アドバンスト・リーディング	兼任	講師	サニ ヒロコ 谷 洋子 ＜令和2年4月＞ アドバンスト・リーディング 英語Ⅰa TOEIC対策講座
兼任	講師	チシノ コウイチ 千足 耕一 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ	兼任	講師	チシノ コウイチ 千足 耕一 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ
兼任	講師	サト ヒロ 曹 善 ＜令和2年4月＞ 朝鮮語Ⅰa 朝鮮語Ⅰb	兼任	講師	サト ヒロ 曹 善 ＜令和2年4月＞ 朝鮮語Ⅰa 朝鮮語Ⅰb
			兼任	講師	ササキ ヒロコ 酒田 久美子 ＜令和2年4月＞ 英語Ⅰa 英語Ⅰb
			兼任	講師	トノヰ ヒロコ 土井 智晴 ＜令和2年4月＞ 総合科目
			兼任	講師	マツノ マチコ 時松 史子 ＜令和2年4月＞ 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb
			兼任	講師	トノヰ ヒロコ 藤藤 尚代 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ
兼任	講師	ナカノ マチコ 中島 紀子 ＜令和2年4月＞ 日本語研究F（人文科学）	兼任	講師	ナカノ マチコ 中島 紀子 ＜令和2年4月＞ 日本語研究F（人文科学）
			兼任	講師	サト ヒロコ 長瀬 隆一 ＜令和2年4月＞ 朝鮮語Ⅰa 朝鮮語Ⅰb
兼任	講師	ササキ ヒロコ 長浜 尚史 ＜令和4年4月＞ 運動生理学			
			兼任	講師	ニシノ ヒロコ 仁科 幸 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ
兼任	講師	ノノヰ ヒロコ 野田 聖子 ＜令和5年4月＞ 食育論			
兼任	講師	ササキ ヒロコ 深澤 進 ネットワーク社会	兼任	講師	ササキ ヒロコ 深澤 進 ＜令和2年4月＞ ネットワーク社会
兼任	講師	フジノ ヒロコ 藤生 栄一郎 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ	兼任	講師	フジノ ヒロコ 藤生 栄一郎 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ
			兼任	講師	フジノ ヒロコ 藤生 栄一郎 ＜令和2年4月＞ 総合科目
			兼任	講師	フジノ ヒロコ 藤生 栄一郎 ＜令和2年4月＞ フランス語Ⅰa フランス語Ⅰb

兼任	講師	マブソン ローラン Mabesoone Laurent ＜令和2年4月＞ フランス語 I a フランス語 I b			
兼任	講師	ミヤノ マチ子 宮崎 陽子 ＜令和3年4月＞ インターネット英語			
兼任	講師	ミヤノ マチ子 宮本 正治 ＜令和2年4月＞ アドバンスト・リーディング アドバンスト・ライティング メディア英語	兼任	講師	ミヤノ マチ子 宮本 正治 ＜令和2年4月＞ アドバンスト・リーディング アドバンスト・ライティング メディア英語
兼任	講師	神ノ マチ子 矢澤 美佐紀 ＜令和3年4月＞ 歴史のなかの女性			
兼任	講師	ヤシタ 佳代子 安恒 佳代子 ＜令和2年4月＞ 日本語研究 C (ビジネス I) 日本語研究 D (ビジネス II)	兼任	講師	ヤシタ 佳代子 安恒 佳代子 ＜令和2年4月＞ 日本語研究 C (ビジネス I) 日本語研究 D (ビジネス II)
兼任	講師	ヤマノ カンジ 山本 賢二 ＜令和2年4月＞ 中国語 I a 中国語 I b			

(注)

- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
- ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

【採用・退職・新規担当】

- ・齋藤 忍教授の退職に伴い、人間理解ワークショップ (R3年度開講) の担当として後任選定中。
- ・阿部 史准教授の退職に伴い、リーガルリテラシーの担当として、川口 かしみ講師を採用。
- ・加藤 暁子准教授の退職に伴い、課題解決ゼミナール (R3年度開講) の担当として後任選定中。
- ・Mabesone Laurent講師の退職に伴いフランス語1a、フランス語1bの担当として、増茂 和男講師を採用。
- ・山本 賢二講師の辞任に伴い、中国語1a、中国語1bの担当として、時松 史子講師を採用。
- ・堀井 貴子専任助教は、専任辞任により令和2年度兼任講師に職位変更。
- ・コマ数追加による総合科目の新規担当追加として、石山 隆之教授、土井 善晴講師、船曳 建夫講師を採用。
- ・コマ数追加による身体運動Ⅱの新規担当追加として、石山 隆之教授、蓬郷 尚代講師、仁科 幸講師を採用。
- ・風間 文明教授は、綿井 雅康教授のコマ数調整のため新規担当として採用。自主社会活動
- ・コミュニケーション演習の担当として、竹之内 修特任教授を採用。
- ・教育効果充実を図る為、読書入門ゼミナールの担当として、石田 (今村) 有理論教授、曾野 麻紀准教授、野田 日出子講師を採用。
- ・日本語能力試験対策講座Ⅰ、日本語能力試験対策講座Ⅱの担当として、小笠原 典子講師を採用。福田 朋晃講師は削除。
- ・教育効果充実を図る為、TOEIC対策講座の担当として、秋山 まき子講師が採用。
- ・女性の心と身体は、加藤 優講師を新規採用。
- ・教育効果充実を図る為、英語1aの新規担当追加として、津田 久美子講師採用。
- ・英語1bの担当として、津田 久美子講師を採用。榊原 理枝子講師は削除。
- ・教育効果充実を図る為、女性と健康の新規担当追加として、齋藤 麗子講師を採用。
- ・朝鮮語1a、朝鮮語1bの担当として、長渡 陽一講師を採用。チョ ヒ講師は削除。

【複数担当による持ち回り授業による担当変更】

- ・和田 (小澤) 安代講師 入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・堀井 貴子講師 入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・池間 里代子教授 読書入門ゼミナールは、今年度担当なし。
- ・片居木 英人教授 ぐらしのなかの日本国憲法 今年度本学科では担当なし。
- ・設楽 (松尾) 優子教授 コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- ・sheila Cliffe教授 コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- ・棚谷 祐一教授 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・角田 真二教授 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・樋口 一貴教授 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・松岡 敬明教授 コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- ・好本 恵教授 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・綾井 桜子准教授 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・石川 敬史准教授 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・落合 真裕准教授 コミュニケーション演習、読書入門ゼミナール 子年度担当なし。
- ・加藤 亮介准教授 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・川口 英俊准教授 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・久保田 葉子准教授 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・三藤 あさみ准教授 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・見吉 英彦講師 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・安達 宏之講師 ぐらしのなかの日本国憲法 今年度本学科は担当なし。
- ・朝鮮語1a、朝鮮語1bの担当として、長渡 陽一講師を採用。チョ ヒ講師は削除。

【科目配当上の都合による変更】

- ・井手 隆教授 新規担当 入門ゼミナール
- ・飯村 九林教授 新規担当 読書入門ゼミナール
- ・飯村 九林准教授 食品学衛生は、別教員が担当。
- ・岡本 節子准教授 新規担当 食事計画論Ⅰ (演習を含む)
- ・神山 真澄准教授 人間生物化学は、井手 隆教授に担当者変更。
- ・古明地 夕佳准教授 食物栄養学概論は、別教員が担当。
- ・堀井 貴子助教 調理学実習Ⅱは別教員が担当。
- ・飯田 路佳教授 女性の心と身体は、別教員が担当。
- ・池間 里代子教授 海外語学研修は、新型コロナ感染症により海外渡航制限のため未開講。
- ・石野 榮一教授 地域で学ぶは、別教員が担当。
- ・狩野 浩二教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- ・向後 (田中) 朋美教授 新規担当 英語1a。「英語コミュニケーション応用」配当調整により、今年度未開講。
- ・宮本 正治講師から設楽 (松尾) 優子教授へ担当変更。アドバンストリーディング
- ・設楽 (松尾) 優子教授 新規担当 英語1a
- ・sheila Cliffe教授 新規担当 アドバンストリーディング
- ・杉元 葉子教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- ・布施 晴美教授 女性の心と身体は、別教員が担当。
- ・星野 敦子教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- ・松本 晃子教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- ・綿井 雅康教授 総合科目は、コマ数調整のため、今年度担当なし。
- ・星野 祐子准教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- ・福田 朋晃講師から山下 悠貴乃講師へ担当変更。日本語表現技術Ⅱ
- ・福田 朋晃講師 新規担当 総合日本語Ⅰb
- ・山下 悠貴乃講師から福田 朋晃講師へ担当変更。日本語表現技術Ⅲ
- ・加藤 薫講師から、福田 朋晃講師、山下 悠貴乃講師へ担当者変更。日本語研究A (時事Ⅰ)
- ・神田 俊平講師 新規担当 読書入門ゼミナール
- ・仇 暁芸講師 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- ・新嶋 良恵講師 新規担当 グローバル社会
- ・渡辺 章夫講師 新規担当 読書入門ゼミナール
- ・渡邊 孝枝講師 身体運動Ⅱは、別教員が担当。
- ・芝崎 本実講師 食事計画論Ⅰ (演習を含む) は、別教員担当。
- ・谷 洋子講師 新規担当 英語1a、TOEIC対策講座

- (注) ・ 変更内容を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査 (AC教員審査) を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書 (AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度 (平成30年度開設であれば平成29年度) の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
6	6	4	1	17	5	6	6	2	0	15	5
(6)	(6)	(2)	(0)	(15)	(5)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
6	6	2	0	15	5	6	6	4	1	17	5
[1]	[0]	[Δ2]	[Δ1]	[Δ2]	[5]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[5]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	1	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{15}{17} = \boxed{88.23} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{15} = \boxed{6.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{5}{5} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	助教	堀井 貴子	2020/3/31	必修	入門セミナー	①	R2.3.31本人希望のため就任辞退			
				必修	調理学実習Ⅱ	①				
				選択	給食経営管理論実習	①				
				必修	総合演習Ⅰ※	①				
				選択	総合演習Ⅱ※	①				
				選択	臨床栄養臨地実習Ⅰ	①				
				選択	臨床栄養臨地実習Ⅱ	①				
				選択	公衆栄養臨地実習	①				
				選択	給食経営管理臨地実習	①				
				選択	給食運営臨地実習	①				
				必修	食物栄養学演習	①				
				必修	卒業研究	①				
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
1	人	必修	5	科目	必修	5	科目	必修	0	科目
		選択	7	科目	選択	7	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	12	科目	計	12	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況（該当なし）

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
1	人	必修	5	科目	必修	5	科目	必修	0	科目
		選択	7	科目	選択	7	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	12	科目	計	12	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{1}{17} = 5.88\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況（該当なし）

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職の申出に対しては他の専任教員の配当若しくは兼任講師の採用により、教育課程の進行に支障が無いよう配慮している。学生に対しては大学HP上に時間割・担当変更一覧を掲載し、周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
届 出 時 (平成31年)	<p>完成年度前に、定年規定に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 (人間生活学部食品開発学科)</p>	<p>遵守事項</p> <p>本学の就業規則では、「学園業務の遂行上特に必要と認められた職員については、定年を延長することができ」とされている。学年進行中に定年を迎える専任教員については、教育の継続性及び質の担保の観点からも本規則により定年を延長し、定年延長にあたっては必要な手続きを経ている。完成年度以降については、教員配置計画表に基づいて採用等を行い、定年延長者を含む退職者の後任については、学科の教育研究の継続性を図る観点からも、職位や年齢に配慮する。</p>	<p>履行中</p> <p>今後も教員配置計画表に基づいて採用等を行い、定年延長者を含む退職者の後任については、学科の教育研究の継続性を図る観点からも、職位や年齢に配慮する。</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人間生活学部 食物栄養学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
各科目の運営	令和2年度当初の授業期間については、新型コロナウイルス感染症に対する対応として、学修時間を確保するとともに授業期間について弾力的に取り扱っている。また、遠隔授業、授業内に課すものに相当する課題研究等を活用して実施している。(2)

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

十文字学園女子大学全学委員会通則規程(添付資料1)に定められた全学委員会として、全学FD委員会を設置している。

全学FD委員会の構成は、委員長は学長または学長が指名する教職員とし、(1)学長、(2)専任教員2名、(3)大学院のFD委員会において選出された者1名、(4)その他委員長が必要と認めた者で構成しているが、活動の活性化及び各教員の理解を深めるため、②及び③の選出については各学科から1名を選出している。

令和元年度は研究担当副学長が委員長を務め、事務局の担当者を含め計16名(教員11名、職員5名)で運営された。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

令和元年度は全4回開催した。

第1回	令和元年5月30日(木)	教員出席者	10人
第2回	令和元年6月26日(木)	教員出席者	8人
第3回	令和元年9月26日(木)	教員出席者	9人
第4回	令和元年11月14日(木)	教員出席者	8人

c 委員会の審議事項等

十文字学園女子大学全学委員会通則規程により、全学FD委員会は次の事項を審議し、必要な事項を処理している。

- (1) FDに係る研修会等の実施に関する事項
- (2) 大学、大学院が行うFDに係る活動の連絡・調整に関する事項
- (3) 授業評価等FDに係る調査、研究に関する事項
- (4) その他本学のFDに関する事項

② 実施状況

a 実施内容

全学FD委員会が令和元年度に実施したFD活動は以下の通り。

- (1) 授業アンケート
- (2) 授業に関する学生・教員交流会
- (3) 授業公開
- (4) 研修会
- (5) FD報告書の作成

を実施した。

b 実施方法

(1) 授業アンケート

原則、前期後期ともに第13回目の授業を目途に、学生による授業アンケートを実施した。また、アンケートの自由記述に対して教員がコメントを付し、学内ネットワークに公開している。

(2) 授業に関する学生・教員交流会

令和2年1月9日（木）に、9学科（全学科）より学生を選出し、FD委員を中心とする教員との交流会を開催した。

(3) 授業公開

令和2年11月11日（月）～22日（金）にかけて、原則、後期に開講した全ての授業について、授業公開を行った。

(4) 研修会

令和元年11月21日（木）に、「教学マネジメントの推進に向けて～カリキュラムと個々の授業の関連を考える～」についての教職員対象のFD（SD）研修会を実施した。

(5) FD報告書の作成

令和2年に「令和元年度FD報告書」の刊行する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

(1) 授業アンケート

- ・令和元年度は、前期は7月10日（月）～8月12日（月）、後期は12月11日（水）～2月4日（火）にアンケート実施期間を設定した（両学期とも集中講義科目及び非常勤講師を含む。）。
- ・実施対象者は前期231名、後期220名、実施率は前期95.7%、後期92.3%であった。
- ・アンケートの自由記述に対して教員がコメントを付し、学内ネットワークで公開することで学生へのフィードバックを行っているが、コメント提出率は、前期81.4%、後期79.3%であった。前期分のコメントは、令和元年9月30日に公開済みである。（後期分は現在、保留中）

(2) 授業に関する学生・教員交流会

- ・9学科（全学科）から選出した代表学生及び留学生25名と、FD委員を含む教員10名が参加した。
- ・参加者を5グループに分け、授業アンケート及び事前に意見を求めたトークテーマについてミーティングとグループ発表を行った。

(3) 授業公開

- ・授業公開の期間を各学科1週間、見学期間を2週間とした。公開時期を1週間とすることで公開側の負担を軽減し、見学期間の選択肢はこれまで通り確保（同学科でも他学科でも見学可能と）した。
- ・見学者は、57名（教員48名、職員9名）であった。また、見学者には見学記録の提出を義務付けた。

(4) 研修会

- ・外部講師1名を招き、2名の学内教員のコーディネイトにより、「教学マネジメントの推進に向けて～カリキュラムと個々の授業の関連を考える～」をテーマに、教学マネジメントの基本、本質的な問いの追究、カリキュラムの意図を反映させる工夫、カリキュラムの編成・実施・評価・改善のポイントについての研修会を行った。参加者は118名（教員86名、職員32名）であった。

(5) FD報告書の作成

令和2年9月以降に「令和元年度FD報告書」の刊行を予定している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

本学では、授業の質的改善・向上を目的として、継続的に「学生による授業アンケート」を実施しており、その結果は、学内ネットワーク上で公開し学生にフィードバックしている。アンケート結果に対するコメントや自由記述に対して回答することにより、各教員が今後の改善点を明らかにしている。

また、研修会「教学マネジメントの推進に向けて～カリキュラムと個々の授業の関連を考える～」のように、FD委員会が研修会を企画し、授業改善への働きかけを行っている。

平成23年度より、全学委員会通則規程に基づき設置された教員評価委員会のもと、教員評価規程（別添資料2）に則って、教育、研究、社会活動、学務の4領域を対象として教員評価を実施している。各教員の個人努力を喚起し、授業改善はもとより、教員の資質の維持向上を図るよう取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前述の通り

前述の通り

b 教員や学生への公開状況、方法等

前述の通り

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学は、継続的に教育体制改革を行っており、今回の改組は第三次教育体制改革として、第一次及び第二次の成果を踏まえつつ、①学部体制の改編、②新たな教育課程を修了し卒業した学生が、社会のなかで生涯にわたり活躍していくことを想定した教育内容の構築、③既存学科の強化及び本学の伝統を活かしつつ学生募集において可能性のある新たな領域（学科）の立ち上げ、④適切な定員設定、について検討を重ねてきた。学部体制については、本学が培ってきた教育研究上の領域をより明確にし、かつ、地域社会における諸課題の探求と解決に向けて、人々との連携や多職種での協働を基盤としつつ、それぞれが培ってきた専門性を発揮しうる人材を養成するために、より有効な体制と判断し、3学部へ再編成することを決定した。そして、令和2年度に①1学部体制を3学部体制（人間生活学部、教育人文学部、社会情報デザイン学部）へ再編成する、②入学定員を適正に設定変更する、③食の領域での発展拡大のために食品開発学科を新設する、④生活情報学科とメディアコミュニケーション学科を発展的に解消して、社会学を基盤とした社会情報デザイン学科を設置することとして、平成31年4月に届出を行い、令和2年4月にスタートを切った。

改組初年度である令和2年度入試において、新たな学部学科体制のPRと定員設定の見直しに成果が出て、旧体制下において定員割れが続いていた学科についても充足する運びとなった。ただ、文芸文化学科及び社会情報デザイン学科については歩留まりの読み違いから入学定員超過率が1.3を超えてしまった。両学科については、令和3年度入試に向け、超過は正を念頭におきつつ、本年度の傾向なども鑑み入試選抜に取り組む予定である。一方で、新設学科である食品開発学科について、定員40名に対し入学者31名と唯一、定員割れとなってしまったが、募集・広報戦略の見直しとともに、定員確保に努めていきたい。

② 自己点検・評価報告書

・自己点検・評価委員会の編纂による報告書を毎年作成。

- a 公表（予定）時期
 - ・令和2年11月までに公表予定。
- b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公開予定

- ③ 認証評価を受ける計画
- ・令和3年に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審予定。

（注） ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
 なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

- a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合 》

- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]
- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 a で公表「無」の場合 》

- d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
 設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 十文字学園

(2) 大学名

十文字学園女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒352-8510
埼玉県新座市菅沢2-1-28

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ジュウモンジ カズオ) 十文字 一夫 (昭和62年5月)		
学長	(シムラ フミオ) 志村 二三夫 (平成29年4月)		
副学長 兼 学長補佐	(ワタイ マサヤス) 綿井 雅康 (平成29年4月)		
副学長	(アダチ カズヒサ) 安達 一寿 (平成31年4月)		
	(オノ ユウジロウ) 小野 裕次郎 (平成31年4月)		
	(ヨシダ トオル) 吉田 亨 (令和2年4月)		
学部長 兼 学科長	【人間生活学部】 <人間福祉学科> (ヨシダ トオル) 吉田 亨 (令和2年4月)		

学部長 兼 学科長	【教育人文学部】 <幼児教育学科> (ヤマダ ヨウコ) 山田 陽子 (令和2年4月)		
	【社会情報デザイン学部】 <社会情報デザイン学部> (ナカヤマ シゲオ) 中山 成夫 (令和2年4月)		
学科長	<健康栄養学科> (キムラ ヤスコ) 木村 靖子 (令和2年4月)		
学科長	<食物栄養学科> (イワモト タマミ) 岩本 珠美 (令和2年4月)		
学科長	<食品開発学科> (コバヤシ ミチコ) 小林 三智子 (令和2年4月)		
学科長	<児童教育学科> (トミヤマ テツヤ) 富山 哲也 (令和2年4月)		
学科長	<心理学科> (フセ ハルミ) 布施 晴美 (令和2年4月)		
学科長	<文芸文化学科> (コバヤシ ミノル) 小林 実 (令和2年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間生活学部 食品開発学科 学士（食品学）	家政関係	4年	40人	— 年次人	160人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	40 (—) [若干名]	— (—) []	— (—) []	— (—) []	— (—) []	— (—) []	— (—) []	— (—) []	— (—) []	— (—) []	0.77 倍	倍	
志願者数	63 (—) [0]	— (—) [—]	— (—) []	— (—) []	— (—) []	— (—) []	— (—) []	— (—) []	— (—) []	— (—) []			
受験者数	55 (—) [0]	— (—) [—]	— (—) []	— (—) []	— (—) []	— (—) []	— (—) []	— (—) []	— (—) []	— (—) []			
合格者数	55 (—) [0]	— (—) [—]	— (—) []	— (—) []	— (—) []	— (—) []	— (—) []	— (—) []	— (—) []	— (—) []			
B 入学者数	31 (—) [0]	— (—) [—]	— (—) []	— (—) []	— (—) []	— (—) []	— (—) []	— (—) []	— (—) []	— (—) []			
入学定員超過率 B/A	0.77												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	31 [0] (-)	— [—] (-)									
2年次	/										
3年次	/		/								
4年次	/		/		/						
計	31 [0] (-)										

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	31人	0人	令和2年度	0人	0人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	0人	0人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
合計		0人		人	人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{31} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人間生活学部 食品開発学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手						
共通科目	ゼミナール	入門ゼミナール	1前	2			2	1	1	1			6	ゼミナール	入門ゼミナール	1前	2			4	1	1	1			2		
		コミュニケーション演習	1前・後	1											6	コミュニケーション演習	1後	1									2	
		読書入門ゼミナール	1・2・3・4後	2											17	読書入門ゼミナール	1・2・3・4後	2						1				9
		課題解決ゼミナール	2・3前・後	2											2	課題解決ゼミナール	2・3前・後	2										2
		総合ゼミナール	3・4前・後	2											2	総合ゼミナール	3・4前・後	2										2
	総合	地域で学ぶ	1・2・3・4前・後	2										3	総合	地域で学ぶ	1・2・3・4前・後	2										2
		地域と人間生活	2・3・4前・後	2			1			1	1			3		地域と人間生活	2・3・4前・後	2			1		1	1				3
		人間関係とコミュニケーション	1・2・3・4後	2										2		人間関係とコミュニケーション	1・2・3・4後	2										2
		人間理解ワークショップ	2・3・4前・後	2										4		人間理解ワークショップ	2・3・4前・後	2										4
		総合科目	1・2・3・4前・後	2										1		総合科目	1・2・3・4前・後	2										8
		自主社会活動	1・2・3・4前・後	1										2		自主社会活動	1・2・3・4前・後	1										2
	女性を生きる	キャリアデザインとライフプラン	1前・後	2										2	女性を生きる	キャリアデザインとライフプラン	1前・後	2									2	
		リーガルリテラシー	1前・後	2										1		リーガルリテラシー	1前・後	2									1	
		ジェンダーリテラシー	1前・後	2										1		ジェンダーリテラシー	1前・後	2									1	
		子育てと環境	1前・後	2										4		子育てと環境	1前・後	2									4	
		女性と健康	1前・後	2										1		女性と健康	1前・後	2									2	
		女性の心と身体	1・2・3前・後	2										2		女性の心と身体	1・2・3前・後	2					1				2	
		食の科学	2・3前・後	2				1								食の科学	2・3前・後	2						1				
		歴史のなかの女性	2・3前・後	2										1		歴史のなかの女性	2・3前・後	2									1	
		芸術を読みとる	2・3前・後	2										1		芸術を読みとる	2・3前・後	2									1	
		社会に生きる	グローバル社会	1前・後	2											1	社会に生きる	グローバル社会	1前・後	2								
	ネットワーク社会		1前・後	2										1	ネットワーク社会	1前・後		2									1	
	共生社会入門		1前・後	2										1	共生社会入門	1前・後		2									1	
	多様性と倫理		1前・後	2										1	多様性と倫理	1前・後		2									1	
	持続可能な社会		1前・後	2										1	持続可能な社会	1前・後		2									1	
	くらしのなかの日本国憲法		1・2・3前・後	2										3	くらしのなかの日本国憲法	1・2・3後		2									1	
	ボランティア論		1・2・3前・後	2										1	ボランティア論	1・2・3前・後		2									1	
	災害と社会		2・3前・後	2										1	災害と社会	2・3前・後		2									1	
21世紀型の教育	2・3前・後		2										1	21世紀型の教育	2・3前・後	2										1		
保健体育	身体運動Ⅰ		1・2・3・4前	1										1	保健体育	身体運動Ⅰ		1・2・3・4前	1								1	
	身体運動Ⅱ	1・2・3・4後	1										12	身体運動Ⅱ		1・2・3・4後	1								12			
情報処理	情報処理演習Ⅰ	1前	1										1	情報処理	情報処理演習Ⅰ	1前	1									1		
	情報処理演習Ⅱ	1・2・3・4後	1										1		情報処理演習Ⅱ	1・2・3・4後	1									1		
外国語(基礎科目)	英語Ⅰa	1前	1										2	外国語(基礎科目)	英語Ⅰa	1前	1										4	
	英語Ⅰb	1後	1										1		英語Ⅰb	1後	1									2		
	英語Ⅱa	2・3・4前	1										1		英語Ⅱa	2・3・4前	1									1		
	英語Ⅱb	2・3・4後	1										1		英語Ⅱb	2・3・4後	1									1		
	中国語Ⅰa	1前	1										2		中国語Ⅰa	1前	1									2		
	中国語Ⅰb	1後	1										2		中国語Ⅰb	1後	1									2		
	中国語Ⅱa	2・3・4前	1										2		中国語Ⅱa	2・3・4前	1									2		
	中国語Ⅱb	2・3・4後	1										2		中国語Ⅱb	2・3・4後	1									2		
	朝鮮語Ⅰa	1前	1										1		朝鮮語Ⅰa	1前	1									2		
	朝鮮語Ⅰb	1後	1										1		朝鮮語Ⅰb	1後	1									2		
	フランス語Ⅰa	1前	1										1		フランス語Ⅰa	1前	1									1		
	フランス語Ⅰb	1後	1										1		フランス語Ⅰb	1後	1									1		
	海外語学研修	1・2・3・4前	1										1		海外語学研修 (未開講)	1・2・3・4前	1									1		

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語目的別科目	英語コミュニケーション基礎a	2・3・4前	1								1
	英語コミュニケーション基礎b	2・3・4後	1								1
	英語コミュニケーション発展a	3・4前	1								1
	英語コミュニケーション発展b	3・4後	1								1
	英語コミュニケーション応用	1・2・3・4前・後	2								1
	アドバンスト・リスニング	1・2・3・4後	2								2
	アドバンスト・リーディング	1・2・3・4後	2								2
	アドバンスト・ライティング	1・2・3・4後	2								2
	ビジネス英語	2・3・4後	2								1
	映画・ドラマ英語	2・3・4後	2								1
	インターネット英語	2・3・4後	2								1
	メディア英語	2・3・4前	2								1
	TOEIC対策講座	1・2・3・4後	2								1
	中国語試験対策講座	1・2・3・4前	2								1
日本語検定対策講座	1・2・3・4前・後	2								1	
共通科目	総合日本語I a	1前	1								1
	総合日本語I b	1後	1								1
	総合日本語II a	2前	1								1
	総合日本語II b	2後	1								1
	総合日本語III a	3・4前	1								1
	総合日本語III b	3・4後	1								1
	日本語表現技術I	1・2・3・4前	1								1
	日本語表現技術II	1・2・3・4後	1								1
	日本語表現技術III	1・2・3・4前	1								1
	日本語表現技術IV	1・2・3・4後	1								1
	日本語研究A(時事I)	1・2・3・4前	1								1
	日本語研究B(時事II)	1・2・3・4後	1								1
	日本語研究C(ビジネスI)	1・2・3・4前	1								1
	日本語研究D(ビジネスII)	1・2・3・4後	1								1
日本語研究E(医療・福祉専門)	1・2・3・4前	1								1	
日本語研究F(人文科学)	1・2・3・4後	1								1	
日本語能力試験対策講座I	1・2・3・4前	1								1	
日本語能力試験対策講座II	1・2・3・4後	1								1	
日本語集中講座(編入)	1・2・3・4前	1								2	
キャリア教育	キャリアデザイン入門	2前	2			1					
	キャリアロールモデル研究	2後	2								1
	企業に学ぶキャリアデザイン	2前	2								2
	プロアクティブ人材育成	2後	2								2
	キャリアサポート演習	3通	2								1
	キャリア基礎力I	2・3前	2								2
	キャリア基礎力II	2・3後	2								1
	インターンシップ短期	1・2・3前・後	1								1
	インターンシップ長期	1・2・3前・後	2								1
	小計(89科目)	-	8	127	0	2	1	1	1		75
共通科目	英語コミュニケーション基礎a	2・3・4前	1								1
	英語コミュニケーション基礎b	2・3・4後	1								1
	英語コミュニケーション発展a	3・4前	1								1
	英語コミュニケーション発展b	3・4後	1								1
	英語コミュニケーション応用	1・2・3・4前・後	2								1
	アドバンスト・リスニング	1・2・3・4後	2								2
	アドバンスト・リーディング	1・2・3・4後	2								2
	アドバンスト・ライティング	1・2・3・4後	2								2
	ビジネス英語	2・3・4後	2								1
	映画・ドラマ英語	2・3・4後	2								1
	インターネット英語	2・3・4後	2								1
	メディア英語	2・3・4前	2								1
	TOEIC対策講座	1・2・3・4後	2								3
	中国語試験対策講座	1・2・3・4前	2								1
日本語検定対策講座	1・2・3・4前	2								1	
共通科目	総合日本語I a	1前	1								1
	総合日本語I b	1後	1								2
	総合日本語II a	2前	1								1
	総合日本語II b	2後	1								1
	総合日本語III a	3・4前	1								1
	総合日本語III b	3・4後	1								1
	日本語表現技術I	1・2・3・4前	1								1
	日本語表現技術II	1・2・3・4後	1								1
	日本語表現技術III	1・2・3・4前	1								1
	日本語表現技術IV	1・2・3・4後	1								1
	日本語研究A(時事I)	1・2・3・4前	1								2
	日本語研究B(時事II)	1・2・3・4後	1								1
	日本語研究C(ビジネスI)	1・2・3・4前	1								1
	日本語研究D(ビジネスII)	1・2・3・4後	1								1
日本語研究E(医療・福祉専門)	1・2・3・4前	1								1	
日本語研究F(人文科学)	1・2・3・4後	1								1	
日本語能力試験対策講座I	1・2・3・4前	1								1	
日本語能力試験対策講座II	1・2・3・4後	1								1	
日本語集中講座(編入)	1・2・3・4前	1								2	
キャリア教育	キャリアデザイン入門	2前	2			1					
	キャリアロールモデル研究	2後	2								1
	企業に学ぶキャリアデザイン	2前	2								2
	プロアクティブ人材育成	2後	2								2
	キャリアサポート演習	3通	2								1
	キャリア基礎力I	2・3前	2								2
	キャリア基礎力II	2・3後	2								1
	インターンシップ短期	1・2・3前・後	1								1
	インターンシップ長期	1・2・3前・後	2								1
	小計(89科目)	-	8	127	0	4	1	1	1		89

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	その他	教授	准教授	講師	助教	
専門科目	食のおいしさ	おいしさの調理学	2							1	
		食品開発基礎実習Ⅰ	1							1	1
		食品開発基礎実習Ⅱ	1							1	1
		食品物性論	2				1				
		食品物性論演習Ⅰ	3				1			1	
		食品物性論演習Ⅱ	4		2		1			1	
		おいしさの生理学	2				1				
		食品フレーバーの化学	4		2						1
		食品の官能評価学	3				1				
		食品の官能評価学演習	3				1			1	
		製パン・製菓実習Ⅰ	2		1					1	1
		製パン・製菓実習Ⅱ	2		1					1	1
	食の開発	食品開発学概論	1			2				1	
		食品開発実習	2			1				1	
		食品加工学	2			2		1			
		食品の加工学実習Ⅰ	2			1		1		1	
		食品の加工学実習Ⅱ	2			1		1		1	
		食パッケージデザイン演習	4		2					1	1
		発酵食品開発学	3			2		1			
		発酵食品開発学実験	4			1		1		1	
		食医学	3			2		1			
		食農体験	2			2		5	1	1	1
	食の科学	栄養生理学	1			2				1	
		ライフステージの栄養学	1		2					1	
		食品成分の化学	1			2		1			
		食品の特性	1			2		1			
		食の定性分析実験	1			1		1		1	
		食の定量分析実験	1			1			1	1	
		統計学演習Ⅰ	1			2					1
		統計学演習Ⅱ	2			2				1	
		食品安全学基礎	2			2		1			
		基礎化学	1			2				1	
食の安全・安心と機能性	食品衛生学	1			2		1				
	食品衛生学実験	2			1		1		1		
	公衆衛生学	2			2					1	
	食品・開発関連法規	3			2		1				
	食品安全学	2			2		1				
	食品の安全性評価論	2			2			1			
	食品の安全性評価演習Ⅰ	3			2		1		1		
	食品の安全性評価演習Ⅱ	4			2		1		1		
	食品分析学	2			2		1		1		
	食品分析学実験	2			1		1		1		

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	食料経済	3前	2								1
	食空間デザイン論	3前	2								1
	フードマネジメント論	2前	2			1					
	フードマーケティング論	2後	2			1					
	フードコーディネート論	3後	2								1
	フードコーディネート実習	3後	1								1
	フードスペシャリスト論	4前	2								1
	食生活論	3前	2								1
	食文化概論	3後	2								1
	食品開発外国語演習	3前	2			5	1	1	1		
	フードサービス・ホスピタリティ演習	3後	2			1					
	カフェ実習	3後	1			5	1	1	1		
演習	食品開発学演習	3通	2			5	1	1	1		
卒業研究	卒業研究	4通	4			5	1	1	1		
小計 (73科目)			-	76	52	0	5	1	1	1	9
合計 (162科目)			-	84	179	0	5	1	1	1	83

卒業要件及び履修方法

共通科目から必修科目5科目8単位を含めた22単位以上を修得すること。ただし、「女性を生きる」区分より「キャリアデザインとライフプラン」「リーガルリテラシー」「ジェンダーリテラシー」「子育てと環境」「女性と健康」から1科目2単位以上、「社会に生きる」区分より「グローバル社会」「ネットワーク社会」「共生社会入門」「多様性と倫理」「持続可能な社会」から1科目2単位以上、「保健体育」区分から1科目1単位以上、「外国語（基礎科目）」区分より「海外語学研修」を除いた12科目から1科目1単位以上を修得すること。
 専門科目から、必修科目42科目76単位を含めた90単位以上を修得すること。その他、自由選択科目として、共通科目・自学科専門科目・他学科専門科目から12単位以上を修得すること。
 合計で124単位以上を修得すること。なお、年間の履修上限は原則48単位である。

科目区分	授業科目の名称	配当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	食料経済	3前	2								1
	食空間デザイン論	3前	2								1
	フードマネジメント論	2前	2			1					
	フードマーケティング論	2後	2			1					
	フードコーディネート論	3後	2								1
	フードコーディネート実習	3後	2								1
	フードスペシャリスト論	4前	2								1
	食生活論	3前	2								1
	食文化概論	3後	2								1
	食品開発外国語演習	3前	2			5	1	1	1		
	フードサービス・ホスピタリティ演習	3後	2			1					
	カフェ実習	3後	2			5	1	1	1		
演習	食品開発学演習	3通	2			5	1	1	1		
卒業研究	卒業研究	4通	4			5	1	1	1		
小計 (73科目)			-	86	61	0	5	1	1	1	9
合計 (162科目)			-	94	188	0	5	1	1	1	98

卒業要件及び履修方法

共通科目から必修科目5科目8単位を含めた22単位以上を修得すること。ただし、「女性を生きる」区分より「キャリアデザインとライフプラン」「リーガルリテラシー」「ジェンダーリテラシー」「子育てと環境」「女性と健康」から1科目2単位以上、「社会に生きる」区分より「グローバル社会」「ネットワーク社会」「共生社会入門」「多様性と倫理」「持続可能な社会」から1科目2単位以上、「保健体育」区分から1科目1単位以上、「外国語（基礎科目）」区分より「海外語学研修」を除いた12科目から1科目1単位以上を修得すること。
 専門科目から、必修科目42科目86単位を含めた90単位以上を修得すること。その他、自由選択科目として、共通科目・自学科専門科目・他学科専門科目から12単位以上を修得すること。
 合計で124単位以上を修得すること。なお、年間の履修上限は原則48単位である。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ①授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当教員変更により、「入門ゼミナール」の教員配置を、「教授2」「准教授1」「講師1」「助教1」から「教授4」「准教授1」「講師1」「助教1」に変更。 ・ 教育効果を考慮し、「コミュニケーション演習」の配当年次を、「1前・後」から「1後」に変更。 ・ 担当教員変更により、「コミュニケーション演習」の教員配置を、「兼任・兼任6」から「兼任・兼任2」に変更。 ・ 担当教員変更により、「読書入門ゼミナール」の教員配置を、「兼任・兼任17」から「講師1」「兼任・兼任9」に変更。 ・ 担当教員変更により、「地域で学ぶ」の教員配置を、「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。 ・ 開講コマ数に伴う調整により、「総合科目」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任8」に変更。 ・ 教育効果を考慮し、「女性と健康」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。 ・ 教育効果を考慮し、「グローバル社会」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。 ・ 教育効果を考慮し、「くらしのなかの日本国憲法」の配当年次を、「1・2・3 前・後」から「1・2・3 後」に変更。 ・ 担当教員変更により、「兼任・兼任3」から「兼任・兼任1」に変更。 ・ 教育効果を考慮し、「英語1 a」の教員配置を、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更。 ・ 教育効果を考慮し、「英語1 b」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。 ・ 教育効果を考慮し、「朝鮮語1a」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。 ・ 教育効果を考慮し、「朝鮮語1b」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。 ・ 教育効果を考慮し、「アドバンスト・ライティング」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。 ・ 教育効果を考慮し、「TOEIC対策講座」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。 ・ 教育効果を考慮し、「日本語検定対策講座」の配当年次を、「1・2・3・4前・後」から「2・3・4前」に変更。 ・ 教育効果を考慮し、「総合日本語1 b」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。 ・ 教育効果を考慮し、「日本語研究A（時事I）」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。 ・ 教育効果を考慮し、「日本語集中講座（編入）」の配当年次を、「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前」に変更。 ・ 担当教員変更により、「食品開発基礎実習Ⅰ」の教員配置を、「助手1」「兼任・兼任1」から「兼任・兼任1」に変更。 ・ 授業時間に合った単位数へ変更のため、単位数「必修1」から「必修2」に変更。 ・ 担当教員変更により、「食品開発基礎実習Ⅱ」の教員配置を、「助手1」「兼任・兼任1」から「兼任・兼任1」に変更。 ・ 授業時間に合った単位数へ変更のため、単位数「必修1」から「必修2」に変更。 ・ 授業時間に合った単位数へ変更のため、「製パン・製菓実習Ⅰ」の単位数「選択1」から「選択2」に変更。 ・ 授業時間に合った単位数へ変更のため、「製パン・製菓実習Ⅱ」の単位数「選択1」から「選択2」に変更。 ・ 授業時間に合った単位数へ変更のため、「食品開発実習」の単位数「必修1」から「必修2」に変更。 ・ 授業時間に合った単位数へ変更のため、「食品の加工学実習Ⅰ」の単位数「必修1」から「必修2」に変更。 ・ 授業時間に合った単位数へ変更のため、「食品の加工学実習Ⅱ」の単位数「必修1」から「必修2」に変更。 ・ 授業時間に合った単位数へ変更のため、「発酵食品開発学実験」の単位数「選択1」から「選択2」に変更。 ・ 担当教員変更により、「食の定性分析実験」の教員配置を、「准教授1」「助手1」から「准教授1」に変更。 ・ 授業時間に合った単位数へ変更のため、単位数「必修1」から「必修2」に変更。 ・ 担当教員変更により、「食の定量分析実験」の教員配置を、「講師1」「助手1」から「講師1」に変更。 ・ 授業時間に合った単位数へ変更のため、単位数「必修1」から「必修2」に変更。 ・ 授業時間に合った単位数へ変更のため、「食品微生物学実験」の単位数「必修1」から「選択2」に変更。 ・ 担当者の職位変更に伴い、「食品衛生学」の教員配置を「教授1」から「兼任・兼任1」に変更。 ・ 授業時間に合った単位数へ変更のため、「食品分析学実験」の単位数「必修1」から「必修2」に変更。 ・ 授業時間に合った単位数へ変更のため、「食品免疫学実験Ⅰ」の単位数「選択1」から「選択2」に変更。 ・ 授業時間に合った単位数へ変更のため、「食品免疫学実験Ⅱ」の単位数「選択1」から「選択2」に変更。 ・ 授業時間に合った単位数へ変更のため、「機能性評価論実験Ⅰ」の単位数「選択1」から「選択2」に変更。 ・ 授業時間に合った単位数へ変更のため、「機能性評価論実験Ⅱ」の単位数「選択1」から「選択2」に変更。 ・ 授業時間に合った単位数へ変更のため、「フードコーディネーター実習」の単位数「選択1」から「選択2」に変更。 ・ 授業時間に合った単位数へ変更のため、「カフェ実習」の単位数「選択1」から「選択2」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
47 科目	115 科目	科目	162 科目	47 科目 [0]	115 科目 [0]	科目 []	162 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	海外語学研修	1	1・2・3・4前	一般科目	選択	コロナ禍に伴う海外渡航制限のため。代替措置無し
2	英語コミュニケーション応用	2	1・2・3・4前・後	一般科目	選択	対面を前提とした授業のため、社会情報学部以外はR3年度開講に変更
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

海外語学研修は各国の日本人に対する海外渡航制限の影響もありやむを得ずR2年度は非開講とし、学内メールにて学生には周知を行った。また、英語コミュニケーション演習も対面を前提とした授業であったため、選択必修の学科は次年度開講へと予定を変更し、学生にはシステム時間割上の変更にて通知を行った。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{167} = \boxed{1.19} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	24,118 m ²	— m ²	— m ²	24,118 m ²				
	運動場用地	39,202 m ²	— m ²	— m ²	39,202 m ²				
	小 計	63,320 m ²	— m ²	— m ²	63,320 m ²				
	そ の 他	21,905 m ²	— m ²	— m ²	21,905 m ²				
	合 計	85,225 m ²	— m ²	— m ²	85,225 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
		30,715 m ² (30,715 m ²)	— m ² (— m ²)	— m ² (— m ²)	30,715 m ² (30,715 m ²)				
(3) 教 室 等		講 義 室 55 室 53 室	演 習 室 48 室	実験実習室 29 室 19 室	情報処理学習施設 8 室 7 室 (補助職員 一人)	語学学習施設 7 室 9 室 (補助職員 一人)	大学全体 学生の修学環境の見直しを行い、学修施設を増やした。ただし、語学学習施設は、学内組織の変更により2室減となった。(2)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数					
		人間生活学部 健康栄養学科		1 6 1 7 室		【健康栄養】 自己都合退職者1名分減(2)			
		人間生活学部 食物栄養学科		1 5 1 7 室		【食物栄養】 申請時の17は誤植で18。学年進行中の就任者2名、自己都合退職1名計3名分減(2)			
		人間生活学部 食品開発学科		7 室					
		人間生活学部 人間福祉学科		1 4 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数 閲覧席増加のため、資料移設、図書資料の除籍をおこなったことにより蔵書冊数は減少した。(2)	
	大学全体	189,906 [20,970] (179,390 [20,333]) (181,906 [20,570])	706 [207] (703 [206]) (706 [207])	18 [4] (20 [4]) (18 [4])	4,896 (4,442) (4,416)	15,487 (12,630)	90 (72)		
	計	189,906 [20,970] (179,390 [20,333]) (181,906 [20,570])	706 [207] (703 [206]) (706 [207])	18 [4] (20 [4]) (18 [4])	4,896 (4,442) (4,416)	15,487 (12,630)	90 (72)		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		1,930 m ²		391 345		150,722 146,639			
(7) 体 育 館		面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体	
		3,253 m ²		該 当 な し 該 当 な し					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体
		教員1人当り研究費等	170千円	170千円	図書購入費	5,000千円	5,000千円	5,000千円	
		共同研究費等	17,000千円	17,000千円	設備購入費	100,000千円	100,000千円	50,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	健康栄養学科 食物栄養学科 食品開発学科 人間福祉学科	
		1,430千円	1,340千円	1,340千円	1,340千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	十文字学園女子大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人間生活学部	4	350	3年次15人	350	-	1.04	1.04	令和2	令和2		
健康栄養学科	4	120	3年次5人	120	学士(栄養学)	1.03	1.03	令和2	令和2		
食物栄養学科	4	120	3年次10人	120	学士(栄養学)	1.05	1.05	令和2	令和2		
食品開発学科	4	40	-	160	学士(食品学)	0.77	0.77	令和2	令和2		
人間福祉学科	4	70	-	70	学士(社会福祉学)	1.18	1.18	令和2	令和2		
社会福祉・介護福祉コース	4	20	-	-	学士(社会福祉学)	1.50	1.50	令和2	令和2		
社会福祉・保育コース	4	50	-	-	学士(社会福祉学)	1.06	1.06	令和2	令和2		
教育人文学部	4	440	3年次5人	440	-	1.17	1.17	令和2	令和2		
幼児教育学科	4	170	-	170	学士(教育学)	1.02	1.02	令和2	令和2		
児童教育学科	4	80	-	80	学士(教育学)	1.08	1.08	令和2	令和2		
心理学科	4	120	-	120	学士(心理学)	1.27	1.27	令和2	令和2		
文芸文化学科	4	70	3年次5人	70	学士(文学)	1.44	1.44	令和2	令和2		
社会情報デザイン学部	4	130	3年次5人	130	-	1.33	1.33	令和2	令和2		
社会情報デザイン学科	4	130	3年次5人	130	学士(社会学)	1.33	1.33	令和2	令和2	埼玉県新座市菅沢2丁目1番28号	
(旧)人間生活学部	4	-	-	-	-	-	-	-	平成23		(旧)人間生活学部 令和2年度より学生募集停止
幼児教育学科	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	-	平成23		
児童教育学科	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	-	平成23		
人間発達心理学科	4	-	-	-	学士(心理学)	-	-	-	平成23		
人間福祉学科	4	-	-	-	学士(社会福祉学)	-	-	-	平成27		
社会福祉・介護福祉コース	4	-	-	-	学士(社会福祉学)	-	-	-	平成27		
社会福祉・保育コース	4	-	-	-	学士(社会福祉学)	-	-	-	平成27		
健康栄養学科	4	-	-	-	学士(栄養学)	-	-	-	平成27		
食物栄養学科	4	-	-	-	学士(栄養学)	-	-	-	平成23		
文芸文化学科	4	-	-	-	学士(文学)	-	-	-	平成27		
生活情報学科	4	-	-	-	学士(社会情報学)	-	-	-	平成23		
メディアコミュニケーション学科	4	-	-	-	学士(コミュニケーション学)	-	-	-	平成23		
大学全体	-	920	25	920	-	-	-	-	-		

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地
人間生活学研究科								-	-	埼玉県新座市菅 沢2丁目1番28号
食物栄養学専攻 (博士後期課程)	3	2	-	6	博士 (栄養学)	1.16	1.00	-	平成28	
食物栄養学専攻 (修士課程)	2	5	-	10	修士 (栄養学)	0.80	0.60	-	平成22	
研究科全体	-	7	-	16	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<人間生活学部 食品開発学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【令和2年度】	
専任・兼任の別	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名
専 教授	小林 三智子 <令和2年4月> 入門ゼミナール キャリアデザイン入門 食品物性論 食品物性論演習Ⅰ 食品物性論演習Ⅱ おいしさの生理学 食品の官能評価学演習 食品の官能評価学演習 食農体験 地域食品企画演習 商品開発インターンシップ 食品開発外国語演習 カフェ実習 食品開発学演習 卒業研究	専 教授	小林 三智子 <令和2年4月> 入門ゼミナール キャリアデザイン入門 食品物性論 食品物性論演習Ⅰ 食品物性論演習Ⅱ おいしさの生理学 食品の官能評価学演習 食品の官能評価学演習 食農体験 地域食品企画演習 商品開発インターンシップ 食品開発外国語演習 カフェ実習 食品開発学演習 卒業研究
専 教授	辻 真子 <令和3年4月> 食品衛生学 入門ゼミナール 食医学 食農体験 地域食品企画演習 商品開発インターンシップ 食品衛生学実験 食品免疫学 食品免疫学実験Ⅰ 食品免疫学実験Ⅱ 食品開発外国語演習 カフェ実習 食品開発学演習 卒業研究	兼任 講師	辻 真子 <令和2年4月> 食品衛生学 入門ゼミナール 食医学 食農体験 地域食品企画演習 商品開発インターンシップ 食品衛生学実験 食品免疫学 食品免疫学実験Ⅰ 食品免疫学実験Ⅱ 食品開発外国語演習 カフェ実習 食品開発学演習 卒業研究
専任 教授	中村 禎子 <令和2年4月> 入門ゼミナール 食農体験 地域食品企画演習 商品開発インターンシップ 食品安全学基礎 食品機能学 機能性評価論 機能性評価論演習 機能性評価論実験Ⅰ 機能性評価論実験Ⅱ 食品開発外国語演習 カフェ実習 食品開発学演習 卒業研究	専 教授	中村 禎子 <令和2年4月> 入門ゼミナール 食農体験 地域食品企画演習 商品開発インターンシップ 食品安全学基礎 食品機能学 機能性評価論 機能性評価論演習 機能性評価論実験Ⅰ 機能性評価論実験Ⅱ 食品開発外国語演習 カフェ実習 食品開発学演習 卒業研究
専 教授	成谷 宏文 <令和2年4月> 入門ゼミナール 食農体験 食品開発学概論 食品開発学実験 食農体験 地域食品企画演習 商品開発インターンシップ 基礎微生物学 食品微生物学 食品微生物学実験 動物・植物生理学 食品開発外国語演習 カフェ実習 食品開発学演習 卒業研究	専 教授	成谷 宏文 <令和2年4月> 入門ゼミナール 食農体験 食品開発学概論 食品開発学実験 食農体験 地域食品企画演習 商品開発インターンシップ 基礎微生物学 食品微生物学 食品微生物学実験 動物・植物生理学 食品開発外国語演習 カフェ実習 食品開発学演習 卒業研究
専 特任教授	高谷 和成 <令和2年4月> 入門ゼミナール 地域と人間生活 食品開発学概論 食品開発実習 食農体験 地域食品企画演習 食品開発プレゼンテーション演習 商品開発インターンシップ 食品・開発関連法規 食品安全学 フードマネジメント論 フードマーケティング論 食品開発外国語演習 フードサービス・ホスピタリティ演習 カフェ実習 食品開発学演習 卒業研究	専 特任教授	高谷 和成 <令和2年4月> 入門ゼミナール 地域と人間生活 食品開発学概論 食品開発実習 食農体験 地域食品企画演習 食品開発プレゼンテーション演習 商品開発インターンシップ 食品・開発関連法規 食品安全学 フードマネジメント論 フードマーケティング論 食品開発外国語演習 フードサービス・ホスピタリティ演習 カフェ実習 食品開発学演習 卒業研究
専 准教授	梶野 涼子 <令和2年4月> 入門ゼミナール 食の科学 食品加工学 食品の加工学実習Ⅰ 食品の加工学実習Ⅱ 食農体験 地域食品企画演習 商品開発インターンシップ 食品成分の化学 食品の特性 食品の定性分析実験 食品開発外国語演習 カフェ実習 食品開発学演習 卒業研究	専 准教授	梶野 涼子 <令和2年4月> 入門ゼミナール 食の科学 食品加工学 食品の加工学実習Ⅰ 食品の加工学実習Ⅱ 食農体験 地域食品企画演習 商品開発インターンシップ 食品成分の化学 食品の特性 食品の定性分析実験 食品開発外国語演習 カフェ実習 食品開発学演習 卒業研究
専 講師	渡辺 章夫 <令和2年4月> 入門ゼミナール 地域と人間生活 食農体験 地域食品企画演習 商品開発インターンシップ 食品の定量分析実験 食品の安全性評価論 食品の安全性評価演習Ⅰ 食品の安全性評価演習Ⅱ 食品分析学 食品分析学実験 食品開発外国語演習 カフェ実習 食品開発学演習 卒業研究	専 講師	渡辺 章夫 <令和2年4月> 入門ゼミナール 地域と人間生活 食農体験 地域食品企画演習 商品開発インターンシップ 食品の定量分析実験 食品の安全性評価論 食品の安全性評価演習Ⅰ 食品の安全性評価演習Ⅱ 食品分析学 食品分析学実験 食品開発外国語演習 カフェ実習 食品開発学演習 卒業研究 新着入門ゼミナール

	<p>2774 3科 倉若 英咲樹 ＜令和2年4月＞</p> <p>入門ゼミナール 地域と人間生活 食農体験 地域食産企画演習 商品開発インターンシップ 栄養生理学 ライフステージの栄養学 基礎化学 有機化学 基礎生物化学 食品開発外国語演習 カフェ実習 食品開発学演習 卒業研究</p>		<p>2774 3科 倉若 英咲樹 ＜令和2年4月＞</p> <p>入門ゼミナール 地域と人間生活 食農体験 地域食産企画演習 商品開発インターンシップ 栄養生理学 ライフステージの栄養学 基礎化学 有機化学 基礎生物化学 食品開発外国語演習 カフェ実習 食品開発学演習 卒業研究</p>
専 助 教		専 助 教	
兼 担 教 授	<p>777 827 1# 安達 一寿 ＜令和2年4月＞</p> <p>コミュニケーション演習 総合ゼミナール キャリアサポート演習</p>	兼 担 教 授	<p>777 827 1# 安達 一寿 ＜令和2年4月＞</p> <p>コミュニケーション演習 総合ゼミナール キャリアサポート演習</p>
兼 担 教 授	<p>447 84 飯田 路佳 ＜令和2年4月＞</p> <p>女性の心と身体 身体運動Ⅱ</p>	兼 担 教 授	<p>447 84 飯田 路佳 ＜令和2年4月＞</p> <p>女性の心と身体 身体運動Ⅱ</p>
兼 担 教 授	<p>447 97 3# 池川 薫樹 ＜令和3年4月＞</p> <p>地域と人間生活</p>		
兼 担 教 授	<p>477 930 池間 里代子 ＜令和2年4月＞</p> <p>読書入門ゼミナール 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 海外研修実務 中国語試験対策講座</p>	兼 担 教 授	<p>477 930 池間 里代子 ＜令和2年4月＞</p> <p>読書入門ゼミナール 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 海外研修実務 中国語試験対策講座</p>
兼 担 教 授	<p>477 1417 石野 榮一 ＜令和2年4月＞</p> <p>地域で学ぶ 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成</p>	兼 担 教 授	<p>477 1417 石野 榮一 ＜令和2年4月＞</p> <p>地域で学ぶ 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成</p>
		兼 担 教 授	<p>477 821# 石山 隆之 ＜令和2年4月＞</p> <p>総合実習 身体運動Ⅱ</p>
兼 担 教 授	<p>477 282 大友 由紀子 ＜令和2年4月＞</p> <p>キャリアデザインとライフプラン</p>	兼 担 教 授	<p>477 282 大友 由紀子 ＜令和2年4月＞</p> <p>キャリアデザインとライフプラン</p>
		兼 担 教 授	<p>477 727# 黒川 文博 ＜令和2年4月＞</p> <p>自主発表演習</p>
兼 担 教 授	<p>477 517 片居木 英人 ＜令和2年4月＞</p> <p>ジェンダーリテラシー くらしのなかの日本国憲法</p>	兼 担 教 授	<p>477 517 片居木 英人 ＜令和2年4月＞</p> <p>ジェンダーリテラシー くらしのなかの日本国憲法</p>
兼 担 教 授	<p>477 302 狩野 浩二 ＜令和2年4月＞</p> <p>読書入門ゼミナール 地域で学ぶ 21世紀型の教育</p>	兼 担 教 授	<p>477 302 狩野 浩二 ＜令和2年4月＞</p> <p>読書入門ゼミナール 地域で学ぶ 21世紀型の教育</p>
兼 担 教 授	<p>477 (978) 141 向後 (田中) 朋美 ＜令和2年4月＞</p> <p>コミュニケーション演習 英語コミュニケーション応用 アドバンス・リスニング</p>	兼 担 教 授	<p>477 (978) 141 向後 (田中) 朋美 ＜令和2年4月＞</p> <p>コミュニケーション演習 英語コミュニケーション応用 アドバンス・リスニング</p>
兼 担 教 授	<p>447 577 齋藤 忍 ＜令和3年4月＞</p> <p>人間理解ワークショップ</p>		
兼 担 教 授	<p>477 777 佐藤 隆 ＜令和2年4月＞</p> <p>ポランテシア語</p>	兼 担 教 授	<p>477 777 佐藤 隆 ＜令和2年4月＞</p> <p>ポランテシア語</p>
兼 担 教 授	<p>477 (777) 302 設楽 (松尾) 優子 ＜令和2年4月＞</p> <p>コミュニケーション演習 英語Ⅰa アドバンス・リスニング 映画・ドラマ英語 TOEIC対策講座</p>	兼 担 教 授	<p>477 (777) 302 設楽 (松尾) 優子 ＜令和2年4月＞</p> <p>コミュニケーション演習 英語Ⅰa アドバンス・リスニング 映画・ドラマ英語 TOEIC対策講座 英語Ⅰb アドバンス・リーディング</p>
兼 担 教 授	<p>477 977 sheila Cliffe ＜令和2年4月＞</p> <p>コミュニケーション演習 英語コミュニケーション基礎a 英語コミュニケーション発展a 英語コミュニケーション発展b ビジネス英語</p>	兼 担 教 授	<p>477 977 sheila Cliffe ＜令和2年4月＞</p> <p>コミュニケーション演習 英語コミュニケーション基礎a 英語コミュニケーション基礎b 英語コミュニケーション発展a 英語コミュニケーション発展b ビジネス英語 英語Ⅰa アドバンス・ライティング</p>

兼担	教授	杉元 葉子 杉元 葉子 ＜令和3年4月＞ 課題解決ゼミナール	兼担	教授	杉元 葉子 杉元 葉子 ＜令和2年4月＞ 総合科目
兼担	教授	鈴木 康弘 鈴木 康弘 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ	兼担	教授	鈴木 康弘 鈴木 康弘 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ
兼担	教授	田倉 昭 田倉 昭 ＜令和3年4月＞ キャリア基礎力Ⅰ			
兼担	教授	棚谷 祐一 棚谷 祐一 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール キャリア基礎力Ⅱ	兼担	教授	棚谷 祐一 棚谷 祐一 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール キャリア基礎力Ⅱ
兼担	教授	田総 恵子 田総 恵子 ＜令和2年4月＞ 持続可能な社会	兼担	教授	田総 恵子 田総 恵子 ＜令和2年4月＞ 持続可能な社会
兼担	教授	角田 真二 角田 真二 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	兼担	教授	角田 真二 角田 真二 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼担	教授	長田(鈴木) 瑞恵 長田(鈴木) 瑞恵 ＜令和2年4月＞ 子育てと環境	兼担	教授	長田(鈴木) 瑞恵 長田(鈴木) 瑞恵 ＜令和2年4月＞ 子育てと環境
			兼担	教授	名倉 真子 名倉 真子 ＜令和2年4月＞ 総合科目
兼担	教授	樋口 一貴 樋口 一貴 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール 芸術を眺めとる	兼担	教授	樋口 一貴 樋口 一貴 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール 芸術を眺めとる
兼担	教授	平田 智秋 平田 智秋 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ	兼担	教授	平田 智秋 平田 智秋 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ
兼担	教授	布施 晴美 布施 晴美 ＜令和2年4月＞ 人間理解ワークショップ 女性の心と身体	兼担	教授	布施 晴美 布施 晴美 ＜令和2年4月＞ 人間理解ワークショップ 女性の心と身体
兼担	教授	星野 敬子 星野 敬子 ＜令和2年4月＞ 地域で学ぶ	兼担	教授	星野 敬子 星野 敬子 ＜令和2年4月＞ 地域で学ぶ 総合科目
兼担	教授	松岡 敬明 松岡 敬明 ＜令和2年4月＞ コミュニケーション演習	兼担	教授	松岡 敬明 松岡 敬明 ＜令和2年4月＞ コミュニケーション演習
兼担	教授	松永 修一 松永 修一 ＜令和2年4月＞ 人間理解ワークショップ 自主社会活動 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成	兼担	教授	松永 修一 松永 修一 ＜令和2年4月＞ 人間理解ワークショップ 自主社会活動 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成
兼担	教授	松本 晃子 松本 晃子 ＜令和2年4月＞ キャリアデザインとライフプラン	兼担	教授	松本 晃子 松本 晃子 ＜令和2年4月＞ キャリアデザインとライフプラン
兼担	教授	山田 陽子 山田 陽子 ＜令和2年4月＞ 人間関係とコミュニケーション 人間理解ワークショップ 子育てと環境	兼担	教授	山田 陽子 山田 陽子 ＜令和2年4月＞ 人間関係とコミュニケーション 人間理解ワークショップ 子育てと環境
兼担	教授	山本 借 山本 借 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ	兼担	教授	山本 借 山本 借 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ
兼担	教授	山本 茂 山本 茂 ＜令和2年4月＞ 食文化概論	兼担	教授	山本 茂 山本 茂 ＜令和2年4月＞ 食文化概論

兼担	教授	3197 吉田 亨 <令和2年4月> 地域と人間生活 共生社会入門 統計学演習Ⅰ 統計学演習Ⅱ 公衆衛生学	兼担	教授	3197 吉田 亨 <令和2年4月> 地域と人間生活 共生社会入門 統計学演習Ⅰ 統計学演習Ⅱ 公衆衛生学
兼担	教授	3198 好本 恵 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	兼担	教授	3198 好本 恵 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
兼担	教授	734 綿井 雅康 <令和2年4月> 人間関係とコミュニケーション 総合科目 自主社会活動 インターンシップ短期 インターンシップ長期	兼担	教授	734 綿井 雅康 <令和2年4月> 人間関係とコミュニケーション 総合科目 自主社会活動 インターンシップ短期 インターンシップ長期
			兼担	特任 教授	3199 竹之内 修 <令和2年4月> コミュニケーション演習
兼担	准教授	74 (299) 阿部 (神崎) 史 <令和2年4月> リーガルリテラシー			
兼担	准教授	744 綿井 桜子 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	744 綿井 桜子 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
			兼担	准教授	443 藤村 九林 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
兼担	准教授	447 石川 敬史 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	447 石川 敬史 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
			兼担	准教授	449 (445) 石田 (中村) 有暲 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
兼担	准教授	474 落合 真裕 <令和2年4月> コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール グローバル社会	兼担	准教授	474 落合 真裕 <令和2年4月> コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール グローバル社会
兼担	准教授	479 加藤 映子 <令和3年4月> 課題解決ゼミナール			
兼担	准教授	479 加藤 亮介 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	479 加藤 亮介 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
兼担	准教授	479 川口 英俊 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール くらしのなかの日本国憲法	兼担	准教授	479 川口 英俊 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール くらしのなかの日本国憲法
兼担	准教授	483 久保田 葉子 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	483 久保田 葉子 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
兼担	准教授	346 古明地 夕佳 <令和3年4月> 地域と人間生活			
兼担	准教授	482 鈴木 晴子 <令和2年4月> 子育てと環境	兼担	准教授	482 鈴木 晴子 <令和2年4月> 子育てと環境
			兼担	准教授	37 曾野 麻紀 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
兼担	准教授	479 徳野 祐子 <令和2年4月> 女性と健康	兼担	准教授	479 徳野 祐子 <令和2年4月> 女性と健康
兼担	准教授	479 星野 祐子 <令和2年4月> 日本語検定対策講座	兼担	准教授	479 星野 祐子 <令和2年4月> 日本語検定対策講座 総合科目

兼担	准教授	三藤 あさみ 三藤 あさみ <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	三藤 あさみ 三藤 あさみ <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
兼担	講師	伊藤 朋晃 伊藤 朋晃 <令和2年4月> 総合日本語Ⅰa 総合日本語Ⅱa 総合日本語Ⅲa 日本語表現技術Ⅰ 日本語表現技術Ⅱ 日本語表現技術Ⅳ 日本語研究E(医療・福祉専門) 日本語能力試験対策講座Ⅰ 日本語能力試験対策講座Ⅱ 日本語集中講座(編入)※	兼担	講師	伊藤 朋晃 伊藤 朋晃 <令和2年4月> 総合日本語Ⅰa 総合日本語Ⅱa 総合日本語Ⅲa 日本語表現技術Ⅰ 日本語表現技術Ⅱ 日本語表現技術Ⅳ 日本語研究E(医療・福祉専門) 日本語能力試験対策講座Ⅰ 日本語能力試験対策講座Ⅱ 日本語集中講座(編入)※ 総合日本語Ⅰb 総合日本語Ⅱb 日本語表現技術Ⅲ 日本語研究A(時事Ⅰ)
兼担	講師	神田 俊平 神田 俊平 <令和2年4月> 身体運動Ⅰ 身体運動Ⅱ	兼担	講師	神田 俊平 神田 俊平 <令和2年4月> 身体運動Ⅰ 身体運動Ⅱ 読書入門ゼミナール
兼担	講師	仇 曉英 仇 曉英 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb	兼担	講師	仇 曉英 仇 曉英 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 報告科目
兼担	講師	鳥越 慎香 鳥越 慎香 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 総合ゼミナール キャリア基礎力Ⅰ	兼担	講師	鳥越 慎香 鳥越 慎香 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 総合ゼミナール キャリア基礎力Ⅰ
兼担	講師	新嶋 良恵 新嶋 良恵 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	兼担	講師	新嶋 良恵 新嶋 良恵 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール グローバル社会
			兼任	講師	野田 日出子 野田 日出子 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
兼担	講師	見吉 英彦 見吉 英彦 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	兼担	講師	見吉 英彦 見吉 英彦 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
兼担	講師	山下 悠真乃 山下 悠真乃 <令和2年4月> 総合日本語Ⅰb 総合日本語Ⅱb 総合日本語Ⅲb 日本語表現技術Ⅰ 日本語表現技術Ⅱ 日本語集中講座(編入)※	兼担	講師	山下 悠真乃 山下 悠真乃 <令和2年4月> 総合日本語Ⅰb 総合日本語Ⅱb 総合日本語Ⅲb 日本語表現技術Ⅰ 日本語表現技術Ⅱ 日本語表現技術Ⅲ 日本語集中講座(編入)※ 日本語表現技術Ⅳ 日本語研究A(時事Ⅰ)
兼担	講師	若葉 京良 若葉 京良 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ	兼担	講師	若葉 京良 若葉 京良 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ
兼担	講師	渡邊 幸枝 渡邊 幸枝 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ	兼担	講師	渡邊 幸枝 渡邊 幸枝 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ
兼担	助教	近藤 有紀子 近藤 有紀子 <令和2年4月> 子育てと環境	兼担	助教	近藤 有紀子 近藤 有紀子 <令和2年4月> 子育てと環境
兼任	講師	赤澤 智津子 赤澤 智津子 <令和5年4月> 食パッケージデザイン演習			
兼任	講師	赤堀 博英 赤堀 博英 <令和4年4月> 食空間デザイン論 フードコーディネイト論 フードコーディネイト実習			
			兼任	講師	秋山 まき子 秋山 まき子 <令和2年4月> TOEIC対策講座 英語Ⅰa
兼任	講師	安達 宏之 安達 宏之 <令和2年4月> 多様性と価値 くらしのなかの日本国憲法	兼任	講師	安達 宏之 安達 宏之 <令和2年4月> 多様性と価値 くらしのなかの日本国憲法
兼任	講師	扇原 淳 扇原 淳 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ	兼任	講師	扇原 淳 扇原 淳 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ

				兼任 講師	村松 芳子 大友 彰子 <令和2年4月> 英語 I a 英語 I b
兼任 講師	村松 恵子 <令和4年4月> フードスペシャリスト論 食生活論				
				兼任 講師	村松 芳子 小笠原 典子 <令和2年4月> 日本語能力試験対策講座 I 日本語能力試験対策講座 II
兼任 講師	加藤 薫 <令和2年4月> 日本語研究 A (時事 I) 日本語研究 B (時事 II)	兼任 講師	加藤 薫 <令和2年4月> 日本語研究 A (時事 I) 日本語研究 B (時事 II)		
				兼任 講師	川口 かしみ <令和2年4月> リーガルテラシー
				兼任 講師	藤原 麗子 <令和2年4月> 女性と健康
兼任 講師	藤原 麗子 <令和2年4月> 英語 I a 英語 I b 英語 II a 英語 II b	兼任 講師	藤原 麗子 <令和2年4月> 英語 I a 英語 I b 英語 II a 英語 II b		
兼任 講師	佐川 岳人 <令和5年4月> 食品フレーバーの化学				
兼任 講師	佐藤 典子 <令和2年4月> 身体運動 II	兼任 講師	佐藤 典子 <令和2年4月> 身体運動 II		
兼任 講師	津野 次郎 <令和3年4月> 災害と社会				
兼任 講師	鳥森 正昭 <令和4年4月> 食料経済				
兼任 講師	清水 文子 <令和2年4月> 身体運動 II	兼任 講師	清水 文子 <令和2年4月> 身体運動 II		
兼任 講師	杉浦 英明 <令和3年4月> 製パン・製菓実習 II				
兼任 講師	鈴木 香 <令和2年4月> おいしさの調理学 食品開発基礎実習 I 食品開発基礎実習 II	兼任 講師	鈴木 香 <令和2年4月> おいしさの調理学 食品開発基礎実習 I 食品開発基礎実習 II		
兼任 講師	谷 洋子 <令和2年4月> アドバンスト・リーディング	兼任 講師	谷 洋子 <令和2年4月> アドバンスト・リーディング TOEIC対策講座		
兼任 講師	千足 健一 <令和2年4月> 身体運動 II	兼任 講師	千足 健一 <令和2年4月> 身体運動 II		
兼任 講師	曹 嘉 <令和2年4月> 朝鮮語 I a 朝鮮語 I b	兼任 講師	曹 嘉 <令和2年4月> 朝鮮語 I a 朝鮮語 I b		
				兼任 講師	土井 智晴 <令和2年4月> 総合科目
				兼任 講師	韓俊 史子 <令和2年4月> 中国語 I a 中国語 I b

兼任	講師	ナカノ マチ子 中島 紀子 <令和2年4月> 日本語研究F (人文科学)	兼任	講師	ナカノ マチ子 中島 紀子 <令和2年4月> 日本語研究F (人文科学)
			兼任	講師	ナカノ マチ子 長瀬 隆一 <令和2年4月> 新課程1a 新課程1b
			兼任	講師	ニノムラ ヒロ 仁科 幸 <令和2年4月> 身体運動II
兼任	講師	フシノ シズ 深澤 進 <令和2年4月> ネットワーク社会	兼任	講師	フシノ シズ 深澤 進 <令和2年4月> ネットワーク社会
兼任	講師	フシノ シズ 藤生 栄一郎 <令和2年4月> 身体運動II	兼任	講師	フシノ シズ 藤生 栄一郎 <令和2年4月> 身体運動II
			兼任	講師	フジキ マチ子 船橋 雄夫 <令和2年4月> 新合科員
			兼任	講師	フジキ マチ子 増茂 和男 <令和2年4月> フランス語1a フランス語1b
兼任	講師	マベソネ ローラン Mabesone Laurent <令和2年4月> フランス語1a フランス語1b			
			兼任	講師	フジキ マチ子 丸井 英二 <令和2年4月> 統計学講習I
兼任	講師	ミヤノキ マチ子 宮崎 麻子 <令和3年4月> インターネット英語			
兼任	講師	ミヤノキ マチ子 宮本 正治 <令和2年4月> アドバンスト・リーディング アドバンスト・ライティング メディア英語	兼任	講師	ミヤノキ マチ子 宮本 正治 <令和2年4月> アドバンスト・リーディング アドバンスト・ライティング メディア英語
兼任	講師	フシノ シズ 矢澤 美佳紀 <令和3年4月> 歴史のなかの女性			
兼任	講師	アノハ ヒロ子 安恒 佳代子 <令和2年4月> 日本語研究C (ビジネスI) 日本語研究D (ビジネスII)	兼任	講師	アノハ ヒロ子 安恒 佳代子 <令和2年4月> 日本語研究C (ビジネスI) 日本語研究D (ビジネスII)
兼任	講師	ヤマノ ヒロ子 山本 真二 <令和2年4月> 中国語1a 中国語1b			
兼任	講師	イノハ ヒロ子 殿川 祐介 <令和3年4月> 製パン・製菓実習I			

(注)

- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

【採用・退職・新規担当】

- ・齋藤 忍教授の退職に伴い、人間理解ワークショップ (R3年度開講) の担当として後任選定中。
- ・阿部 史准教授の退職に伴い、リーガリティラシーの担当として、川口 かしみ講師を採用。
- ・加藤 暁子准教授の退職に伴い、課題解決ゼミナール (R3年度開講) の担当として後任選定中。
- ・Mabesone Laurent講師の退職に伴いフランス語1a、フランス語1bの担当として、増塚 和男講師を採用。
- ・山本 賢二講師の辞任に伴い、中国語1a、中国語1bの担当として、時松 史子講師を採用。
- ・コマ数追加による総合科目の新規担当追加として、石山 隆之教授、名倉 秀子教授、土井 善晴講師、船曳 建夫講師を採用。
- ・コマ数追加による身体運動Ⅱの新規担当追加として、石山 隆之教授、逢郷 尚代講師、仁科 幸講師を採用。
- ・風間 文明教授は、綿井 雅康教授のコマ数調整のため新規担当として採用。自主社会活動
- ・コミュニケーション演習の担当として、竹之内 修特任教授を採用。
- ・教育効果充実を図る為、読書入門ゼミナールの担当として、飯村 九林准教授、石田 (今村) 有理准教授、曾野 麻紀准教授、野田 日出子講師を採用。
- ・教育効果充実を図る為、TOEIC対策講座の担当として、秋山 まき子講師が採用。
- ・教育効果充実を図る為、英語1aの新規担当追加として、秋山 まき子講師、大友 彩子講師を採用。
- ・教育効果充実を図る為、英語1bの新規担当追加として、大友 彩子講師を採用。
- ・日本語能力試験対策講座Ⅰ、日本語能力試験対策講座Ⅱの担当として、小笠原 典子講師を採用。稲田 朋晃講師削除。
- ・教育効果充実を図る為、女性と健康の新規担当追加として、齋藤 麗子講師を採用。
- ・朝鮮語1a、朝鮮語1bの担当として、長渡 陽一講師を採用。チョ ヒ講師は削除。
- ・統計学演習Ⅰの担当として、丸井 英二講師を採用。

【複数担当による持ち回り授業による担当変更】

- ・辻 典子教授 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・令和2年度は「兼任・講師」として担当。令和3年度より「専・教授」に変更。
- ・安達 一寿教授 コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- ・池間 里代子教授 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・片居木 英人教授 ぐらしのなかの日本国憲法 今年度本学担当なし。
- ・設楽 (松尾) 優子教授 コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- ・sheila Cliffe教授 コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- ・棚谷 祐一教授 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・角田 真二教授 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・樋口 一貴教授 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・松岡 敬明教授は、コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- ・好本 恵教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・綾井 桜子准教授 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・石川 敬史准教授 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・落合 真裕准教授 コミュニケーション演習、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・加藤 亮介准教授 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・川口 英俊准教授 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・久保田 葉子准教授 読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・見吉 英彦講師は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・安達 宏之講師 ぐらしのなかの日本国憲法 今年度本学担当なし。

【科目配当上の都合による変更】

- ・渡辺 章夫講師 新規追加 読書入門ゼミナール
- ・池間 里代子教授 海外語学研修は、新型コロナウイルス感染症により海外渡航制限のため未開講。
- ・石野 榮一教授 地域で学ぶは、別教員が担当。
- ・向後 (田中) 朋美教授 「英語コミュニケーション応用」配当調整により、今年度未開講。
- ・設楽 (松尾) 優子教授 新規担当 英語1b。
- ・宮本 正治講師から設楽 (松尾) 優子教授へ担当変更。アドバンストリーディング
- ・sheila Cliffe教授 新規担当 英語1b、アドバンストリーディング
- ・杉元 葉子教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- ・星野 敦子教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- ・綿井 雅康教授 総合科目は、コマ数調整のため、今年度担当なし。
- ・星野 祐子准教授 コマ数追加による新規担当追加 総合
- ・稲田 朋晃講師から山下 悠貴乃講師へ担当変更。日本語表現技術Ⅱ
- ・稲田 朋晃講師 新規担当 総合日本語1b
- ・山下 悠貴乃講師から稲田 朋晃講師へ担当変更。日本語表現技術Ⅲ
- ・加藤 薫講師から、稲田 朋晃講師、山下 悠貴乃講師へ担当者変更。日本語研究A (時事Ⅰ)
- ・神田 俊平講師 新規担当 読書入門ゼミナール
- ・仇 暁芸講師 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- ・新嶋 良恵講師 新規担当 グローバル社会
- ・渡邊 孝枝講師 身体運動Ⅱは、別教員が担当。
- ・神原 理枝子講師 英語1a、英語1bは、別教員が担当。
- ・谷 洋子講師 新規担当 TOEIC対策講座
- ・千足 耕一講師 身体運動Ⅱは、別教員が担当。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査 (AC教員審査) を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書 (AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度 (平成30年度開設であれば平成29年度) の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
6	3
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
5	1	1	1	8	0	4	1	1	1	7	0
(4)	(1)	(1)	(1)	(7)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
4	1	1	1	7	0	5	1	1	1	8	0
[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{7}{8} = \boxed{87.5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{7} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率（該当なし）

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況（該当なし）

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況（該当なし）

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	0	科目	計	0	科目	計	0

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況（該当なし）

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
届 出 時 (平成31年)	<p>完成年度前に、定年規定に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 (人間生活学部食品開発学科)</p>	<p>遵守事項</p> <p>本学の就業規則では、「学園業務の遂行上特に必要と認められた職員については、定年を延長することができ」とされている。学年進行中に定年を迎える専任教員については、教育の継続性及び質の担保の観点からも本規則により定年を延長し、定年延長にあたっては必要な手続きを経ている。完成年度以降については、教員配置計画表に基づいて採用等を行い、定年延長者を含む退職者の後任については、学科の教育研究の継続性を図る観点からも、職位や年齢に配慮する。</p>	<p>履行中</p> <p>今後も教員配置計画表に基づいて採用等を行い、定年延長者を含む退職者の後任については、学科の教育研究の継続性を図る観点からも、職位や年齢に配慮する。</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人間生活学部 食品開発学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
各科目の運営	令和2年度当初の授業期間については、新型コロナウイルス感染症に対する対応として、学修時間を確保するとともに授業期間について弾力的に取り扱っている。また、遠隔授業、授業内に課すものに相当する課題研究等を活用して実施している。(2)

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

十文字学園女子大学全学委員会通則規程(添付資料1)に定められた全学委員会として、全学FD委員会を設置している。

全学FD委員会の構成は、委員長は学長または学長が指名する教職員とし、(1)学長、(2)専任教員2名、(3)大学院のFD委員会において選出された者1名、(4)その他委員長が必要と認めた者で構成しているが、活動の活性化及び各教員の理解を深めるため、②及び③の選出については各学科から1名を選出している。

令和元年度は研究担当副学長が委員長を務め、事務局の担当者を含め計16名(教員11名、職員5名)で運営された。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

令和元年度は全4回開催した。

第1回	令和元年5月30日(木)	教員出席者	10人
第2回	令和元年6月26日(木)	教員出席者	8人
第3回	令和元年9月26日(木)	教員出席者	9人
第4回	令和元年11月14日(木)	教員出席者	8人

c 委員会の審議事項等

十文字学園女子大学全学委員会通則規程により、全学FD委員会は次の事項を審議し、必要な事項を処理している。

- (1) FDに係る研修会等の実施に関する事項
- (2) 大学、大学院が行うFDに係る活動の連絡・調整に関する事項
- (3) 授業評価等FDに係る調査、研究に関する事項
- (4) その他本学のFDに関する事項

② 実施状況

a 実施内容

全学FD委員会が令和元年度に実施したFD活動は以下の通り。

- (1) 授業アンケート
- (2) 授業に関する学生・教員交流会
- (3) 授業公開
- (4) 研修会
- (5) FD報告書の作成

を実施した。

b 実施方法

(1) 授業アンケート

原則、前期後期ともに第13回目の授業を目途に、学生による授業アンケートを実施した。また、アンケートの自由記述に対して教員がコメントを付し、学内ネットワークに公開している。

(2) 授業に関する学生・教員交流会

令和2年1月9日（木）に、9学科（全学科）より学生を選出し、FD委員を中心とする教員との交流会を開催した。

(3) 授業公開

令和2年11月11日（月）～22日（金）にかけて、原則、後期に開講した全ての授業について、授業公開を行った。

(4) 研修会

令和元年11月21日（木）に、「教学マネジメントの推進に向けて～カリキュラムと個々の授業の関連を考える～」についての教職員対象のFD（SD）研修会を実施した。

(5) FD報告書の作成

令和2年に「令和元年度FD報告書」の刊行する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

(1) 授業アンケート

- ・令和元年度は、前期は7月10日（月）～8月12日（月）、後期は12月11日（水）～2月4日（火）にアンケート実施期間を設定した（両学期とも集中講義科目及び非常勤講師を含む。）。
- ・実施対象者は前期231名、後期220名、実施率は前期95.7%、後期92.3%であった。
- ・アンケートの自由記述に対して教員がコメントを付し、学内ネットワークで公開することで学生へのフィードバックを行っているが、コメント提出率は、前期81.4%、後期79.3%であった。前期分のコメントは、令和元年9月30日に公開済みである。（後期分は現在、保留中）

(2) 授業に関する学生・教員交流会

- ・9学科（全学科）から選出した代表学生及び留学生25名と、FD委員を含む教員10名が参加した。
- ・参加者を5グループに分け、授業アンケート及び事前に意見を求めたトークテーマについてミーティングとグループ発表を行った。

(3) 授業公開

- ・授業公開の期間を各学科1週間、見学期間を2週間とした。公開時期を1週間とすることで公開側の負担を軽減し、見学期間の選択肢はこれまで通り確保（同学科でも他学科でも見学可能と）した。
- ・見学者は、57名（教員48名、職員9名）であった。また、見学者には見学記録の提出を義務付けた。

(4) 研修会

- ・外部講師1名を招き、2名の学内教員のコーディネイトにより、「教学マネジメントの推進に向けて～カリキュラムと個々の授業の関連を考える～」をテーマに、教学マネジメントの基本、本質的な問いの追究、カリキュラムの意図を反映させる工夫、カリキュラムの編成・実施・評価・改善のポイントについての研修会を行った。参加者は118名（教員86名、職員32名）であった。

(5) FD報告書の作成

令和2年9月以降に「令和元年度FD報告書」の刊行を予定している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

本学では、授業の質的改善・向上を目的として、継続的に「学生による授業アンケート」を実施しており、その結果は、学内ネットワーク上で公開し学生にフィードバックしている。アンケート結果に対するコメントや自由記述に対して回答することにより、各教員が今後の改善点を明らかにしている。

また、研修会「教学マネジメントの推進に向けて～カリキュラムと個々の授業の関連を考える～」のように、FD委員会が研修会を企画し、授業改善への働きかけを行っている。

平成23年度より、全学委員会通則規程に基づき設置された教員評価委員会のもと、教員評価規程（別添資料2）に則って、教育、研究、社会活動、学務の4領域を対象として教員評価を実施している。各教員の個人努力を喚起し、授業改善はもとより、教員の資質の維持向上を図るよう取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前述の通り

前述の通り

b 教員や学生への公開状況、方法等

前述の通り

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学は、継続的に教育体制改革を行っており、今回の改組は第三次教育体制改革として、第一次及び第二次の成果を踏まえつつ、①学部体制の改編、②新たな教育課程を修了し卒業した学生が、社会のなかで生涯にわたり活躍していくことを想定した教育内容の構築、③既存学科の強化及び本学の伝統を活かしつつ学生募集において可能性のある新たな領域（学科）の立ち上げ、④適切な定員設定、について検討を重ねてきた。学部体制については、本学が培ってきた教育研究上の領域をより明確にし、かつ、地域社会における諸課題の探求と解決に向けて、人々との連携や多職種での協働を基盤としつつ、それぞれが培ってきた専門性を発揮しうる人材を養成するために、より有効な体制と判断し、3学部へ再編成することを決定した。そして、令和2年度に①1学部体制を3学部体制（人間生活学部、教育人文学部、社会情報デザイン学部）へ再編成する、②入学定員を適正に設定変更する、③食の領域での発展拡大のために食品開発学科を新設する、④生活情報学科とメディアコミュニケーション学科を発展的に解消して、社会学を基盤とした社会情報デザイン学科を設置することとして、平成31年4月に届出を行い、令和2年4月にスタートを切った。

改組初年度である令和2年度入試において、新たな学部学科体制のPRと定員設定の見直しに成果が出て、旧体制下において定員割れが続いていた学科についても充足する運びとなった。ただ、文芸文化学科及び社会情報デザイン学科については歩留まりの読み違いから入学定員超過率が1.3を超えてしまった。両学科については、令和3年度入試に向け、超過は正を念頭におきつつ、本年度の傾向なども鑑み入試選抜に取り組む予定である。一方で、新設学科である食品開発学科について、定員40名に対し入学者31名と唯一、定員割れとなってしまったが、募集・広報戦略の見直しとともに、定員確保に努めていきたい。

② 自己点検・評価報告書

・自己点検・評価委員会の編纂による報告書を毎年作成。

- a 公表（予定）時期
 - ・令和2年11月までに公表予定。
- b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公開予定

- ③ 認証評価を受ける計画
- ・令和3年に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審予定。

（注） ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
 なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

- a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合 》

- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]
- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 a で公表「無」の場合 》

- d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
 設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 十文字学園

(2) 大学名

十文字学園女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒352-8510
埼玉県新座市菅沢2-1-28

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ジュウモンジ カズオ) 十文字 一夫 (昭和62年5月)		
学長	(シムラ フミオ) 志村 二三夫 (平成29年4月)		
副学長 兼 学長補佐	(ワタイ マサヤス) 綿井 雅康 (平成29年4月)		
副学長	(アダチ カズヒサ) 安達 一寿 (平成31年4月)		
	(オノ ユウジロウ) 小野 裕次郎 (平成31年4月)		
	(ヨシダ トオル) 吉田 亨 (令和2年4月)		
学部長 兼 学科長	【人間生活学部】 <人間福祉学科> (ヨシダ トオル) 吉田 亨 (令和2年4月)		

学部長 兼 学科長	【教育人文学部】 <幼児教育学科> (ヤマダ ヨウコ) 山田 陽子 (令和2年4月)		
	【社会情報デザイン学部】 <社会情報デザイン学部> (ナカヤマ シゲオ) 中山 成夫 (令和2年4月)		
学科長	<健康栄養学科> (キムラ ヤスコ) 木村 靖子 (令和2年4月)		
学科長	<食物栄養学科> (イワモト タマミ) 岩本 珠美 (令和2年4月)		
学科長	<食品開発学科> (コバヤシ ミチコ) 小林 三智子 (令和2年4月)		
学科長	<児童教育学科> (トミヤマ テツヤ) 富山 哲也 (令和2年4月)		
学科長	<心理学科> (フセ ハルミ) 布施 晴美 (令和2年4月)		
学科長	<文芸文化学科> (コバヤシ ミノル) 小林 実 (令和2年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間生活学部 人間福祉学科 学士 (社会福祉学)	社会学・社会福祉学関係 教育学・保育学関係	4年	70人	— 年次人	280人	
人間福祉学科 社会福祉・介護福祉コース 学士(社会福祉学)	社会学・社会福祉学関係	4	20	—	80	
人間福祉学科 社会福祉・保育コース 学士(社会福祉学)	社会学・社会福祉学関係 教育学・保育学関係	4	50	—	200	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

【人間福祉学科】

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	70人 (—) [若干名]	—人	人	人	人	人	人	人	人	人	1.18 倍	— 倍	
志願者数	134 (—) [1]	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
受験者数	130 (—) [1]	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
合格者数	126 (—) [1]	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
B 入学者数	83 (—) [1]	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
入学定員超過率 B/A	1.18												

【人間福祉学科 社会福祉・介護福祉コース】

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	20 — 20 (—) [若干名]	—	人	人	人	人	人	人	人	人	1.50 倍	— 倍	
志願者数	51 (—) [1]	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
受験者数	48 (—) [1]	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
合格者数	47 (—) [1]	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
B 入学者数	30 (—) [1]	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
入学定員超過率 B/A	1.50												

【人間福祉学科 社会福祉・保育コース】

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	50 — 50 (—) [若干名]	—	人	人	人	人	人	人	人	人	1.06 倍	— 倍	
志願者数	83 (—) [0]	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
受験者数	82 (—) [0]	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
合格者数	79 (—) [0]	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
B 入学者数	53 (—) [0]	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
入学定員超過率 B/A	1.06												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

【人間福祉学科】

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	83 [1] (-)	— [-] (-)									
2年次	/										
3年次	/		/								
4年次	/		/		/						
計	83 [1] (-)										

・令和2年5月1日 公表

【人間福祉学科 社会福祉・介護福祉コース】

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	30 [1] (-)	— [-] (-)									
2年次	/										
3年次	/		/								
4年次	/		/		/						
計	30 [1] (-)										

・令和2年5月1日 公表

【人間福祉学科 社会福祉・保育コース】

学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	53 [0] (—)	— [—] (—)									
2年次	/										
3年次	/		/								
4年次	/		/		/						
計	53 [0] (—)										

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	83 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
合 計		0 人		人	人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{83} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語目的別科目	英語コミュニケーション基礎a	2・3・4前	1								1
	英語コミュニケーション基礎b	2・3・4後	1								1
	英語コミュニケーション発展a	3・4前	1								1
	英語コミュニケーション発展b	3・4後	1								1
	英語コミュニケーション応用	1・2・3・4前・後	2								1
	アドバンスト・リスニング	1・2・3・4後	2								2
	アドバンスト・リーディング	1・2・3・4後	2								2
	アドバンスト・ライティング	1・2・3・4後	2								2
	ビジネス英語	2・3・4後	2								1
	映画・ドラマ英語	2・3・4後	2								1
	インターネット英語	2・3・4後	2								1
	メディア英語	2・3・4前	2								1
	TOEIC対策講座	1・2・3・4後	2								1
	中国語試験対策講座	1・2・3・4前	2								1
	日本語検定対策講座	1・2・3・4前・後	2								1
共通科目	総合日本語Ⅰa	1前	1								1
	総合日本語Ⅰb	1後	1								1
	総合日本語Ⅱa	2前	1								1
	総合日本語Ⅱb	2後	1								1
	総合日本語Ⅲa	3・4前	1								1
	総合日本語Ⅲb	3・4後	1								1
	日本語表現技術Ⅰ	1・2・3・4前	1								1
	日本語表現技術Ⅱ	1・2・3・4後	1								1
	日本語表現技術Ⅲ	1・2・3・4前	1								1
	日本語表現技術Ⅳ	1・2・3・4後	1								1
	日本語研究A(時事Ⅰ)	1・2・3・4前	1								1
	日本語研究B(時事Ⅱ)	1・2・3・4後	1								1
	日本語研究C(ビジネスⅠ)	1・2・3・4前	1								1
	日本語研究D(ビジネスⅡ)	1・2・3・4後	1								1
	日本語研究E(医療・福祉専門)	1・2・3・4前	1								1
日本語研究F(人文科学)	1・2・3・4後	1								1	
日本語能力試験対策講座Ⅰ	1・2・3・4前	1								1	
日本語能力試験対策講座Ⅱ	1・2・3・4後	1								1	
日本語集中講座(編入)	1・2・3・4前	1								2	
キャリア教育	キャリアデザイン入門	2前	2			1					1
	キャリアロールモデル研究	2後	2								1
	企業に学ぶキャリアデザイン	2前	2								2
	プロアクティブ人材育成	2後	2								2
	キャリアサポート演習	3通	2								1
	キャリア基礎力Ⅰ	2・3前	2								2
	キャリア基礎力Ⅱ	2・3後	2								1
	インターンシップ短期	1・2・3前・後	1								1
	インターンシップ長期	1・2・3前・後	2								1
小計(89科目)	-	8	127	0	3	3	1				75
外国語目的別科目	英語コミュニケーション基礎a	2・3・4前	1								1
	英語コミュニケーション基礎b	2・3・4後	1								1
	英語コミュニケーション発展a	3・4前	1								1
	英語コミュニケーション発展b	3・4後	1								1
	英語コミュニケーション応用	1・2・3・4前・後	2								1
	アドバンスト・リスニング	1・2・3・4後	2								2
	アドバンスト・リーディング	1・2・3・4後	2								2
	アドバンスト・ライティング	1・2・3・4後	2								2
	ビジネス英語	2・3・4後	2								1
	映画・ドラマ英語	2・3・4後	2								1
	インターネット英語	2・3・4後	2								1
	メディア英語	2・3・4前	2								1
	TOEIC対策講座	1・2・3・4後	2								3
	中国語試験対策講座	1・2・3・4前	2								1
	日本語検定対策講座	1・2・3・4前	2								1
共通科目	総合日本語Ⅰa	1前	1								1
	総合日本語Ⅰb	1後	1								1
	総合日本語Ⅱa	2前	1								1
	総合日本語Ⅱb	2後	1								1
	総合日本語Ⅲa	3・4前	1								1
	総合日本語Ⅲb	3・4後	1								1
	日本語表現技術Ⅰ	1・2・3・4前	1								1
	日本語表現技術Ⅱ	1・2・3・4後	1								1
	日本語表現技術Ⅲ	1・2・3・4前	1								1
	日本語表現技術Ⅳ	1・2・3・4後	1								1
	日本語研究A(時事Ⅰ)	1・2・3・4前	1								2
	日本語研究B(時事Ⅱ)	1・2・3・4後	1								1
	日本語研究C(ビジネスⅠ)	1・2・3・4前	1								1
	日本語研究D(ビジネスⅡ)	1・2・3・4後	1								1
	日本語研究E(医療・福祉専門)	1・2・3・4前	1								1
日本語研究F(人文科学)	1・2・3・4後	1								1	
日本語能力試験対策講座Ⅰ	1・2・3・4前	1								1	
日本語能力試験対策講座Ⅱ	1・2・3・4後	1								1	
日本語集中講座(編入)	1・2・3・4前	1								2	
キャリア教育	キャリアデザイン入門	2前	2			1					1
	キャリアロールモデル研究	2後	2								1
	企業に学ぶキャリアデザイン	2前	2								2
	プロアクティブ人材育成	2後	2								2
	キャリアサポート演習	3通	2								1
	キャリア基礎力Ⅰ	2・3前	2								2
	キャリア基礎力Ⅱ	2・3後	2								1
	インターンシップ短期	1・2・3前・後	1								1
	インターンシップ長期	1・2・3前・後	2								1
小計(89科目)	-	8	127	0	3	3	1				92

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
専 門 科 目	社会福祉基礎科目	社会福祉概論Ⅰ	1前	2		1							社会福祉基礎科目	社会福祉概論Ⅰ	1前	2		1									
		社会福祉概論Ⅱ	1後	2		1								社会福祉概論Ⅱ	1後	2		1									
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	1後	2			1							高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	1後	2			1								
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	2前	2		1								高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	2前	2		1									
		児童・家庭福祉論	1前	2		1								児童・家庭福祉論	1前	2		1									
		障害者福祉論	1後	2		1								障害者福祉論	1後	2		1									
		医学一般	1前	2		1								医学一般	1前	2		1									
		権利擁護と成年後見制度	3前	2							1			権利擁護と成年後見制度	3前	2										1	
		心理学理論と心理的支援	3前	2							1			心理学理論と心理的支援	3前	2										1	
		社会保障論Ⅰ	3前	2			1							社会保障論Ⅰ	3前	2			1								
	ソーシャルワーク論Ⅰ	1後	2			1						ソーシャルワーク論Ⅰ	1後	2			1										
	社会的養護Ⅰ	2前	2			1						社会的養護Ⅰ	2前	2			1										
	地域福祉論Ⅰ	2前	2			1						地域福祉論Ⅰ	2前	2			1										
	ソーシャルワーカー専門科目	ソーシャルワーク論Ⅱ	2前	2		1							ソーシャルワーク論Ⅱ	2前	2		1										
		ソーシャルワーク論Ⅲ	2後	2		1							ソーシャルワーク論Ⅲ	2後	2		1										
		ソーシャルワーク論Ⅳ	3前	2		1							ソーシャルワーク論Ⅳ	3前	2		1										
		ソーシャルワーク論Ⅴ	3後	2		1							ソーシャルワーク論Ⅴ	3後	2		1										
		ソーシャルワーク論Ⅵ	4前	2		1			1				ソーシャルワーク論Ⅵ	4前	2		1			1							
		就労支援サービス論	2後	2		1							就労支援サービス論	2後	2		1										
		地域福祉論Ⅱ	2後	2		1							地域福祉論Ⅱ	2後	2		1										
		社会調査の基礎	2前	2		1							社会調査の基礎	2前	2		1										
		福祉行政と福祉計画	3後	2		1							福祉行政と福祉計画	3後	2		1										
		社会理論と社会システム	2後	2		1							社会理論と社会システム	2後	2		1										
	ケアワーカー専門科目	公的扶助論	3前	2		1							公的扶助論	3前	2		1										
		保健医療サービス論	3前	2							1		保健医療サービス論	3前	2										1		
		社会保障論Ⅱ	3後	2		1							社会保障論Ⅱ	3後	2		1										
		更生保護制度	3後	2		1							更生保護制度	3後	2		1										
		社会福祉施設経営論	3後	2		1							社会福祉施設経営論	3後	2		1										
		相談援助演習Ⅰ	1後	1			1				1		相談援助演習Ⅰ	1後	1			1						1			
		相談援助演習Ⅱ	2前	1			1				1		相談援助演習Ⅱ	2前	1			1						1			
相談援助演習Ⅲ		2・3後	1			2	1			1		相談援助演習Ⅲ	2・3後	1			2	1					1				
相談援助演習Ⅳ		3・4前	1			2	1			1		相談援助演習Ⅳ	3・4前	1			2	1					1				
相談援助演習Ⅴ		3・4後	1			2	1			1		相談援助演習Ⅴ	3・4後	1			2	1					1				
ケアワーカー専門科目	基礎介護論Ⅰ	1前	2		1							基礎介護論Ⅰ	1前	2		1											
	基礎介護論Ⅱ	1後	2		1							基礎介護論Ⅱ	1後	2		1											
	介護と倫理	2前	2		1							介護と倫理	2前	2		1											
	介護と環境	3前	2							1		介護と環境	3前	2										1			
	コミュニケーション技術Ⅰ	1後	1		1							コミュニケーション技術Ⅰ	1後	1		1											
	コミュニケーション技術Ⅱ	2前	1		1							コミュニケーション技術Ⅱ	2前	1		1											
	生活支援技術概論	1前	1			1						生活支援技術概論	1前	1			1										
	日常生活支援技術Ⅰ	1前	1			1						日常生活支援技術Ⅰ	1前	1			1										
	日常生活支援技術Ⅱ	1後	1			1						日常生活支援技術Ⅱ	1後	1			1										
	日常生活支援技術Ⅲ	1後	1			1						日常生活支援技術Ⅲ	1後	1			1										
	生活環境支援技術	2後	1								1	生活環境支援技術	2後	1										1			
	家事生活支援技術	2前	1								1	家事生活支援技術	2前	1										1			
	生活支援技術応用Ⅰ	2前	1			1						生活支援技術応用Ⅰ	2前	1			1										
	生活支援技術応用Ⅱ	2後	1								1	生活支援技術応用Ⅱ	2後	1										1			
	生活支援技術展開Ⅰ	2前	1								1	生活支援技術展開Ⅰ	2前	1										1			
	生活支援技術展開Ⅱ	3後	1								1	生活支援技術展開Ⅱ	3後	1			1							1			
	介護過程基礎Ⅰ	1後	2			1						介護過程基礎Ⅰ	1後	2			1										
	介護過程基礎Ⅱ	2前	2								1	介護過程基礎Ⅱ	2前	2			1										
	介護過程展開Ⅰ	2後	1			1						介護過程展開Ⅰ	2後	1			1										
	介護過程展開Ⅱ	3前	1								1	介護過程展開Ⅱ	3前	1										1			
介護サービス計画	3後	2								1	介護サービス計画	3後	2										1				
発達と老化Ⅰ	1前	2									発達と老化Ⅰ	1前	2										1				
発達と老化Ⅱ	1後	2									発達と老化Ⅱ	1後	2										1				
認知症の理解Ⅰ	2前	2				1					認知症の理解Ⅰ	2前	2			1											
認知症の理解Ⅱ	2後	1				1					認知症の理解Ⅱ	2後	1			1											
障がいの理解Ⅰ	2前	2				1					障がいの理解Ⅰ	2前	2			1											
障がいの理解Ⅱ	2後	2				1					障がいの理解Ⅱ	2後	2			1											

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手						
専門科目	ケアワーク専門科目	こころとからだのしくみⅠ	2前	2		1							2	こころとからだのしくみⅠ	2前	2		1							2			
		こころとからだのしくみⅡ	2後	2		1								こころとからだのしくみⅡ	2後	2		1							2			
		医療を必要とする人への介護Ⅰ	3前	2		1								医療を必要とする人への介護Ⅰ	3前	2		1							2			
		医療を必要とする人への介護Ⅱ	3前	2		1								医療を必要とする人への介護Ⅱ	3前	2		1							2			
		医療を必要とする人への介護Ⅲ	3後	2		1								医療を必要とする人への介護Ⅲ	3後	2		1							2			
		医療を必要とする人への介護Ⅳ	3後	1		1								医療を必要とする人への介護Ⅳ	3後	1		1							2			
	専門科目	保育専門科目	保育原理	1前	2		1								保育原理	1前	2		1									
			教育原理	2後	2	1									教育原理	2後	2	1										
			保育者論	3前	2		1									保育者論	3前	2		1								
			保育の心理学	1前	2								1			保育の心理学	1前	2								1		
			子ども家庭支援の心理学	1後	2								1			子ども家庭支援の心理学	1後	2								1		
			子どもの保健	2前	2		1									子どもの保健	2前	2		1								
			子どもの健康と安全	2後	2		1									子どもの健康と安全	2後	2		1								
			子どもの理解と援助	1後	2		1									子どもの理解と援助	1後	2		1								
			子どもの食と栄養	2前	2								1			子どもの食と栄養	2前	2								1		
			子ども家庭支援論	2後	2		1									子ども家庭支援論	2後	2		1								
			保育の計画と評価	3前	2				1							保育の計画と評価	3前	2			1							
			保育内容総論	1後	1				1							保育内容総論	1後	1			1							
			保育内容演習Ⅰ（健康）	1後	2								1			保育内容演習Ⅰ（健康）	1後	2								1		
			保育内容演習Ⅱ（人間関係）	2前	2				1							保育内容演習Ⅱ（人間関係）	2前	2			1							
			保育内容演習Ⅲ（環境）	2後	2				1							保育内容演習Ⅲ（環境）	2後	2			1							
			保育内容演習Ⅳ（言葉）	2前	2				1							保育内容演習Ⅳ（言葉）	2前	2			1							
			保育内容演習Ⅴ（表現）	3前	2				1							保育内容演習Ⅴ（表現）	3前	2			1							
			保育内容の理解と方法Ⅰ（健康）	1前	2								1			保育内容の理解と方法Ⅰ（健康）	1前	2								1		
			保育内容の理解と方法Ⅱ（人間関係）	1後	2				1							保育内容の理解と方法Ⅱ（人間関係）	1後	2			1							
			保育内容の理解と方法Ⅲ（環境）	2前	2				1							保育内容の理解と方法Ⅲ（環境）	2前	2			1							
			保育内容の理解と方法Ⅳ（言葉）	1後	2				1							保育内容の理解と方法Ⅳ（言葉）	1後	2			1							
保育内容の理解と方法Ⅴ（表現）			2後	2				1							保育内容の理解と方法Ⅴ（表現）	2後	2			1								
乳児保育Ⅰ			2前	2				1							乳児保育Ⅰ	2前	2			1								
乳児保育Ⅱ			2後	1				1							乳児保育Ⅱ	2後	1			1								
障害児保育			2前	2				1							障害児保育	2前	2			1								
社会的養護Ⅱ			2後	1				1							社会的養護Ⅱ	2後	1			1								
社会的養護Ⅲ			3前	1				1							社会的養護Ⅲ	3前	1			1								
子育て支援Ⅰ	3前	2				1							子育て支援Ⅰ	3前	2			1										
子育て支援Ⅱ	3後	2				1							子育て支援Ⅱ	3後	2			1										
ピアノ	1・2・3・4前・後	1						1					ピアノ	1・2・3・4前・後	1				1									
発達障害の理解	2後	2								1			発達障害の理解	2後	2									1				
保育サービス論	4前	2				1							保育サービス論	4前	2			1										
専門科目	社会福祉実践科目	相談援助実習指導Ⅰ	2・3前	1		3	1							相談援助実習指導Ⅰ	2・3前	1		3	1									
		相談援助実習指導Ⅱ	2・3後	1		3	1							相談援助実習指導Ⅱ	2・3後	1		3	1									
		相談援助実習指導Ⅲ	3・4通	2		3	1							相談援助実習指導Ⅲ	3・4通	2		3	1									
		社会福祉実習	3・4通	4		4	1							社会福祉実習	3・4通	4		4	1									
		介護総合演習Ⅰ	1後	1		1	3							介護総合演習Ⅰ	1後	1		1	3									
		介護総合演習Ⅱ	2後	1		1	3							介護総合演習Ⅱ	2後	1		1	3									
		介護総合演習Ⅲ	3前	1		1	3							介護総合演習Ⅲ	3前	1		1	3									
		介護総合演習Ⅳ	3後	1		1	3							介護総合演習Ⅳ	3後	1		1	3									
		介護実習Ⅰ	1後	2		1	3							介護実習Ⅰ	1後	2		1	3						2			
		介護実習Ⅱ-1	2後	4		1	3							介護実習Ⅱ-1	2後	4		1	3									
		介護実習Ⅱ-2	3前	4		1	3							介護実習Ⅱ-2	3前	4		1	3									
		保育実践演習	3後	2		2	2							保育実践演習	3後	2		2	2									
		保育実習ⅠA	3前・後	2		2	2							保育実習ⅠA	3前・後	2		2	2									
		保育実習ⅠB	3前・後	2		2	2							保育実習ⅠB	3前・後	2		2	2									
		保育実習指導Ⅰ	2通	2		2	2							保育実習指導Ⅰ	2通	2		2	2									
		保育実習Ⅱ	3後・4前	2		1								保育実習Ⅱ	3後・4前	2		1										
		保育実習指導Ⅱ	3前	1		1								保育実習指導Ⅱ	3前	1		1										
保育実習Ⅲ	3後・4前	2		1	2							保育実習Ⅲ	3後・4前	2		1	2											
保育実習指導Ⅲ	3前	1		1	2							保育実習指導Ⅲ	3前	1		1	2											

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・ 担当教員変更により、「入門ゼミナール」の教員配置を、「教授3」「准教授3」「講師1」から「教授3」「准教授3」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「コミュニケーション演習」の教員配置を、「兼任・兼任6」から「兼任・兼任2」に変更。
教育効果を考慮し、「コミュニケーション演習」の配当年次を、「1前・後」から「1後」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「読書入門ゼミナール」の教員配置を、「兼任・兼任17」から「講師1」「兼任・兼任9」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「地域で学ぶ」の教員配置を、「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 開講コマ数に伴う調整により、「総合科目」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任9」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「女性と健康」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「女性の心と身体」の教員配置を、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
教育効果を考慮し、「女性の心と身体」の配当年次を、「1・2・3 前・後」から「1・2・3 前」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「グローバル社会」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「くらしのなかの日本国憲法」の教員配置を「教授1」「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
教育効果を考慮し、「くらしのなかの日本国憲法」の配当年次を、「1・2・3 前・後」から「1・2・3 後」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「身体運動Ⅱ」の教員配置を、「兼任・兼任12」から「兼任・兼任15」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「英語Ⅰb」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「朝鮮語Ⅰa」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「朝鮮語Ⅰb」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「アドバンスト・ライティング」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「TOEIC対策講座」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語検定対策講座」の配当年次を、「1・2・3・4前・後」から「1・2・3・4前」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語研究A（時事Ⅰ）」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語集中講座（編入）」の配当年次を、「1・2・3・4前」から「2・3・4前」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「介護実習Ⅰ」の教員配置を、「教授1」「准教授3」から「教授1」「准教授3」「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「福祉と食」の教員配置を、「教授1」「准教授1」「講師1」から「教授1」「准教授6」「講師1」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
18 科目	197 科目	科目	215 科目	18 科目 [0]	197 科目 [0]	科目 []	215 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	海外語学研修	1	1・2・3・4前	一般科目	選択	コロナ禍に伴う海外渡航制限のため。代替措置無し
2	英語コミュニケーション応用	2	1・2・3・4前・後	一般科目	選択	対面を前提とした授業のため、社会情報学部以外はR3年度開講に変更
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

海外語学研修は各国の日本人に対する海外渡航制限の影響もありやむを得ずR2年度は非開講とし、学内メールにて学生には周知を行った。また、英語コミュニケーション演習も対面を前提とした授業であったため、選択必修の学科は次年度開講へと予定を変更し、学生にはシステム時間割上の変更にて通知を行った。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{215} = \boxed{0.93} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校 舎 敷 地	24,118 m ²	— m ²	— m ²	24,118 m ²				
	運 動 場 用 地	39,202 m ²	— m ²	— m ²	39,202 m ²				
	小 計	63,320 m ²	— m ²	— m ²	63,320 m ²				
	そ の 他	21,905 m ²	— m ²	— m ²	21,905 m ²				
	合 計	85,225 m ²	— m ²	— m ²	85,225 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
		30,715 m ² (30,715 m ²)	— m ² (— m ²)	— m ² (— m ²)	30,715 m ² (30,715 m ²)				
(3) 教 室 等		講 義 室 55 室 53 室	演 習 室 48 室	実 験 実 習 室 29 室 19 室	情 報 処 理 学 習 施 設 8 室 7 室 (補助職員 一人)	語 学 学 習 施 設 7 室 9 室 (補助職員 一人)	大学の修学環境の見直しを行い、学修施設を増やした。ただし、語学学習施設は、学内組織の変更により2室減となった。(2)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数					
		人間生活学部 健康栄養学科		1 6 1 7 室		【健康栄養】 自己都合退職者1名分減(2)			
		人間生活学部 食物栄養学科		1 5 1 7 室		【食物栄養】 申請時の17は誤植で18。学年進行中の就任者2名、自己都合退職1名計3名分減(2)			
		人間生活学部 食品開発学科		7 室					
		人間生活学部 人間福祉学科		1 4 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数 閲覧席増加のため、資料移設、図書資料の除籍をおこなったことにより蔵書冊数は減少した。(2)	
	大学全体	189,906 [20,970] (179,390 [20,333]) (181,906 [20,570])	706 [207] (703 [206]) (706 [207])	18 [4] (20 [4]) (18 [4])	4,896 (4,442) (4,416)	15,487 (12,630)	90 (72)		
	計	189,906 [20,970] (179,390 [20,333]) (181,906 [20,570])	706 [207] (703 [206]) (706 [207])	18 [4] (20 [4]) (18 [4])	4,896 (4,442) (4,416)	15,487 (12,630)	90 (72)		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		1,930 m ²		391 345		150,722 146,639			
(7) 体 育 館		面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体	
		3,253 m ²		該 当 な し 該 当 な し					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体
		教員1人当り研究費等	170千円	170千円	図書購入費	5,000千円	5,000千円	5,000千円	
		共同研究費等	17,000千円	17,000千円	設備購入費	100,000千円	100,000千円	50,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	健康栄養学科 食物栄養学科 食品開発学科 人間福祉学科	
		1,430千円	1,340千円	1,340千円	1,340千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	十文字学園女子大学										備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人間生活学部	4	350	3年次 15人	350	-	1.04	1.04	令和2	令和2		
健康栄養学科	4	120	3年次 5人	120	学士 (栄養学)	1.03	1.03	令和2	令和2		
食物栄養学科	4	120	3年次 10人	120	学士 (栄養学)	1.05	1.05	令和2	令和2		
食品開発学科	4	40	-	160	学士 (食品学)	0.77	0.77	令和2	令和2		
人間福祉学科	4	70	-	70	学士 (社会福祉学)	1.18	1.18	令和2	令和2		
社会福祉・介護福祉コース	4	20	-	-	学士 (社会福祉学)	1.50	1.50	令和2	令和2		
社会福祉・保育コース	4	50	-	-	学士 (社会福祉学)	1.06	1.06	令和2	令和2		
教育人文学部	4	440	3年次 5人	440	-	1.17	1.17	令和2	令和2		
幼児教育学科	4	170	-	170	学士 (教育学)	1.02	1.02	令和2	令和2		
児童教育学科	4	80	-	80	学士 (教育学)	1.08	1.08	令和2	令和2		
心理学科	4	120	-	120	学士 (心理学)	1.27	1.27	令和2	令和2		
文芸文化学科	4	70	3年次 5人	70	学士 (文学)	1.44	1.44	令和2	令和2		
社会情報デザイン学部	4	130	3年次 5人	130	-	1.33	1.33	令和2	令和2		
社会情報デザイン学科	4	130	3年次 5人	130	学士 (社会学)	1.33	1.33	令和2	令和2	埼玉県新座市菅沢2丁目1番28号	
(旧) 人間生活学部	4	-	-	-	-	-	-	-	平成23		(旧) 人間生活学部 令和2年度より学生募集停止
幼児教育学科	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	-	平成23		
児童教育学科	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	-	平成23		
人間発達心理学科	4	-	-	-	学士 (心理学)	-	-	-	平成23		
人間福祉学科	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	-	-	平成27		
社会福祉・介護福祉コース	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	-	-	平成27		
社会福祉・保育コース	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	-	-	平成27		
健康栄養学科	4	-	-	-	学士 (栄養学)	-	-	-	平成27		
食物栄養学科	4	-	-	-	学士 (栄養学)	-	-	-	平成23		
文芸文化学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	-	-	平成27		
生活情報学科	4	-	-	-	学士 (社会情報学)	-	-	-	平成23		
メディアコミュニケーション学科	4	-	-	-	学士 (コミュニケーション学)	-	-	-	平成23		
大学全体	-	920	25	920	-	-	-	-	-		

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地
人間生活学研究科								-	-	埼玉県新座市菅 沢2丁目1番28号
食物栄養学専攻 (博士後期課程)	3	2	-	6	博士 (栄養学)	1.16	1.00	-	平成28	
食物栄養学専攻 (修士課程)	2	5	-	10	修士 (栄養学)	0.80	0.60	-	平成22	
研究科全体	-	7	-	16	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<人間生活学部 人間福祉学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】 【令和2年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	伊井 伸 <令和2年4月> 入門ゼミナール 就労支援サービス論 福祉行政と福祉計画 公的扶助論 社会福祉施設経営論 相談援助演習Ⅲ 相談援助演習Ⅳ 相談援助演習Ⅴ 相談援助実習指導Ⅰ 相談援助実習指導Ⅱ 相談援助実習指導Ⅲ 社会福祉実習 福祉と食※ 行政福祉論 人間福祉基礎演習 人間福祉演習 卒業研究	専	教授	伊井 伸 <令和2年4月> 入門ゼミナール 就労支援サービス論 福祉行政と福祉計画 公的扶助論 社会福祉施設経営論 相談援助演習Ⅲ 相談援助演習Ⅳ 相談援助演習Ⅴ 相談援助実習指導Ⅰ 相談援助実習指導Ⅱ 相談援助実習指導Ⅲ 社会福祉実習 福祉と食※ 行政福祉論 人間福祉基礎演習 人間福祉演習 卒業研究
専	教授	大山 博幸 <令和2年4月> 入門ゼミナール ソーシャルワーク論Ⅲ ソーシャルワーク論Ⅳ 相談援助演習Ⅱ 相談援助演習Ⅲ 相談援助演習Ⅳ 相談援助演習Ⅴ 教育原理 相談援助実習指導Ⅰ 相談援助実習指導Ⅱ 相談援助実習指導Ⅲ 社会福祉実習 福祉と食※ 人間福祉基礎演習 人間福祉演習 卒業研究	専	教授	大山 博幸 <令和2年4月> 入門ゼミナール ソーシャルワーク論Ⅲ ソーシャルワーク論Ⅳ 相談援助演習Ⅱ 相談援助演習Ⅲ 相談援助演習Ⅳ 相談援助演習Ⅴ 教育原理 相談援助実習指導Ⅰ 相談援助実習指導Ⅱ 相談援助実習指導Ⅲ 社会福祉実習 福祉と食※ 人間福祉基礎演習 人間福祉演習 卒業研究
専	教授	片居木 英人 <令和2年4月> 入門ゼミナール スタンダードラシー くらしのなかの日本国憲法 キャリアデザイン入門 社会福祉概論Ⅰ 社会保険論Ⅰ ソーシャルワーク論Ⅰ ソーシャルワーク論Ⅱ 社会保険論Ⅱ 更生保護制度 相談援助実習指導Ⅰ 相談援助実習指導Ⅱ 相談援助実習指導Ⅲ 社会福祉実習 福祉と食※ 人間福祉基礎演習 人間福祉演習 卒業研究	専	教授	片居木 英人 <令和2年4月> 入門ゼミナール スタンダードラシー くらしのなかの日本国憲法 キャリアデザイン入門 社会福祉概論Ⅰ 社会保険論Ⅰ ソーシャルワーク論Ⅰ ソーシャルワーク論Ⅱ 社会保険論Ⅱ 更生保護制度 相談援助実習指導Ⅰ 相談援助実習指導Ⅱ 相談援助実習指導Ⅲ 社会福祉実習 福祉と食※ 人間福祉基礎演習 人間福祉演習 卒業研究
専	教授	佐藤 陽 <令和2年4月> 入門ゼミナール ボランティア論 地域福祉論Ⅰ ソーシャルワーク論Ⅴ 地域福祉論Ⅱ 社会福祉実習 福祉と食※ 人間福祉基礎演習 人間福祉演習 卒業研究	専	教授	入門ゼミナール ボランティア論 地域福祉論Ⅰ ソーシャルワーク論Ⅴ 地域福祉論Ⅱ 社会福祉実習 福祉と食※ 人間福祉基礎演習 人間福祉演習 卒業研究
専	教授	宮内 寿彦 <令和2年4月> 入門ゼミナール 社会福祉概論Ⅱ 基礎介護論Ⅰ 基礎介護論Ⅱ 介護と倫理 コミュニケーション技術Ⅰ コミュニケーション技術Ⅱ 介護過程展開Ⅰ 介護総合演習Ⅰ 介護総合演習Ⅱ 介護総合演習Ⅲ 介護総合演習Ⅳ 介護実習Ⅰ-1 介護実習Ⅱ-2 福祉と食※ 人間福祉基礎演習 人間福祉演習 卒業研究	専	教授	入門ゼミナール 社会福祉概論Ⅱ 基礎介護論Ⅰ 基礎介護論Ⅱ 介護と倫理 コミュニケーション技術Ⅰ コミュニケーション技術Ⅱ 介護過程展開Ⅰ 介護総合演習Ⅰ 介護総合演習Ⅱ 介護総合演習Ⅲ 介護総合演習Ⅳ 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ-1 介護実習Ⅱ-2 福祉と食※ 人間福祉基礎演習 人間福祉演習 卒業研究
専	教授	吉田 亨 <令和2年4月> 入門ゼミナール 地域と人間生活 共生社会入門 社会調査の基礎 社会福祉と社会システム 福祉と食※ 多職種連携論	専	教授	入門ゼミナール 地域と人間生活 共生社会入門 社会調査の基礎 社会福祉と社会システム 福祉と食※ 多職種連携論
専	准教授	伊藤 陽一 <令和2年4月> 入門ゼミナール 児童・家庭福祉論 社会的養護Ⅰ 障害児保育 社会的養護Ⅱ 社会的養護Ⅲ 社会的養護Ⅳ 保育サービス論 保育実践演習 保育実習ⅠA 保育実習ⅠB 保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 福祉と食※ 人間福祉基礎演習 人間福祉演習 卒業研究	専	准教授	入門ゼミナール 児童・家庭福祉論 社会的養護Ⅰ 障害児保育 社会的養護Ⅱ 社会的養護Ⅲ 社会的養護Ⅳ 保育サービス論 保育実践演習 保育実習ⅠA 保育実習ⅠB 保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 福祉と食※ 人間福祉基礎演習 人間福祉演習 卒業研究

専	准教授	<p>かみづき みづ 亀崎 美沙子 ＜令和2年4月＞</p> <p>入門ゼミナール 保育原理 保育者論 子どもの理解と援助 子ども家庭支援論 保育内容演習Ⅲ（環境） 保育内容の理解と方法Ⅲ（環境） 子育て支援Ⅰ 子育て支援Ⅱ 保育実践演習 保育実習ⅠA 保育実習ⅠB 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ 福祉と食※ 人間福祉基礎演習 人間福祉演習 卒業研究</p>	専	准教授	<p>かみづき みづ 亀崎 美沙子 ＜令和2年4月＞</p> <p>入門ゼミナール 保育原理 保育者論 子どもの理解と援助 子ども家庭支援論 保育内容演習Ⅲ（環境） 保育内容の理解と方法Ⅲ（環境） 子育て支援Ⅰ 子育て支援Ⅱ 保育実践演習 保育実習ⅠA 保育実習ⅠB 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ 福祉と食※ 人間福祉基礎演習 人間福祉演習 卒業研究</p>
専	准教授	<p>たけい はな 高井 友子 ＜令和2年4月＞</p> <p>入門ゼミナール 高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ 高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ ソーシャルワーク論Ⅶ 相談援助演習Ⅰ 相談援助演習Ⅱ 相談援助演習Ⅲ 相談援助演習Ⅳ 相談援助実習指導Ⅰ 相談援助実習指導Ⅱ 相談援助実習指導Ⅲ 社会福祉実習 福祉と食※ 人間福祉基礎演習 人間福祉演習 卒業研究</p>	専	准教授	<p>たけい はな 高井 友子 ＜令和2年4月＞</p> <p>入門ゼミナール 高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ 高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ ソーシャルワーク論Ⅶ 相談援助演習Ⅰ 相談援助演習Ⅱ 相談援助演習Ⅲ 相談援助演習Ⅳ 相談援助実習指導Ⅰ 相談援助実習指導Ⅱ 相談援助実習指導Ⅲ 社会福祉実習 福祉と食※ 人間福祉基礎演習 人間福祉演習 卒業研究</p>
専	准教授	<p>こむ せつ 二瓶 さやか ＜令和2年4月＞</p> <p>入門ゼミナール 生活支援技術概論 日常生活支援技術Ⅰ 日常生活支援技術Ⅱ 日常生活支援技術Ⅲ 生活支援技術応用Ⅰ 介護過程基礎Ⅰ 介護総合演習Ⅰ 介護総合演習Ⅱ 介護総合演習Ⅲ 介護総合演習Ⅳ 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ-1 介護実習Ⅱ-2 福祉と食※ 介護基礎 人間福祉基礎演習 人間福祉演習 卒業研究</p>	専	准教授	<p>こむ せつ 二瓶 さやか ＜令和2年4月＞</p> <p>入門ゼミナール 生活支援技術概論 日常生活支援技術Ⅰ 日常生活支援技術Ⅱ 日常生活支援技術Ⅲ 生活支援技術応用Ⅰ 介護過程基礎Ⅰ 介護総合演習Ⅰ 介護総合演習Ⅱ 介護総合演習Ⅲ 介護総合演習Ⅳ 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ-1 介護実習Ⅱ-2 福祉と食※ 介護基礎 人間福祉基礎演習 人間福祉演習 卒業研究</p>
専	准教授	<p>たけい とも 人見 優子 ＜令和2年4月＞</p> <p>入門ゼミナール 障害者福祉論 医学一般 障がいの理解Ⅰ 障がいの理解Ⅱ 子どもの保護 子どもの健康と安全 介護総合演習Ⅰ 介護総合演習Ⅱ 介護総合演習Ⅲ 介護総合演習Ⅳ 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ-1 介護実習Ⅱ-2 福祉と食※ 人間福祉基礎演習 人間福祉演習 卒業研究</p>	専	准教授	<p>たけい とも 人見 優子 ＜令和2年4月＞</p> <p>入門ゼミナール 障害者福祉論 医学一般 障がいの理解Ⅰ 障がいの理解Ⅱ 子どもの保護 子どもの健康と安全 介護総合演習Ⅰ 介護総合演習Ⅱ 介護総合演習Ⅲ 介護総合演習Ⅳ 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ-1 介護実習Ⅱ-2 福祉と食※ 人間福祉基礎演習 人間福祉演習 卒業研究</p>
専	准教授	<p>たけがし とも 山口 由美 ＜令和2年4月＞</p> <p>入門ゼミナール 生活支援技術概論Ⅱ 認知症の理解Ⅰ 認知症の理解Ⅱ こころからのしくみⅠ こころからのしくみⅡ 医療を必要とする人への介護Ⅰ 医療を必要とする人への介護Ⅱ 医療を必要とする人への介護Ⅲ 医療を必要とする人への介護Ⅳ 介護総合演習Ⅰ 介護総合演習Ⅱ 介護総合演習Ⅲ 介護総合演習Ⅳ 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ-1 介護実習Ⅱ-2 福祉と食※ 人間福祉基礎演習 人間福祉演習 卒業研究</p>	専	准教授	<p>たけがし とも 山口 由美 ＜令和2年4月＞</p> <p>入門ゼミナール 生活支援技術概論Ⅱ 認知症の理解Ⅰ 認知症の理解Ⅱ こころからのしくみⅠ こころからのしくみⅡ 医療を必要とする人への介護Ⅰ 医療を必要とする人への介護Ⅱ 医療を必要とする人への介護Ⅲ 医療を必要とする人への介護Ⅳ 介護総合演習Ⅰ 介護総合演習Ⅱ 介護総合演習Ⅲ 介護総合演習Ⅳ 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ-1 介護実習Ⅱ-2 福祉と食※ 人間福祉基礎演習 人間福祉演習 卒業研究</p>
専	講師	<p>のり ひろ 野田 日出子 ＜令和2年4月＞</p> <p>入門ゼミナール 保育内容総論 保育内容演習Ⅴ（表現） 保育内容の理解と方法Ⅴ（表現） ピアノ 保育実践演習 保育実習ⅠA 保育実習ⅠB 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ 福祉と食※ 人間福祉基礎演習 人間福祉演習 卒業研究</p>	専	講師	<p>のり ひろ 野田 日出子 ＜令和2年4月＞</p> <p>入門ゼミナール 保育内容総論 保育内容演習Ⅴ（表現） 保育内容の理解と方法Ⅴ（表現） ピアノ 保育実践演習 保育実習ⅠA 保育実習ⅠB 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ 福祉と食※ 人間福祉基礎演習 人間福祉演習 卒業研究 読書入門ゼミナール</p>

	<p>㏃/ ㏃㏃ 矢野 葉子 ＜令和2年4月＞</p> <p>入門セミナー 保育の計画と評価 保育内容演習Ⅱ（人間関係） 保育内容演習Ⅳ（言葉） 保育内容の理解と方法Ⅱ（人間関係） 保育内容の理解と方法Ⅳ（言葉） 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ 保育実践演習 保育実習ⅠA 保育実習ⅠB 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ 福祉と食※ 人間福祉基礎演習 人間福祉演習 卒業研究</p>		<p>㏃/ ㏃㏃ 矢野 葉子 ＜令和2年4月＞</p> <p>入門セミナー 保育の計画と評価 保育内容演習Ⅱ（人間関係） 保育内容演習Ⅳ（言葉） 保育内容の理解と方法Ⅱ（人間関係） 保育内容の理解と方法Ⅳ（言葉） 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ 保育実践演習 保育実習ⅠA 保育実習ⅠB 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ 福祉と食※ 人間福祉基礎演習 人間福祉演習 卒業研究</p>
兼担	<p>㏃/ ㏃㏃ 安達 一寿 ＜令和2年4月＞</p> <p>コミュニケーション演習 総合セミナー キャリアサポート演習</p>	兼担	<p>㏃/ ㏃㏃ 安達 一寿 ＜令和2年4月＞</p> <p>コミュニケーション演習 総合セミナー キャリアサポート演習</p>
兼担	<p>㏃/ ㏃㏃ 飯田 路佳 ＜令和2年4月＞</p> <p>女性の心と身体 身体運動Ⅱ</p>	兼担	<p>㏃/ ㏃㏃ 飯田 路佳 ＜令和2年4月＞</p> <p>女性の心と身体 身体運動Ⅱ</p>
兼担	<p>㏃/ ㏃㏃ 池川 実樹 ＜令和3年4月＞</p> <p>地域と人間生活</p>		
兼担	<p>㏃/ ㏃㏃ 池間 里代子 ＜令和2年4月＞</p> <p>読書入門セミナー 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 海外留学研修 中国語試験対策講座</p>	兼担	<p>㏃/ ㏃㏃ 池間 里代子 ＜令和2年4月＞</p> <p>読書入門セミナー 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 海外留学研修 中国語試験対策講座</p>
兼担	<p>㏃/ ㏃㏃ 石野 榮一 ＜令和2年4月＞</p> <p>地域で学ぶ 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成</p>	兼担	<p>㏃/ ㏃㏃ 石野 榮一 ＜令和2年4月＞</p> <p>地域で学ぶ 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成</p>
		兼担	<p>㏃/ ㏃㏃ 石山 隆之 ＜令和2年4月＞</p> <p>総合科目 身体運動Ⅱ</p>
兼担	<p>㏃/ ㏃㏃ 大友 由紀子 ＜令和2年4月＞</p> <p>キャリアデザインとライフプラン</p>	兼担	<p>㏃/ ㏃㏃ 大友 由紀子 ＜令和2年4月＞</p> <p>キャリアデザインとライフプラン</p>
		兼担	<p>㏃/ ㏃㏃ 眞岡 文明 ＜令和2年4月＞</p> <p>自主社会活動</p>
兼担	<p>㏃/ ㏃㏃ 狩野 浩二 ＜令和2年4月＞</p> <p>読書入門セミナー 地域で学ぶ 21世紀型の教育</p>	兼担	<p>㏃/ ㏃㏃ 狩野 浩二 ＜令和2年4月＞</p> <p>読書入門セミナー 地域で学ぶ 21世紀型の教育 総合科目</p>
兼担	<p>㏃/ ㏃㏃ 向後（田中）朋美 ＜令和2年4月＞</p> <p>コミュニケーション演習 英語コミュニケーション応用 アドバンスト・リスニング</p>	兼担	<p>㏃/ ㏃㏃ 向後（田中）朋美 ＜令和2年4月＞</p> <p>コミュニケーション演習 英語コミュニケーション応用 アドバンスト・リスニング</p>
兼担	<p>㏃/ ㏃㏃ 齋藤 忍 ＜令和3年4月＞</p> <p>人間理解ワークショップ</p>		
兼担	<p>㏃/ ㏃㏃ 設楽（松尾）優子 ＜令和2年4月＞</p> <p>コミュニケーション演習 英語Ⅰa アドバンスト・リスニング 映画・ドラマ英語 TOEIC対策講座</p>	兼担	<p>㏃/ ㏃㏃ 設楽（松尾）優子 ＜令和2年4月＞</p> <p>コミュニケーション演習 英語Ⅰa アドバンスト・リスニング 映画・ドラマ英語 TOEIC対策講座 アドバンスト・リーディング</p>
兼担	<p>㏃/ ㏃㏃ sheila Cliffe ＜令和2年4月＞</p> <p>コミュニケーション演習 英語コミュニケーション基礎a 英語コミュニケーション基礎b 英語コミュニケーション発展a 英語コミュニケーション発展b ビジネス英語</p>	兼担	<p>㏃/ ㏃㏃ sheila Cliffe ＜令和2年4月＞</p> <p>コミュニケーション演習 英語コミュニケーション基礎a 英語コミュニケーション基礎b 英語コミュニケーション発展a 英語コミュニケーション発展b ビジネス英語 アドバンスト・ライティング</p>

兼担	教授	鈴木 康弘 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ	兼担	教授	鈴木 康弘 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ
兼担	教授	高谷 和成 <令和3年4月> 地域と人間生活			
兼担	教授	田倉 昭 <令和3年4月> キャリア基礎力Ⅰ			
兼担	教授	桐谷 祐一 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール キャリア基礎力Ⅱ	兼担	教授	桐谷 祐一 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール キャリア基礎力Ⅱ
兼担	教授	田総 恵子 <令和2年4月> 持続可能な社会	兼担	教授	田総 恵子 <令和2年4月> 持続可能な社会
兼担	教授	角田 真二 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	兼担	教授	角田 真二 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼担	教授	長田(鈴木) 瑞恵 <令和2年4月> 子育てと環境	兼担	教授	長田(鈴木) 瑞恵 <令和2年4月> 子育てと環境
兼担	教授	磯口 一貴 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 芸術を読みとる	兼担	教授	磯口 一貴 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 芸術を読みとる
兼担	教授	平田 智秋 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ	兼担	教授	平田 智秋 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ
			兼担	教授	福田 仁 <令和2年4月> 英語Ⅰa 英語Ⅰb
兼担	教授	布施 晴美 <令和2年4月> 人間理解ワークショップ 女性の心と身体	兼担	教授	布施 晴美 <令和2年4月> 人間理解ワークショップ 女性の心と身体
専	教授	星野 敦子 <令和2年4月> 地域で学ぶ	専	教授	星野 敦子 <令和2年4月> 地域で学ぶ 総合科目
兼担	教授	松岡 敬明 <令和2年4月> コミュニケーション演習	兼担	教授	松岡 敬明 <令和2年4月> コミュニケーション演習
兼担	教授	松永 修一 <令和2年4月> 人間理解ワークショップ 自主社会活動 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成	兼担	教授	松永 修一 <令和2年4月> 人間理解ワークショップ 自主社会活動 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成
兼担	教授	松本 晏子 <令和2年4月> キャリアデザインとライフプラン	兼担	教授	松本 晏子 <令和2年4月> キャリアデザインとライフプラン 総合科目
兼担	教授	山田 陽子 <令和2年4月> 人間関係とコミュニケーション 人間理解ワークショップ 子育てと環境	兼担	教授	山田 陽子 <令和2年4月> 人間関係とコミュニケーション 人間理解ワークショップ 子育てと環境
兼担	教授	山本 悟 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ	兼担	教授	山本 悟 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ
兼担	教授	好本 恵 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	兼担	教授	好本 恵 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール

兼担	教授	794 794 綿井 雅康 <令和2年4月> 人間関係とコミュニケーション 総合科目 自主社会活動 インターンシップ短期 インターンシップ長期	兼担	教授	794 794 綿井 雅康 <令和2年4月> 人間関係とコミュニケーション 総合科目 自主社会活動 インターンシップ短期 インターンシップ長期
兼担	准教授	761 (294) 761 阿部 (神崎) 史 <令和2年4月> リーガルリテラシー			
兼担	准教授	794 794 坂井 桜子 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	794 794 坂井 桜子 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
			兼担	准教授	445 445 飯村 九林 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
兼担	准教授	447 447 石川 敬史 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	447 447 石川 敬史 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
			兼担	准教授	494 (445) 494 石田 (中村) 有暉 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
兼担	准教授	474 474 落合 真裕 <令和2年4月> コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール グローバル社会	兼担	准教授	474 474 落合 真裕 <令和2年4月> コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール グローバル社会
兼担	准教授	471 471 梶野 涼子 <令和3年4月> 食の科学			
兼担	准教授	414 414 加藤 暎子 <令和3年4月> 課題解決ゼミナール			
兼担	准教授	414 414 加藤 亮介 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	414 414 加藤 亮介 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
兼担	准教授	474 474 川口 英俊 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール くらしのなかの日本国憲法	兼担	准教授	474 474 川口 英俊 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール くらしのなかの日本国憲法
			兼担	特任教授	447 447 竹之内 修 <令和2年4月> コミュニケーション演習
兼担	准教授	484 484 久保田 菜子 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	484 484 久保田 菜子 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
兼担	准教授	344 344 吉明地 夕佳 <令和3年4月> 地域と人間生活			
兼担	准教授	444 444 鈴木 晴子 <令和2年4月> 子育てと環境	兼担	准教授	444 444 鈴木 晴子 <令和2年4月> 子育てと環境
			兼担	准教授	44 44 曾野 麻紀 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
兼担	准教授	447 447 徳野 裕子 <令和2年4月> 女性と健康	兼担	准教授	447 447 徳野 裕子 <令和2年4月> 女性と健康
兼担	准教授	447 447 星野 裕子 <令和2年4月> 日本語検定対策講座	兼担	准教授	447 447 星野 裕子 <令和2年4月> 日本語検定対策講座 総合科目

兼担	准教授	三藤 あさみ 三藤 あさみ <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	三藤 あさみ 三藤 あさみ <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
兼担	講師	伊村 朋晃 伊村 朋晃 <令和2年4月> 総合日本語Ⅰa 総合日本語Ⅱa 総合日本語Ⅲa 日本語表現技術Ⅰ 日本語表現技術Ⅳ 日本語研究E(医療・福祉専門) 日本語能力試験対策講座Ⅰ 日本語能力試験対策講座Ⅱ 日本語集中講座(編入)※	兼担	講師	伊村 朋晃 伊村 朋晃 <令和2年4月> 総合日本語Ⅰa 総合日本語Ⅱa 総合日本語Ⅲa 日本語表現技術Ⅰ 日本語表現技術Ⅳ 日本語研究E(医療・福祉専門) 日本語能力試験対策講座Ⅰ 日本語能力試験対策講座Ⅱ 日本語集中講座(編入)※ 日本語表現技術Ⅰ 日本語研究A(時事Ⅰ)
兼担	講師	神田 俊平 神田 俊平 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ	兼担	講師	神田 俊平 神田 俊平 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ 読書入門ゼミナール
兼担	講師	帆 啓亮 帆 啓亮 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb	兼担	講師	帆 啓亮 帆 啓亮 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 総合科目
兼担	教授	杉元 葉子 杉元 葉子 <令和3年4月> 課題解決ゼミナール	兼担	教授	杉元 葉子 杉元 葉子 <令和2年4月> 総合科目
兼担	講師	鳥越 信香 鳥越 信香 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 総合ゼミナール キャリア基礎力Ⅰ	兼担	講師	鳥越 信香 鳥越 信香 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 総合ゼミナール キャリア基礎力Ⅰ
兼担	講師	中岡 加奈絵 中岡 加奈絵 <令和3年4月> 子どもの食と栄養			
兼担	講師	新橋 良恵 新橋 良恵 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	兼担	講師	新橋 良恵 新橋 良恵 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール グローバル社会
兼担	講師	山下 悠貴乃 山下 悠貴乃 <令和2年4月> 総合日本語Ⅰb 総合日本語Ⅱb 総合日本語Ⅲb 日本語表現技術Ⅰ 日本語表現技術Ⅱ 日本語集中講座(編入)※	兼担	講師	山下 悠貴乃 山下 悠貴乃 <令和2年4月> 総合日本語Ⅰb 総合日本語Ⅱb 総合日本語Ⅲb 日本語表現技術Ⅰ 日本語表現技術Ⅱ 日本語集中講座(編入)※ 日本語表現技術Ⅱ 日本語研究A(時事Ⅰ)
兼担	講師	見吉 英彦 見吉 英彦 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	兼担	講師	見吉 英彦 見吉 英彦 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
兼担	講師	若菜 京良 若菜 京良 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ	兼担	講師	若菜 京良 若菜 京良 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ
兼担	講師	渡辺 章夫 渡辺 章夫 <令和3年4月> 地域と人間生活	兼担	講師	渡辺 章夫 渡辺 章夫 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
兼担	講師	渡邊 孝枝 渡邊 孝枝 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ	兼担	講師	渡邊 孝枝 渡邊 孝枝 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ
兼担	助教	近藤 有紀子 近藤 有紀子 <令和2年4月> 子育てと環境	兼担	助教	近藤 有紀子 近藤 有紀子 <令和2年4月> 子育てと環境
兼担	助教	倉巻 美咲樹 倉巻 美咲樹 <令和3年4月> 地域と人間生活			
兼任	講師	浅見 隆行 浅見 隆行 <令和4年4月> 権利保護と成年後見制度			

兼任	講師	初ノ シヨウ 澤野 次郎 <令和3年4月> 災害と社会			
兼任	講師	シサワ ヒト 塩澤 和人 <令和4年4月> 保健医療サービス論			
兼任	講師	シサワ ヒロユ 品川 哲朗 <令和4年4月> 介護サービス計画			
兼任	講師	シメノ フミコ 清水 文子 <令和2年4月> 身体運動Ⅰ 身体運動Ⅱ	兼任	講師	シメノ フミコ 清水 文子 <令和2年4月> 身体運動Ⅰ 身体運動Ⅱ
兼任	講師	シライ ノブミ 白井 優光 <令和3年4月> 発達障害の理解			
兼任	講師	スギヤマ アキラ 杉山 明伸 <令和4年4月> 医療ソーシャルワーカー論			
			兼任	講師	スギヤマ アキラ 杉山 明伸 <令和2年4月> 保育内容講習Ⅰ（健康） 保育内容の理解と方法Ⅰ（健康）
兼任	講師	タカハシ ウララ 高橋 うらら <令和2年4月> 保育内容講習Ⅰ（健康） 保育内容の理解と方法Ⅰ（健康）			
兼任	講師	タニ フミ 谷 千春 <令和2年4月> 手話	兼任	講師	タニ フミ 谷 千春 <令和2年4月> 手話
兼任	講師	タニ ヒロコ 谷 洋子 <令和2年4月> アドバンスト・リーディング	兼任	講師	タニ ヒロコ 谷 洋子 <令和2年4月> アドバンスト・リーディング TOEIC対策講座
兼任	講師	チシロ コウイチ 千足 耕一 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ	兼任	講師	チシロ コウイチ 千足 耕一 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ
兼任	講師	フジト 喜 藤 喜 <令和2年4月> 朝鮮語Ⅰa 朝鮮語Ⅰb	兼任	講師	フジト 喜 藤 喜 <令和2年4月> 朝鮮語Ⅰa 朝鮮語Ⅰb
兼任	講師	フジノ ショウ 藤 春雄 <令和3年4月> 生活環境支援技術 介護過程展開Ⅱ			
			兼任	講師	トノイ ショウ 土井 晋博 <令和2年4月> 総合科目
			兼任	講師	トノイ ショウ 土井 晋博 <令和2年4月> 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb
			兼任	講師	トノイ ショウ 土井 晋博 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ
			兼任	講師	チシロ コウイチ 千足 耕一 <令和2年4月> 朝鮮語Ⅰa 朝鮮語Ⅰb
兼任	講師	ナカノ マチ子 中島 紀子 <令和2年4月> 日本語研究F（人文科学）	兼任	講師	ナカノ マチ子 中島 紀子 <令和2年4月> 日本語研究F（人文科学）
兼任	講師	ナカノ マチ子 中島 紀子 <令和4年4月> 心理学理論と心理的支援			

兼任	講師	たがや 777 名晃那 厚 <令和2年4月> 情報処理演習Ⅰ	兼任	講師	たがや 777 名晃那 厚 <令和2年4月> 情報処理演習Ⅰ
			兼任	講師	こがね 333 仁科 幸 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ
			兼任	講師	ノグチ 777 野高 晴子 <令和2年4月> 介護実習Ⅰ
兼任	講師	ひらや 333 平山 純子 <令和4年4月> 医療を必要とする人への介護Ⅲ 医療を必要とする人への介護Ⅳ			
兼任	講師	7777 333 深澤 進 <令和2年4月> ネットワーク社会	兼任	講師	7777 333 深澤 進 <令和2年4月> ネットワーク社会
兼任	講師	7777 333 藤生 第一郎 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ	兼任	講師	7777 333 藤生 第一郎 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ
			兼任	講師	7777 333 藤生 第一郎 <令和2年4月> 総合科目
			兼任	講師	7777 333 藤生 第一郎 <令和2年4月> フランス語Ⅰa フランス語Ⅰb
兼任	講師	マブソン D-57 Mabesoone Laurent <令和2年4月> フランス語Ⅰa フランス語Ⅰb			
兼任	講師	ミヤマキ 333 宮崎 順子 <令和3年4月> インターネット英語			
兼任	講師	ミヤマキ 333 宮本 正治 <令和2年4月> アドバンスト・リーディング アドバンスト・ライティング メディア英語	兼任	講師	ミヤマキ 333 宮本 正治 <令和2年4月> アドバンスト・リーディング アドバンスト・ライティング メディア英語 英語Ⅰa 英語Ⅰb
兼任	講師	ヤマノ 333 矢野 美佐紀 <令和3年4月> 歴史のなかの女性			
兼任	講師	ヤシロ 333 安恒 佳代子 <令和2年4月> 日本語研究C（ビジネスⅠ） 日本語研究D（ビジネスⅡ）	兼任	講師	ヤシロ 333 安恒 佳代子 <令和2年4月> 日本語研究C（ビジネスⅠ） 日本語研究D（ビジネスⅡ）
兼任	講師	ヤマギ 777 山口 典子 <令和3年4月> 家事生活支援技術			

(注)

- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

【採用・退職・新規担当】

- ・ 石山隆之教授「総合科目」、「身体運動Ⅱ」新規担当
- ・ 風間文明教授「自主社会活動」新規担当
- ・ 齋藤忍准教授の退職に伴い、「人間理解ワークショップ」（R3年度開講）の担当として後任選定中。
- ・ 福田仁教授新規採用「英語Ⅰa」、「英語Ⅰb」担当
- ・ 阿部（神崎）史准教授退職に伴い、「リーガルリテラシー」担当として川口かしみ講師を採用。
- ・ 飯村九林准教授新規採用。「読書入門ゼミナール」担当
- ・ 石田（今村）有准教授「読書入門ゼミナール」新規担当
- ・ 加藤暁子准教授退職に伴い、「課題解決ゼミナール」（R3年度開講）の担当後任選定中。
- ・ 竹之内修特任教授新規採用。「コミュニケーション演習」担当。
- ・ 曾野麻紀准教授「読書入門ゼミナール」新規担当
- ・ 秋山まき子講師新規採用、「TOEIC対策講座」、「英語Ⅰa」担当
- ・ 小笠原典子講師「日本語能力試験対策講座Ⅰ」、「日本語能力試験対策講座Ⅱ」新規担当
- ・ 加藤優講師新規採用。「女性の心と身体」担当
- ・ 込江雅彦講師新規採用。名児耶厚講師より「情報処理演習Ⅰ」変更
- ・ 齋藤麗子講師「女性と健康」新規担当
- ・ 高橋うらら講師就任辞退に伴い、鈴木明講師新規採用。「保育内容演習Ⅰ（健康）」、「保育内容の理解と方法Ⅰ（健康）」担当
- ・ 土井善晴講師「総合科目」新規担当
- ・ 山本賢二講師退職に伴い、時松史子講師新規採用。「中国語Ⅰa」、「中国語Ⅰb」担当
- ・ 蓬郷尚代講師「身体運動Ⅱ」新規担当
- ・ 長渡陽一講師新規採用。「朝鮮語Ⅰa」、「朝鮮語Ⅰb」担当
- ・ 仁科幸講師新規採用。「身体運動Ⅱ」担当
- ・ 野島靖子講師新規採用。「介護実習Ⅰ」担当
- ・ 船曳建夫講師新規採用。「総合科目」担当
- ・ Mabeoone Laurent講師退職に伴い、増茂和男講師新規採用「フランス語Ⅰa」、「フランス語Ⅰb」担当

【複数教員による持回り授業による担当変更】

- ・ 佐藤陽教授「入門ゼミナール」本年度担当無し
- ・ 宮内寿彦教授「入門ゼミナール」本年度担当無し
- ・ 吉田亨教授「入門ゼミナール」・「福祉と食」本年度担当無し
- ・ 伊藤陽一准教授「入門ゼミナール」本年度担当無し
- ・ 富井友子准教授「入門ゼミナール」本年度担当無し
- ・ 二瓶さやか准教授「入門ゼミナール」本年度担当無し
- ・ 矢野景子講師「入門ゼミナール」本年度担当無し
- ・ 安達一寿教授「コミュニケーション演習」本年度担当無し
- ・ 池間里代子教授「読書入門ゼミナール」本年度担当無し
- ・ 狩野浩二教授「総合科目」本年度担当追加
- ・ 棚谷祐一教授「読書入門ゼミナール」本年度担当無し
- ・ 角田真二教授「読書入門ゼミナール」本年度担当無し
- ・ 樋口一貴「読書入門ゼミナール」本年度担当無し
- ・ 星野敦子教授「総合科目」本年度担当追加
- ・ 布施晴美教授「女性の心と身体」本学科担当無し
- ・ 松本晃子教授「総合科目」担当追加
- ・ 好本恵教授「読書入門ゼミナール」本年度担当無し
- ・ 綾井桜子准教授「読書入門ゼミナール」本年度担当無し
- ・ 石川敬史准教授「読書入門ゼミナール」本年度担当無し
- ・ 落合真裕准教授「読書入門ゼミナール」、「コミュニケーション演習」本年度担当無し
- ・ 久保田葉子准教授「読書入門ゼミナール」本年度担当無し
- ・ 加藤亮介准教授「読書入門ゼミナール」今年度担当無し
- ・ 川口英俊准教授「読書入門ゼミナール」今年度担当無し
- ・ 星野祐子准教授「総合科目」本年度担当追加
- ・ 三藤あさみ准教授「読書入門ゼミナール」本年度担当無し
- ・ 神田俊平講師「読書入門ゼミナール」本年度担当追加
- ・ 仇咲芸講師「総合科目」本年度担当追加
- ・ 見吉英彦講師「読書入門ゼミナール」今年度担当無し
- ・ 渡辺章夫講師「読書入門ゼミナール」本年度担当追加
- ・ 野田日出子講師「読書入門ゼミナール」本年度担当追加、「入門ゼミナール」・「福祉と食」本年度担当無し

【科目配当上の都合による変更】

- ・ 片居木英人教授「くらしのなかの日本国憲法」本学科担当無し
- ・ 綿井雅康教授「総合科目」担当無し。「自主社会活動」風間文明教授に担当変更
- ・ 飯田路佳教授「女性の心と身体」担当無し
- ・ 池間 里代子教授 「海外語学研修」は、新型コロナウイルス感染症により海外渡航制限のため未開講。
- ・ 石野榮一教授「地域で学ぶ」担当無し
- ・ 向後（田中）朋美教授 「英語コミュニケーション応用」配当調整により、今年度未開講。
- ・ 設楽（松尾）優子教授「アドバンスト・リーディング」担当追加、「コミュニケーション演習」担当無し
- ・ sheila Cliffe教授「アドバンスト・ライティング」、「コミュニケーション演習」担当追加
- ・ 松岡敬明教授「コミュニケーション演習」担当無し
- ・ 福田朋晃講師「日本語研究A（時事Ⅰ）」、「日本語表現技術Ⅲ」担当追加。
「日本語表現技術Ⅱ」担当無し。
「日本語能力試験対策講座Ⅰ」、「日本語能力試験対策講座Ⅱ」、小笠原典子講師へ担当変更。
- ・ 新嶋良恵講師「グローバル社会」担当追加
- ・ 山下悠貴乃講師「日本語表現技術Ⅱ」、「日本語研究A（時事Ⅰ）」担当追加。「日本語表現技術Ⅲ」担当無し。
- ・ 安達宏之講師「くらしのなかの日本国憲法」担当無し
- ・ 加藤薫講師「日本語研究A（時事Ⅰ）」担当無し
- ・ 榎原理枝子講師「英語Ⅰa」、「英語Ⅰb」本学科では担当無し
- ・ 谷洋子講師「英語Ⅰa」、「TOEIC対策講座」追加
- ・ 宮本正治講師「英語Ⅰa」、「英語Ⅰb」担当追加。「アドバンスト・リーディング」担当無し
- ・ 杉元葉子講師「総合科目」追加
- ・ 野田日出子講師「保育内容総論」担当無し
- ・ 柁崎京子講師「介護実習Ⅰ」追加

(注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
12	6
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
6	6	2	0	14	0	6	6	2	0	14	0
(6)	(6)	(2)	(0)	(14)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
6	6	2	0	14	0	6	6	2	0	14	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	1	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{14}{14} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{14} = \boxed{7.14} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率（該当なし）

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況（該当なし）

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況（該当なし）

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)	
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	0	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	0	科目	自由	科目	自由	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況（該当なし）

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
届 出 時 (平成31年)	<p>完成年度前に、定年規定に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 (人間生活学部食品開発学科)</p>	<p>遵守事項</p> <p>本学の就業規則では、「学園業務の遂行上特に必要と認められた職員については、定年を延長することができ」とされている。学年進行中に定年を迎える専任教員については、教育の継続性及び質の担保の観点からも本規則により定年を延長し、定年延長にあたっては必要な手続きを経ている。完成年度以降については、教員配置計画表に基づいて採用等を行い、定年延長者を含む退職者の後任については、学科の教育研究の継続性を図る観点からも、職位や年齢に配慮する。</p>	<p>履行中</p> <p>今後も教員配置計画表に基づいて採用等を行い、定年延長者を含む退職者の後任については、学科の教育研究の継続性を図る観点からも、職位や年齢に配慮する。</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人間生活学部 人間福祉学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
各科目の運営	令和2年度当初の授業期間については、新型コロナウイルス感染症に対する対応として、学修時間を確保するとともに授業期間について弾力的に取り扱っている。また、遠隔授業、授業内に課すものに相当する課題研究等を活用して実施している。(2)

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

十文字学園女子大学全学委員会通則規程(添付資料1)に定められた全学委員会として、全学FD委員会を設置している。

全学FD委員会の構成は、委員長は学長または学長が指名する教職員とし、(1)学長、(2)専任教員2名、(3)大学院のFD委員会において選出された者1名、(4)その他委員長が必要と認めた者で構成しているが、活動の活性化及び各教員の理解を深めるため、②及び③の選出については各学科から1名を選出している。

令和元年度は研究担当副学長が委員長を務め、事務局の担当者を含め計16名(教員11名、職員5名)で運営された。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

令和元年度は全4回開催した。

第1回	令和元年5月30日(木)	教員出席者	10人
第2回	令和元年6月26日(木)	教員出席者	8人
第3回	令和元年9月26日(木)	教員出席者	9人
第4回	令和元年11月14日(木)	教員出席者	8人

c 委員会の審議事項等

十文字学園女子大学全学委員会通則規程により、全学FD委員会は次の事項を審議し、必要な事項を処理している。

- (1) FDに係る研修会等の実施に関する事項
- (2) 大学、大学院が行うFDに係る活動の連絡・調整に関する事項
- (3) 授業評価等FDに係る調査、研究に関する事項
- (4) その他本学のFDに関する事項

② 実施状況

a 実施内容

全学FD委員会が令和元年度に実施したFD活動は以下の通り。

- (1) 授業アンケート
- (2) 授業に関する学生・教員交流会
- (3) 授業公開
- (4) 研修会
- (5) FD報告書の作成

を実施した。

b 実施方法

(1) 授業アンケート

原則、前期後期ともに第13回目の授業を目途に、学生による授業アンケートを実施した。また、アンケートの自由記述に対して教員がコメントを付し、学内ネットワークに公開している。

(2) 授業に関する学生・教員交流会

令和2年1月9日（木）に、9学科（全学科）より学生を選出し、FD委員を中心とする教員との交流会を開催した。

(3) 授業公開

令和2年11月11日（月）～22日（金）にかけて、原則、後期に開講した全ての授業について、授業公開を行った。

(4) 研修会

令和元年11月21日（木）に、「教学マネジメントの推進に向けて～カリキュラムと個々の授業の関連を考える～」についての教職員対象のFD（SD）研修会を実施した。

(5) FD報告書の作成

令和2年に「令和元年度FD報告書」の刊行する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

(1) 授業アンケート

- ・令和元年度は、前期は7月10日（月）～8月12日（月）、後期は12月11日（水）～2月4日（火）にアンケート実施期間を設定した（両学期とも集中講義科目及び非常勤講師を含む。）。
- ・実施対象者は前期231名、後期220名、実施率は前期95.7%、後期92.3%であった。
- ・アンケートの自由記述に対して教員がコメントを付し、学内ネットワークで公開することで学生へのフィードバックを行っているが、コメント提出率は、前期81.4%、後期79.3%であった。前期分のコメントは、令和元年9月30日に公開済みである。（後期分は現在、保留中）

(2) 授業に関する学生・教員交流会

- ・9学科（全学科）から選出した代表学生及び留学生25名と、FD委員を含む教員10名が参加した。
- ・参加者を5グループに分け、授業アンケート及び事前に意見を求めたトークテーマについてミーティングとグループ発表を行った。

(3) 授業公開

- ・授業公開の期間を各学科1週間、見学期間を2週間とした。公開時期を1週間とすることで公開側の負担を軽減し、見学期間の選択肢はこれまで通り確保（同学科でも他学科でも見学可能と）した。
- ・見学者は、57名（教員48名、職員9名）であった。また、見学者には見学記録の提出を義務付けた。

(4) 研修会

- ・外部講師1名を招き、2名の学内教員のコーディネイトにより、「教学マネジメントの推進に向けて～カリキュラムと個々の授業の関連を考える～」をテーマに、教学マネジメントの基本、本質的な問いの追究、カリキュラムの意図を反映させる工夫、カリキュラムの編成・実施・評価・改善のポイントについての研修会を行った。参加者は118名（教員86名、職員32名）であった。

(5) FD報告書の作成

令和2年9月以降に「令和元年度FD報告書」の刊行を予定している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

本学では、授業の質的改善・向上を目的として、継続的に「学生による授業アンケート」を実施しており、その結果は、学内ネットワーク上で公開し学生にフィードバックしている。アンケート結果に対するコメントや自由記述に対して回答することにより、各教員が今後の改善点を明らかにしている。

また、研修会「教学マネジメントの推進に向けて～カリキュラムと個々の授業の関連を考える～」のように、FD委員会が研修会を企画し、授業改善への働きかけを行っている。

平成23年度より、全学委員会通則規程に基づき設置された教員評価委員会のもと、教員評価規程（別添資料2）に則って、教育、研究、社会活動、学務の4領域を対象として教員評価を実施している。各教員の個人努力を喚起し、授業改善はもとより、教員の資質の維持向上を図るよう取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前述の通り

前述の通り

b 教員や学生への公開状況、方法等

前述の通り

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学は、継続的に教育体制改革を行っており、今回の改組は第三次教育体制改革として、第一次及び第二次の成果を踏まえつつ、①学部体制の改編、②新たな教育課程を修了し卒業した学生が、社会のなかで生涯にわたり活躍していくことを想定した教育内容の構築、③既存学科の強化及び本学の伝統を活かしつつ学生募集において可能性のある新たな領域（学科）の立ち上げ、④適切な定員設定、について検討を重ねてきた。学部体制については、本学が培ってきた教育研究上の領域をより明確にし、かつ、地域社会における諸課題の探求と解決に向けて、人々との連携や多職種での協働を基盤としつつ、それぞれが培ってきた専門性を発揮しうる人材を養成するために、より有効な体制と判断し、3学部へ再編成することを決定した。そして、令和2年度に①1学部体制を3学部体制（人間生活学部、教育人文学部、社会情報デザイン学部）へ再編成する、②入学定員を適正に設定変更する、③食の領域での発展拡大のために食品開発学科を新設する、④生活情報学科とメディアコミュニケーション学科を発展的に解消して、社会学を基盤とした社会情報デザイン学科を設置することとして、平成31年4月に届出を行い、令和2年4月にスタートを切った。

改組初年度である令和2年度入試において、新たな学部学科体制のPRと定員設定の見直しに成果が出て、旧体制下において定員割れが続いていた学科についても充足する運びとなった。ただ、文芸文化学科及び社会情報デザイン学科については歩留まりの読み違いから入学定員超過率が1.3を超えてしまった。両学科については、令和3年度入試に向け、超過は正を念頭におきつつ、本年度の傾向なども鑑み入試選抜に取り組む予定である。一方で、新設学科である食品開発学科について、定員40名に対し入学者31名と唯一、定員割れとなってしまったが、募集・広報戦略の見直しとともに、定員確保に努めていきたい。

② 自己点検・評価報告書

・自己点検・評価委員会の編纂による報告書を毎年作成。

- a 公表（予定）時期
 - ・令和2年11月までに公表予定。
- b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公開予定

- ③ 認証評価を受ける計画
- ・令和3年に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審予定。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
 なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

- a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合 》

- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]
- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 a で公表「無」の場合 》

- d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。